



大学向け
クラウドソリューションカタログ2020

大学ICT推進協議会
クラウド部会

「大学向けクラウドソリューションカタログ2020」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 吉田 浩（国立情報学研究所）

クラウドサービスを利用することは、我々の日々の活動では当たり前のこととなりつつあります。大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている賛助会員様のご協力により、今年度も本カタログを発行できる運びとなりました。昨年度から冊子体による提供は目次および一覧のみとし、サービス情報は電子データでの提供とさせていただいたことにより、より多くのサービスを掲載できるようになっております。

日頃から本部会の運営へのご助言やご協力、情報提供をいただいております賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともお引き立てのほど、よろしく願いいたします。

さて本カタログでは、クラウドサービスやソリューションにおける検討事項を同一の尺度で掲載し、比較検討の材料としていただくことを目的としております。これらは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）クラウドセキュリティの認証審査における根拠資料として活用できることが確認されております。国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービス（<https://cloud.gakunin.jp>）で公開されている「スタートアップガイド」や「チェックリスト」と合わせてご活用いただければ幸いです。

クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムをはじめとし、クラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されているあるいはクラウドの導入を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

大学向けクラウドソリューションカタログ2020 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ2020」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 吉田 浩 01

特集：民間企業各社の新型コロナウイルス感染症対応大学・研究機関支援プログラム 05

1. 教育支援系ソリューション

- (1) Amazon WorkSpaces/Amazon Web Services Inc. 14
- (2) Amazon Chime/Amazon Web Services Inc. 16

2. 研究支援系ソリューション

- (1) FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス/富士通株式会社 20
- (2) Hitachi Visual Inspection Application/画像 AI アプリケーションプラットフォーム/日立製作所 22
- (3) AWS IoT Core/Amazon Web Services Inc. 24
- (4) AWS RoboMaker/Amazon Web Services Inc. 26
- (5) Amazon SageMaker/Amazon Web Services Inc. 28
- (6) さくらのセキュアモバイルコネクト/さくらインターネット株式会社 30
- (7) さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス 32

3. 事務支援系ソリューション

- (1) 証明書学外発行サービス/株式会社内田洋行 36
- (2) codemari クラウドサービス/株式会社内田洋行 38
- (3) RoomSense クラウドサービス/株式会社内田洋行 40
- (4) FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ/富士通株式会社 42
- (5) TWX-21 MRO 集中購買サービス/株式会社日立製作所 44
- (6) リモートアクセスシステム DoMobile/株式会社日立ソリューションズ・クリエイト 46
- (7) RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business/株式会社リコー 48
- (8) RICOH CHATBOT SERVICE/株式会社リコー 50
- (9) キャンパス手帳 (ハイブリッド出席管理/授業支援) /リコージャパン株式会社 52
- (10) RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone/株式会社リコー 54
- (11) RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん/株式会社リコー 56
- (12) RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud/株式会社リコー 58
- (13) 図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス/株式会社リコー 60
- (14) RICOH カンタン文書申請 for Cloud/株式会社リコー 62

4. 情報基盤系ソリューション

(1) NEC 神奈川DC-SINET接続サービス/日本電気株式会社	66
(2) エンタープライズクラウドサービス/株式会社日立製作所	68
(3) フェデレーテッドクラウド/株式会社日立製作所	70
(4) 出前クラウドサービス/株式会社日立製作所	72
(5) HITACHI Managed VMware Cloud™ on AWS/株式会社日立製作所	74
(6) 日立 データセンターサービス/株式会社日立製作所	76
(7) アマゾン ウェブ サービス(AWS)/Amazon Web Services Inc.	78
(8) Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)/Amazon Web Services Inc.	80
(9) Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)/Amazon Web Services Inc.	82
(10) Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)/Amazon Web Services Inc.	84
(11) Amazon Redshift/Amazon Web Services Inc.	86
(12) Amazon EMR/Amazon Web Services Inc.	88
(13) Amazon Elasticsearch Service/Amazon Web Services Inc.	90
(14) AWS Lambda/Amazon Web Services Inc.	92
(15) Amazon DynamoDB/Amazon Web Services Inc.	94
(16) Amazon Kinesis/Amazon Web Services Inc.	96
(17) Amazon Route 53/Amazon Web Services Inc.	98
(18) FortiCloud/Fortinet Inc.	100
(19) MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ/Fortinet Inc.	102
(20) Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ/Fortinet Inc.	104
(21) FortiCWP、FortiCASB/Fortinet Inc.	106
(22) SINET 接続サービス/さくらインターネット株式会社	108
(23) さくらのVPS/さくらインターネット株式会社	110
(24) さくらのクラウド/さくらインターネット株式会社	112
(25) さくらの専用サーバ/さくらインターネット株式会社	114
(26) NetApp Cloud Insights/ネットアップ合同会社	116
(27) Cloud Volumes ONTAP/ネットアップ合同会社	118
(28) NetApp SaaS Backup for Microsoft365/ネットアップ合同会社	120

5. その他ソリューション

(1) IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE/株式会社内田洋行	124
(2) ソフトウェア配布提供システム Download Station/株式会社内田洋行	126
(3) Microsoft Office 学割特別プラン U365/株式会社内田洋行	128

6. 大学向けクラウドソリューション比較表	132
-----------------------	-----

7. 大学におけるクラウド導入事例

(1) さくらインターネット大学導入事例／さくらインターネット株式会社	144
(2) アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例／アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社	146

8. クラウドプロバイダ紹介

(1) さくらインターネット株式会社	152
(2) 株式会社内田洋行	154

企業別索引	156
-------	-----

大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	157
-----------------------	-----

大学 ICT 推進協議会クラウド部会 ご入会のご案内	160
----------------------------	-----

特集

民間企業各社の 新型コロナウイルス感染症対応 大学・研究機関支援プログラム

新型コロナウイルス感染症対応として、大学・研究機関を対象とした、さまざまな支援プログラムが民間企業各社より提供されています。本特集では実際の利用事例を取り上げます。

新型コロナウイルスの流行に伴い、各大学、研究機関ではさまざまな対策がとられているかと存じます。そのような折、民間企業各社から、大学・研究機関を対象とした、さまざまな支援プログラムが提供されました。国立情報学研究所様や大学 ICT 推進協議会様のサイトではそれらの情報が集約され掲載されています。

国立情報学研究所様

クラウド事業者による新型コロナウイルス感染症対応 支援プログラム一覧

<https://cloud.gakunin.jp/info/covid-19-info/>

9 社 30 の支援プログラムが掲載

大学 ICT 推進協議会様

新型コロナウイルス対策に関する情報共有サイトについて

<https://axies.jp/news/748/>

14 社 40 の支援プログラム/関連製品・サービスが掲載

本特集ではそのなかから、

アマゾンウェブサービスジャパン株式会社様

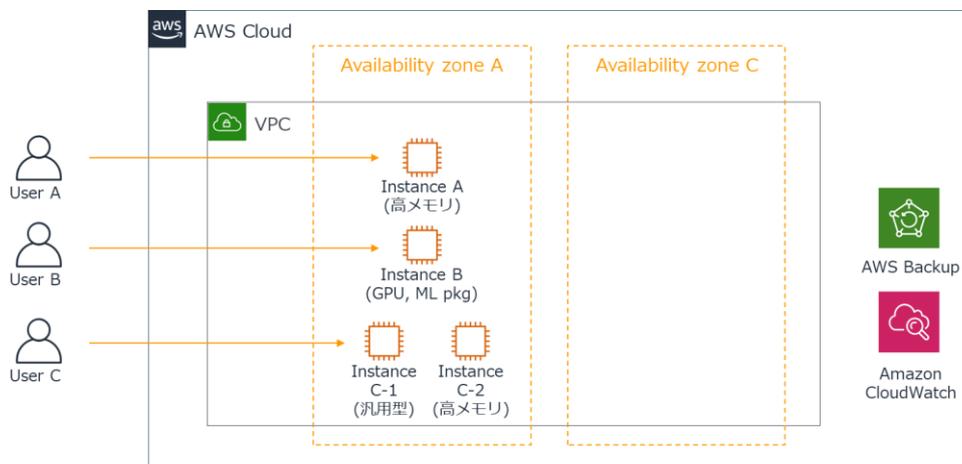
さくらインターネット株式会社様

2 社における支援プログラム内容および実際の利用事例を取り上げています。各大学、研究機関における参考となれば幸いです。

アマゾンウェブサービスジャパン株式会社様①

- お客様名：東京大学 大学院工学系研究科 電気系工学専攻 松橋研究室様
- 背景：新型コロナウイルス感染拡大の対策として、研究室への立ち入りが禁止
 - 博士課程の学生を筆頭に、学生の皆さんの重要な研究論文作成のためには研究室のマシンリソースが必要
 - 研究室への立ち入りができないため、自宅にしながら研究を継続できる環境が急遽必要となった
- リクエスト：論文締め切りが迫っていた博士課程の学生のための計算環境を早急に作りたい。
- 問題点
 - アカウントはすぐに作れたが、AWS 導入したことがあるかたがいらっしゃらない。
 - 特にセキュリティ周りの設定に不安点
- 解決策
 - Amazon Partner Network のコンサルティングパートナー企業をご紹介
 - 複数社からご検討され株式会社 Fusic 様へ構成の相談および構築の依頼
- Fusic 様からのご提案
 - AWS 上に研究用の計算基盤を構築：AWS 上のセキュアなプライベート仮想ネットワークを構築
 - 学生毎に AWS の計算リソースを提供：学生毎に異なる、必要な性能の計算リソースを、必要なときだけ利用
 - 学生の研究活動の緊急性に応じた導入フェーズ：スピーディーな研究活動の再開のため、優先度に応じた段階的な導入フェーズを計画

【構築環境】



ユーザのニーズにあわせ、それぞれに環境を用意。

- 結果
 - ヒアリング翌日には問題点計算基盤、計算リソースが利用可能に。
 - 自宅から AWS へアクセスし研究を継続、無事論文締め切りにも間に合う
 - 研究効率が向上
 - AWS 上の豊富なバリエーションの計算リソースから高性能・最適なものを選択できたことで、「従来よりも計算処理を高速に完了させることができた（数日⇒数時間）」との評価

アマゾンウェブサービスジャパン株式会社様②

■お客様名：札幌学院大学様

■背景

- 新型コロナウイルス感染拡大の対策として、授業がオンラインへ。
- 従来も LMS の仕組みはあったが、短期間での増強が必要に。
- 職員も大学への立ち入りができないため、学内の仕組みへ自宅から安全に接続できる環境が必要。

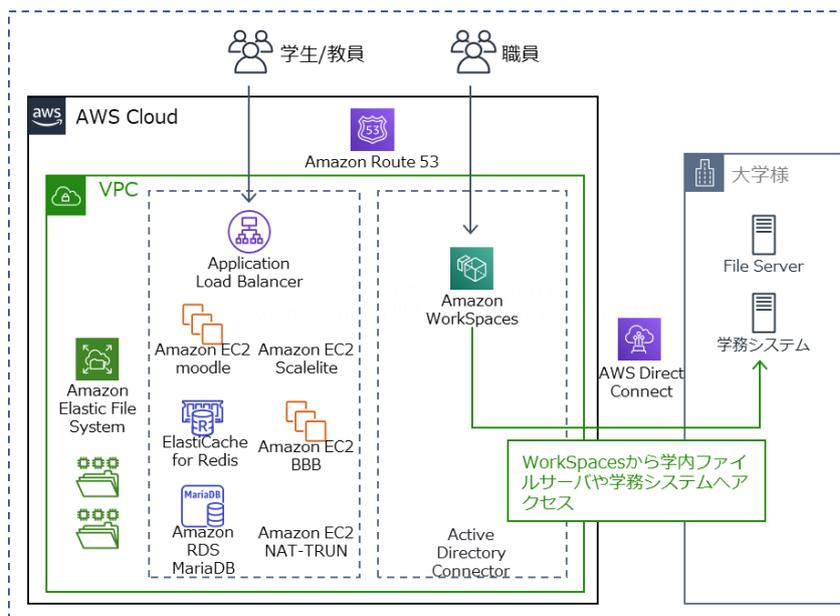
■リクエスト

- 現在の環境をあまり変えることなく、早急に環境を整えたい。

■解決策

- 札幌学院大学様では自ら AWS 設定変更ができる方が内部にいらっしゃったため、AWS 技術担当者と構成のディスカッション後、すぐに構成を変更し、LMS(Moodle)の増強に成功。
- AWS の専用線接続サービス Direct Connect と Amazon Workspaces を活用することで安全に基幹系サーバへの接続経路を確立。キャンパスへアクセスできなくても業務継続をできる環境へ。

【構築環境】



■結果

- 急増するオンライン講義利用者に対応したサービス基盤
- 仮想デスクトップ基盤を利用した職員向けテレワーク環境の構築

本事例へのご質問などは

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 学術・研究機関担当 aws-jpps-er@amazon.com

までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社様①

さくらインターネット様では以下 2 つの支援プログラムを提供

1. 「さくらのクラウド」の提供

学術・研究機関で新型コロナウイルス感染症への対応として「さくらのクラウド」の利用をご希望の方、月額 5 万円程度を 7 月末（延長する場合もございます）まで無償提供

2. ウェブサーバの提供

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をまとめたウェブサイト向けへのサーバ無料提供

1. 「さくらのクラウド」の提供に関し

ケース 1

国立情報学研究所の柏崎様に活用いただき、日本学術振興会産学協力研究委員会インターネット技術第 163 委員会(ITRC)の「地域間インタークラウド分科会」(RICC)のウェブサーバ・メールサーバの増強・拡充、および RICC が研究開発を進めている広域分散プラットフォーム「Distcloud」と接続して広域分散アプリケーションの検証実験等にご利用いただいております。

- 背景：コロナ渦のためにリモートワークなどでネットワーク負荷やコントロールに課題が出ている
 - これまでは組織内ネットワークだったので SLA などコントロール可能であった
 - VPN の冗長等、直ちにクラウドサービスで実現するのは難しいので、それまでのサービスを外部 DC に配置、冗長性を高めるために広域分散する状況が、特に大学の教育情報システムで見られた
 - ところがコントロール可能性のない（あるいは蓋然性の低い）ネットワークをまたがる分散システムの場合、その部分の SLA により広域分散システム全体の SLA が低下するということが想定される
- 解決策：広域分散プラットフォームで、耐障害性の検証をするために「さくらのクラウド」を利用

ケース 2

神戸大学様において、オンプレの計算資源を入構制限のため利用できなくなり、さくらのクラウドをご利用いただいております。Hyperledger Fabric を用いたブロックチェーンの開発や、AI を活用した対話型アプリの Web UI の作成にご利用いただいております。

- 背景：新型コロナウイルス感染拡大の対策として、入構制限がかかる
 - 研究室の学生が多い中、実験室への同時入室人数の制限が厳しく、研究活動にダイレクトに影響
 - 大学に行かないとどうしても実験ができない学生のリソース確保が急務
- 解決策：「さくらのクラウド」を利用し研究・開発を実施

さくらインターネット株式会社様②

2. ウェブサーバの提供に関し

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をまとめたウェブサイト向けに、サーバの無料提供を実施。第一号は北海道のコロナ情報をまとめたサイト「JUST 道 IT」（向けにサーバ無料提供しているほか、13自治体に向けてサーバを提供（2020/09/07 現在）

提供するサービス：さくらのクラウド、ウェブアクセラレータ(CDN)

【北海道のコロナ情報まとめサイト「JUST 道 IT」 <https://stopcovid19.hokkaido.dev/>】



「JUST 道 IT」は、3月9日に開設された北海道内のコロナ感染者数の推移などが一覧できるポータルサイトで、道内の有志エンジニアやデザイナーにより、東京都の「新型コロナウイルス感染症対策サイト」をベースとして制作されました。「JUST 道 IT」は、行政が持つ一次情報をありのまま公開することで、データによって現状をしっかりと伝え、デマや間違った情報をうのみにしない状況が広がることを理想として立ち上がりました。

本事例へのご質問などは

さくらインターネット株式会社 学術・研究機関担当 edu-ml@sakura.ad.jp

までご連絡ください。

1. 教育支援系ソリューション

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/workspaces/

■製品サービスの特長

Amazon WorkSpaces

Amazon WorkSpaces はクラウドで動作する、マネージド型仮想デスクトップコンピューティングサービスです。Amazon WorkSpaces を使用することで、クラウドベースのデスクトップを簡単にプロビジョニングでき、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Kindle Fire タブレット、および Android タブレットといったサポート対象デバイスから、必要なドキュメント、アプリケーション、およびリソースにアクセスできるようになります。月単位または時間単位のいずれかで支払うことができるため、従来のデスクトップやオンプレミスの VDI ソリューションに比べて、費用を削減できます。Amazon WorkSpaces では、ハードウェアのインベントリ、OS バージョンとパッチ、仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) の複雑な管理作業をなくして、デスクトップ提供戦略を簡素化します。Amazon WorkSpaces では、高速で応答性の高いデスクトップをユーザーが選択し、サポートされているデバイスを使用していつでも、どこからでもアクセスできます。

使用しやすい

Amazon WorkSpaces を導入すると、デスクトップコンピューティングインフラストラクチャの管理を省力化できます。先行投資が不要になり、大きくかさばる物理デスクトップ環境や複雑な仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) ソリューションの保守、更新、管理といった煩わしい作業から解放されるからです。

データを安全に保つ

Amazon WorkSpaces では、各ユーザーが AWS クラウドの永続的ストレージを利用できます。ユーザーが Amazon WorkSpaces を使用してデスクトップにアクセスすると、リモートディスプレイプロトコルによってデータの圧縮、暗号化、およびエンコードが行われ、画像のみが伝送されます。また、Amazon WorkSpaces では、AWS Key Management Service (KMS) との統合によって WorkSpaces ストレージボリュームの暗号化機能が実現しています。

アプリケーションのデプロイと管理

Amazon WorkSpaces Application Manager (Amazon WAM) を使うと、組織で使用する Amazon WorkSpaces 向けデスクトップアプリケーションを迅速、柔軟、かつ安全にパッケージ化、デプロイ、アップデートできます。

選べるハードウェア・ソフトウェア構成

Amazon WorkSpaces では、CPU 性能、メモリ容量、ストレージ容量のさまざまな組み合わせをご用意しており、お客様のご要望に合わせてお選びいただけます。Amazon WorkSpaces は Windows 7 にすでにインストールされているか、あるいは Windows 7 か Windows 10 のデスクトップオペレーティングシステムで起動できます。加えて Amazon WorkSpaces では、一連の基本的なアプリケーションが無料で提供され、Microsoft Office を月額で追加することも選択できます。

多様なデバイスに対応

Amazon WorkSpaces はクラウドに存在するため、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Fire タブレット、および Android タブレットなど、どのサポート対象デバイスからでもデスクトップにアクセスできます。

社内ディレクトリとの統合

Amazon WorkSpaces は、お客様企業の Active Directory とセキュアに統合し、ユーザーが既存の認証情報を使って社内リソースへシームレスにアクセスできるようにします。これにより、お客様が WorkSpaces を現在お使いのシステム管理ツールで管理することも可能になります。

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	実際に使用した分の料金のみで、バンドルタイプとAmazon WorkSpacesの起動数に基づいて課金されます。 お支払い方法には、月額料金または時間料金があります。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail:aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Chime
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/chime/

■製品サービスの特長

Amazon Chime でコミュニケーション

Amazon Chime は、セキュアで使いやすい、信頼できるアプリケーションを使ってオンライン会議を変革するコミュニケーションサービスです。Amazon Chime は Android、iOS、Mac、Windows などのさまざまなデバイスでシームレスに使用できるため、いつでも相手と連絡を取り合うことができます。Amazon Chime では組織の内外のユーザーと、オンライン会議、ビデオ会議、電話、チャット、コンテンツの共有を行うことができます。Amazon Chime は Alexa for Business と連携でき、Alexa を使って自分の声で会議を開始できます。Alexa を使って大きな会議室でビデオ会議を開始することも、小さな打ち合わせ室または自分のデスクからオンライン会議に自動的にダイヤルインすることもできます。

信頼のセキュリティ

Amazon Chime は万全のセキュリティを備えているため、安心してコミュニケーションできます。コミュニケーションはすべて AES 256 ビット暗号化を用いて暗号化され、チャット履歴はデバイス上には保存されません。また、会議に参加できるユーザーを制限することもできます。

Microsoft Active Directory を用いて Amazon Chime のユーザーを管理できるため、自社のログインポリシーを適用できます。また、ユーザーは既存の認証情報を使用してログインできます。Amazon Chime はセキュリティを最優先事項とするアマゾン ウェブ サービスの提供するサービスです。

ビデオ会議

Amazon Chime では、タップまたはクリック 1 回だけでビデオ会議の呼び出しを実行できます。デスクトップでは最大 16 名、モバイルデバイスでは最大 8 名でビデオ会議を利用でき、画面にはビデオタイトルが見やすく表示されます。会話に Chime in して、議論に集中できます。高音質の広帯域オーディオと高精細ビデオにより、声を懸命に聴き取る必要はなく、会議に集中できます。電話からも音声参加が可能です。

チャット

Amazon Chime では、組織の内外の人とチャットができます。新着メッセージがあると通知され、自分が送信したメッセージがいつ送信され、配信され、読まれたかを確認できます。チャットは 1 人だけと行うことも、グループで行うこともでき、ファイルの共有は会話に添付するだけで直ちに行えます。チャットは自動的に自分の複数のデバイス間で同期され、チャット履歴を検索することができます。

チャットルーム

Amazon Chime では、チャットルームを作成し、プロジェクトで仕事をする人々を簡単にまとめられます。@Username を指定すれば、会議室の中の適切な人にアラートを送信できます。また、ファイルは単に会話に添付するだけで共有できます。チャットルームはすべてのデバイスで使用可能で、チャット履歴を検索することができます。

開発者は、着信 Webhook を使用して、更新が発生するとすぐに Amazon Chime のチャットルームにメッセージを投稿するようにアプリケーションを設定できます。これにより、Amazon Chime のチャットルームをリアルタイムのチームコラボレーションのセントラルハブにすることができます。こうした場では、参加者は、重要なアプリケーションからのメッセージや互いのメッセージに、より迅速に回答できるようになります。

スマートプレゼンス

Amazon Chime では、スマートプレゼンスを使ってユーザーの状況が示されます。緑は対応可能、赤は多忙を意味します。プレゼンスは手動で設定し、対応不可であることを示すことも、プレゼンスの状況を完全に隠すこともできます。

製品・サービス名称	Amazon Chime		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	Amazon Chime Pro 機能に対しては、お客様のユーザーがその機能にアクセスする日だけに1ユーザー当たり1日3USD、1か月では15USDの制限付きで課金がされます。また電話でのダイヤルイン、Call me に関しては通話時間に応じて費用が発生します。チャットや会議へ出席をするAmazon Chime Basicの機能は無料です。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有 ・ 無 ・ そ の 他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生	電話番号: FAX 番号: Mail:aws-jpps-er@amazon.com	

2. 研究支援系ソリューション

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/research/

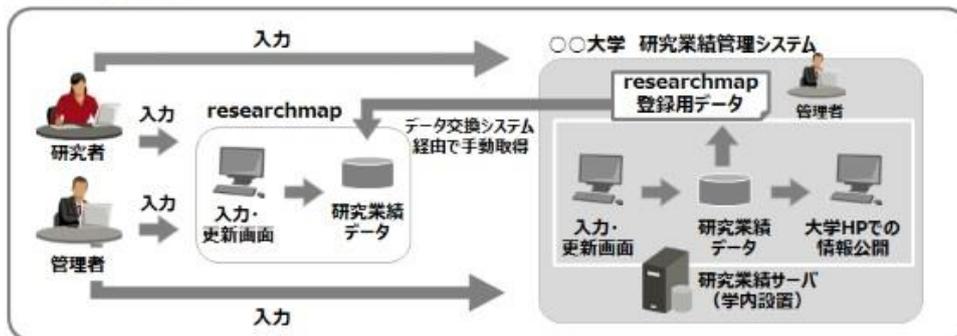
■製品サービスの特長

【製品の概要】

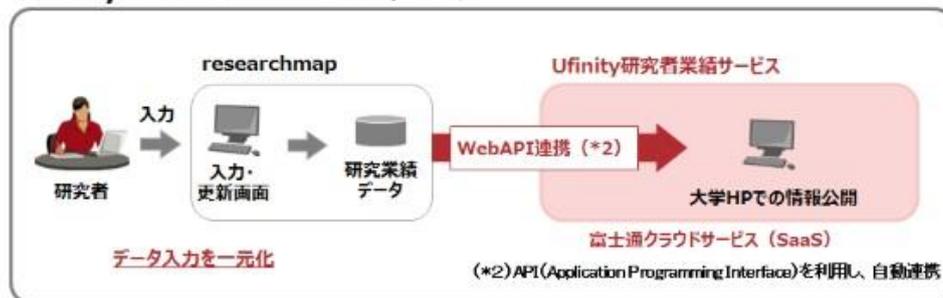
「Ufinity 研究者業績サービス」は、「researchmap」(注)に登録されている研究者の業績情報を活用した、大学ごとに研究者の研究業績が公開可能な SaaS 型サービスです。

本サービスにより、大学は、独自の研究者業績データベースの構築や運用が不要になります。

従来の仕組み



Ufinity研究者業績サービスの仕組み



(注) 国立情報学研究所が開発し、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、26 万件におよぶ研究者の研究業績情報が登録された国内最大のデータベース。

【製品の特長】

- 富士通データセンターでサーバ管理する安全・安心な SaaS サービスです
 - データベースは researchmap を活用。独自にデータベースを用意する必要なく、すぐにサービスを開始することができます。
 - サーバ等のシステムは当社データセンターにて一元管理し、防犯・防災などのセキュリティ対策や日々のデータバックアップも万全です。大学様毎にサーバを購入する必要がありません。
- 日本最大の研究者情報データベース「researchmap」を活用
 - データは既に researchmap に用意されていますので、すぐにサービスを利用できます。独自のデータベースのように情報更新のつど、同期を取る必要はありません。
- 大学専用の閲覧サイトをご用意します
 - 大学様に合わせた学部、学科、研究分野別など多様な検索ページ・一覧表示設定が可能です。デザイン、レイアウトも大学様に合わせブラウザ上で自由に変更できるように複数パターンをご用意しております。

NetCommons®2 系(国立情報学研究所 情報・システム研究機構が開発しているオープンソースソフトウェア)をベースとした CMS(コンテンツマネジメントシステム)機能で、容易に編集・公開が可能です。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数()社:利用企業名() 大学数(10)校:利用大学名()		
費用	トライアル:無、課金体系:定額制、割引プラン:なし		
利用条件	利用対象:researchmapに登録している大学及び研究機関		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法:振込、支払通貨:円		
販売代理店	無、有(代理店名:富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(契約書)	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他()	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(対象外)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定(対象外)
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	Web サイト	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月2回 夜間	サービス停止の通知	3ヶ月前に通知
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク
問合せ先	企業名:富士通株式会社 部署名:富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者:	電話番号:0120-933-200 FAX 番号: Mail:	

製品・サービス名称	Hitachi Visual Inspection Application / 画像 AI アプリケーションプラットフォーム
提供企業名	株式会社 日立製作所
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/bigdata/platform/visual-inspection-application/index.html

■製品サービスの特長

画像検査 AI を PoC で終わらせない

画像検査 AI 活用プロジェクト、PoC で終わっていませんか？

製造現場での製品品質の向上、人手不足の解消、検査技術の伝承の観点で、目視検査工程への AI の活用が注目されています。

一方、PoC にて優れた AI 画像認識エンジンができたとしても、高度に自動化された製造現場のシステムに組み込むためには、システムの立ち上げが困難だったり、AI エンジンやデバイスとの接続が必要だったりするなど、さまざまな課題があることがわかってきました。

Hitachi Visual Inspection Application (以下、HVIA) は、AI を活用した目視検査工程の本番システム構築や運用管理を低コストかつスムーズに行えるように設計されたアプリケーションプラットフォームです。

HVIA の特長

より効率的に AI 目視検査システム構築をサポートし、PoV / 本番環境の構築工数を最適にする HVIA の特長をご紹介します。

特長 1: さまざまな AI エンジンがえらべる

オリジナルで作成した AI エンジン、クラウドで提供される AI エンジンと連携が可能です。また日立が用意したエンジンをお使いいただくオプションもございます。

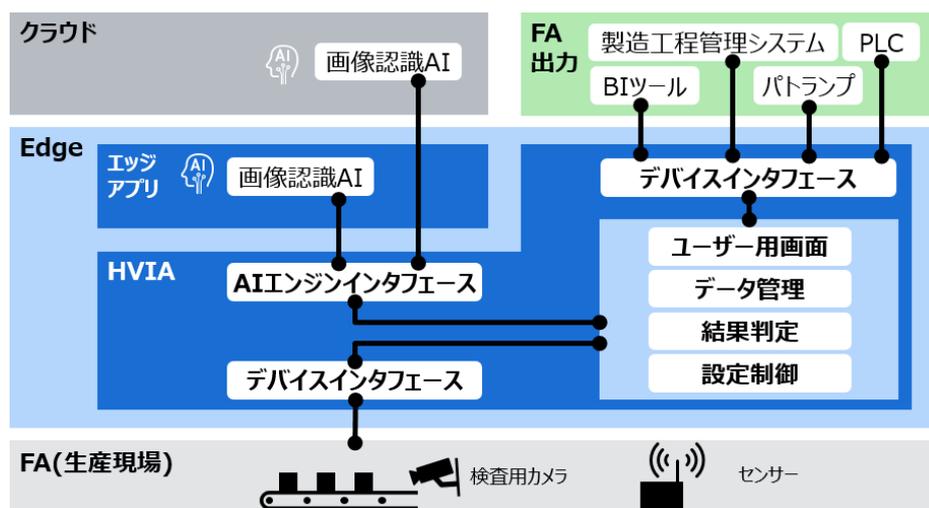
加えて、システム稼働開始後の学習・追加学習も容易にできます。

特長 2: さまざまなデバイス・システムとつながる

画像認識 AI のシステムに欠かせない、画像入力用の各社カメラ接続に対応しています。また、出力先として、PLC、パトランプなどの制御系デバイスや、製造工程管理システムや BI ツールとの接続に対応可能です。

特長 3: システム立ち上げがかんたん

ユーザー用画面、AI 用データ管理、結果判定機能、デバイスインターフェース、AI エンジンインターフェースなど、お客様の目視検査工程の業務を遂行するために必要な機能がそろっています。



ユースケース例

- ・学外ユーザが、研究室が作成した AI モデルを実地検証するときの画像 AI アプリケーションプラットフォームとして。
- ・学外ユーザが、研究室が作成した AI モデルをクラウド上で試すときの画像 AI アプリケーションプラットフォームとして。

AI: Artificial Intelligence、PoC: Proof of Concept、PoV: Proof of Value、PLC: Programmable Logic Controller

BI: Business Intelligence、FA: Factory Automation

製品・サービス名称	Hitachi Visual Inspection Application / 画像 AI アプリケーションプラットフォーム		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(非公開) 大学数(非公開)校:利用大学名(非公開)		
費用	・トライアル:有 ・課金体系:Fee 型、従量制課金の上限設定:有。利用ライセンス毎課金。 ・割引プラン等:学術利用時の割引はお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数:1、最低利用期間:1年、利用対象の制限:特になし 【製品の場合】ライセンス形態:利用契約、保守:別売り。初年度から。		
支払方法	四半期毎請求、後払、支払方法:日立営業を通してのお支払い、支払通貨:日本円		
販売代理店	無、有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他()	利用開始までの期間	20 営業日
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外(ソフトウェアであり対象外)	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(ソフトウェアであり対象外)	目標稼働率	有・無・その他(ソフトウェアであり対象外)
ストレージ	多重化有・無・その他(ソフトウェアであり対象外)	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	メール	対応インシデント数	-
計画停止の頻度	ソフトウェアであり対象外	サービス停止の通知	ソフトウェアであり対象外
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名:株式会社 日立製作所 部署名:エンタープライズプロダクツビジネス推進室 担当者:笠原利春	電話番号:045-881-7161 FAX 番号:- Mail:hpdainquiry@itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	AWS IoT Core
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/iot-core/

■製品サービスの特長

AWS IoT Core

AWS IoT Core は、インターネットに接続されたデバイスから、クラウドアプリケーションやその他のデバイスに簡単かつ安全に通信するためのマネージドクラウドプラットフォームです。IoT プラットフォームを使用すると、さまざまな場所の接続されたさまざまなデバイスに、安全な通信、データの処理とルーティング、デバイス管理を提供することができ、産業用ソリューションやコネクテッドホームソリューションなどの IoT アプリケーションを簡単に構築できます。AWS IoT Core のような IoT プラットフォームでは、AWS IoT Analytics などのサービスに接続することで、分析モデルや機械学習モデルを構築することもできます。

AWS IoT Core では数十億個のデバイスと数兆件のメッセージをサポートしており、それらのメッセージを AWS エンドポイントや他のデバイスに確実かつセキュアに処理してルーティングします。AWS IoT Core を使用すれば、アプリケーションがインターネットに接続されていない場合でも、すべてのデバイスを常に追跡して通信できます。

エッジやクラウドベースの各種サービスとの統合

AWS IoT Core は、AWS IoT エッジベースのソフトウェアおよびクラウドベースの各種サービスと統合できます。Amazon FreeRTOS や AWS Greengrass など、エッジベースのソフトウェアによって、デバイスに安全に接続し、エッジにあるデータに基づいてアクションを起こすことができます。AWS IoT Device Management や AWS IoT Device Defender のようなクラウドベースのサービスによって、デバイスを追加し、デバイスフリートのセキュリティを管理することができます。AWS IoT Analytics を使えば、IoT データに対する分析を実行し、IoT アプリケーションと機械学習ユースケースについてよりよい決定を下すためのインサイトを得ることが可能です。

デバイスの接続と管理

AWS IoT Core ではデバイスをクラウドや他のデバイスに簡単に接続できます。AWS IoT Core では、断続的な接続を許容し、デバイスのコードフットプリントを削減し、必要なネットワーク帯域幅を削減するよう特別に設計された HTTP、WebSocket、MQTT といった軽量の通信プロトコルをサポートしています。また、AWS IoT Core では他の業界標準およびカスタムプロトコルをサポートしており、別のプロトコルを使用しているデバイス間でも相互に通信できます。

デバイスの状態をいつでも読み取って設定

AWS IoT Core では、いつでも読み取りや設定を行えるよう、接続されたデバイスの最新の状態が保存され、アプリケーションにはデバイスが常にオンラインであるかのように表示されます。つまり、接続が切断された場合でもアプリケーションでデバイスの状態を読み取ることができ、デバイスが再接続された時にデバイスの状態を設定して実装することができます。

データ収集・処理・分析・アクション

AWS IoT Core を使用すると、AWS Lambda、Amazon Kinesis、Amazon S3、Amazon SageMaker、Amazon DynamoDB、Amazon CloudWatch、AWS CloudTrail、Amazon QuickSight といった AWS の各種サービスを簡単に使用できます。これにより、インフラストラクチャの管理をせずに、接続されたデバイスで生成されたデータを収集、処理、分析し、そのデータに基づいてアクションを起こす IoT アプリケーションを構築できます。

製品・サービス名称	AWS IoT Core		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	使用した分に対してのみ支払いが発生し、接続の使用量、メッセージング、デバイスシャドウの使用量(デバイス状態ストレージ)、レジストリの使用量(デバイスメタデータストレージ)、ルールエンジンの使用量(メッセージの変換とルーティング)について、個別に料金が請求されます。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有 ・ 無 ・ そ の 他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	AWS RoboMaker
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/robomaker/

■製品サービスの特長

AWS RoboMaker は、開発者がインテリジェントなロボット工学アプリケーションを簡単に開発、テスト、デプロイできるようにするサービスです。

ROS 向けのクラウド拡張機能

Robot Operating System (ROS) は最も広く使用されているオープンソースのロボット工学ソフトウェアフレームワークで、ロボット工学アプリケーションの構築に役立つソフトウェアライブラリを提供しています。AWS RoboMaker には ROS 向けのクラウド拡張機能が用意されているため、一般にインテリジェントロボット工学アプリケーションに必要でリソースを大量に消費するコンピューティングプロセスをクラウドで実行し、ローカルのコンピューティングリソースを解放することができます。これらの拡張機能により、ビデオストリーミングのための Amazon Kinesis Video Streams、画像と動画の分析のための Amazon Rekognition、音声認識のための Amazon Lex、音声合成のための Amazon Polly、ログ記録とモニタリングのための Amazon CloudWatch といった AWS のサービスと簡単に統合できます。RoboMaker ではそれぞれのクラウドサービス拡張機能をオープンソースの ROS パッケージとして提供されるため、クラウド API を活用してロボットの機能を構築できます。これらの API はすべて使い慣れたソフトウェアフレームワークに含まれています。

Amazon Kinesis と Amazon Rekognition によるコンピュータビジョン

Amazon Kinesis と Amazon Rekognition を使用してコンピュータビジョンアプリケーションを構築し、クラウドのコンピューティングリソースを使用してローカルの負担を軽減できます。Amazon Kinesis Video Streams のストリーミングデータを Amazon Rekognition Video に入力し、お客様が提供する最大数千万件の顔データと照らし合わせて、非常に低いレイテンシーで顔認識を実行できます。

Amazon Lex および Amazon Polly による音声コマンド

Amazon Lex では、高品質の音声認識と自然言語理解に加えて、intent チェイニングを利用できるため、ロボットに対して行われる複雑な会話を小さい構成要素に分解して単純化できます。応答と音声合成について言うと、Amazon Polly では、何十種類ものリアルな音声をさまざまな言語でサポートしているため、最適な音声を選択して、音声対応のロボット工学アプリケーションを多数の国で配信できます。

Amazon CloudWatch によるモニタリングとログ記録

Amazon CloudWatch から得られる実用的なインサイトは、アプリケーションパフォーマンスの最適化、リソース使用率の管理、ロボットフリートに関するシステム全体のオペレーション状態の把握に役立ちます。CloudWatch では、メトリクスとログデータを 1 秒単位で確認できます。データ (メトリクス) は 15 か月間保持され、メトリクスに対して計算を実行することもできます。これにより、ロボットの使用状況やパフォーマンスを把握できます。

開発環境

AWS RoboMaker は、ロボット工学アプリケーションを構築および編集するためのロボット工学開発環境を提供します。RoboMaker の開発環境は AWS Cloud9 に基づいているため、ロボット工学アプリケーションコードを編集、実行、デバッグするための専用ワークスペースを起動できます。RoboMaker の開発環境には、オペレーティングシステム、開発ソフトウェア、ROS が、自動的にダウンロード、コンパイル、設定されます。また、RoboMaker のクラウド拡張機能とロボット工学アプリケーションのサンプルもこの環境に事前に統合されているため、すぐに使用を開始できます。

シミュレーション

シミュレーションを使用すると、複雑な環境や変化する環境でロボット工学アプリケーションがどのように動作するのかを把握できるため、高価なハードウェアに投資したり、物理的なテスト環境を用意したりする必要がありません。物理的なハードウェアにデプロイする前に、シミュレーションを使用してロボット工学アプリケーションのテストと微調整を行うことができます。AWS RoboMaker は完全マネージド型のロボット工学シミュレーションサービスを提供し、大規模なシミュレーションおよび並列シミュレーションをサポート、さらに土台となるインフラストラクチャをシミュレーションの複雑さに基づいて自動的にスケールします。また、RoboMaker では、屋内の部屋、小売店、サーキットなど、事前に構築された仮想 3D ワールドを利用できるため、これらのワールドをダウンロードし、自分のシミュレーションで変更して使用できます。これにより、シミュレーションを短時間で簡単に開始できます。

フリート管理

Amazon アプリケーションの開発または変更が完了したら、アプリケーションを安全にロボットにデプロイしたり、後でロボットの使用中にアプリケーションを更新したりするための無線通信経由 (OTA) システムを構築する必要があります。AWS RoboMaker は、ロボットの登録簿、セキュリティ、耐障害性といった機能が組み込まれたフリート管理サービスを提供しています。これを使用することで、ロボット工学アプリケーションを、デプロイしたり、OTA により更新したり、ロボットのライフサイクル全体において管理したりすることが可能です。RoboMaker のフリート管理では、ロボットをグループ化することや、バグ修正または新しい機能に伴う更新を行うことができます。これらはすべて、コンソールで数回クリックするだけで実行できます。

製品・サービス名称	AWS RoboMaker		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	AWS RoboMakerでは、前払い料金は発生せず、使用しているAWSリソースに対してのみ料金が発生します。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon SageMaker
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/sagemaker/

■製品サービスの特長

Amazon SageMaker は、開発者やデータサイエンティストが機械学習モデルを構築、トレーニング、デプロイできるようにする完全マネージド型サービスです。Amazon SageMaker には、Build、Train、および Deploy という 3 つのモジュールがあります。Build モジュールは、データを操作し、アルゴリズムを試し、出力を視覚化するためのホストされた環境を提供します。Train モジュールでは、ワンクリックでのモデルのトレーニングやチューニングを大規模かつ低コストで行うことができます。Deploy モジュールは、推論のためのモデルを簡単にホストし、安全かつ低レイテンシーでテストするためのマネージド環境を提供します。

オーサリングモデル用のマネージドノートブック

Amazon SageMaker は、データの吟味と前処理のトレーニング用に、Jupyter ノートブックを実行する完全にマネージされたインスタンスを提供します。これらのノートブックには、よく使われる深層学習プラットフォームに対応した CUDA および cuDNN ドライバー、Anaconda パッケージ、TensorFlow、Apache MXNet、PyTorch、Chainer 用のライブラリがあらかじめロードされています。

高パフォーマンスのアルゴリズムを組み込み

Amazon SageMaker は速度、規模、正確さに最適化された高パフォーマンスでスケーラブルな機械学習アルゴリズムをお届けします。これらのアルゴリズムはペタバイト規模のデータベースをトレーニングでき、他の実装に比べて最大 10 倍のパフォーマンスがあります。トレーニング中に正しい答えがわかる教師ありアルゴリズムから選択することができ、ミスをしたモデルに指示することができます。Amazon SageMaker には XGBoost などの教師ありアルゴリズムや、線形回帰、ロジスティック回帰または分類分けが組み込まれており、推奨と時系列予測の問題に対処できます。Amazon SageMaker にはまた k 平均法クラスタリングや主成分分析 (PCA) などの教師なし学習 (アルゴリズムが自分で正しい答えを選ぶ) もあり、購買行動に基づく顧客のグループ分けなどの問題を解決できます。

幅広いフレームワークをサポート

Amazon SageMaker は TensorFlow、Apache MXNet、Chainer、PyTorch、Scikit-learn、SparkML を自動的に構成して最適化するため、これらのフレームワークの使用開始時には何もセットアップをする必要がありません。他の主要なフレームワークもこの数か月中に追加する予定です。ただし、Amazon EC2 Container Registry に格納されている Docker コンテナにフレームワークを組み込めば、いつでも好きなフレームワークを Amazon SageMaker に組み込むことができます。

ワンクリックでトレーニング

Amazon SageMaker でトレーニングの準備が整ったら、コンソールで Amazon S3 のデータの場所、ならびに必要な Amazon SageMaker ML インスタンスのタイプと数量を指定します。その後、1 回クリックするだけで、トレーニングを開始できます。Amazon SageMaker は分散型コンピュータークラスターをセットアップし、トレーニングを行い、結果を Amazon S3 に出だし、完了後クラスターを解体します。

自動モデルチューニング

Amazon SageMaker は何千ものアルゴリズムパラメーターを調節してモデルを自動的にチューニングし、モデルが出し得る最も正確な予測に到達します。

1-Click デプロイ

Amazon ML インスタンスは複数のアベイラビリティゾーン間で自動スケーリングされます。お客様は、1 回クリックするだけで、この冗長性に優れたインスタンスにモデルをデプロイできます。お客様がインスタンスのタイプ、必要なインスタンスの最大数と最小数を指定すると、残りの手順は自動的に実行されます。インスタンスの作成、モデルのデプロイ、アプリケーションと安全に通信するための HTTPS エンドポイントのセットアップも自動的に行われます。アプリケーションではこのエンドポイントへの API コールを行うだけで、低レイテンシーで高スループットの推論が利用できます。

製品・サービス名称	Amazon SageMaker		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	使用した分のみ料金が発生します。構築、トレーニング、ホスティングは秒単位で課金され、最低料金や前払いの義務はありません。Amazon SageMaker の料金はオンデマンド ML インスタンス、ML ストレージ、ノートブックとホスティングインスタンスでのデータ処理料金に分かれています。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/services/sim/

■製品サービスの特長

さくらのセキュアモバイルコネクトは、高セキュアな閉域型ネットワークを提供する IoT 向けプラットフォームです。ネットワーク通信速度制限を設けず、非常に安価で快適な通信を実現しました。

セキュアモバイルコネクトの特長



強固なセキュリティ

SIMからさくらのネットワークまでインターネットを経由せず閉域網で接続可能。



通信速度制限なし

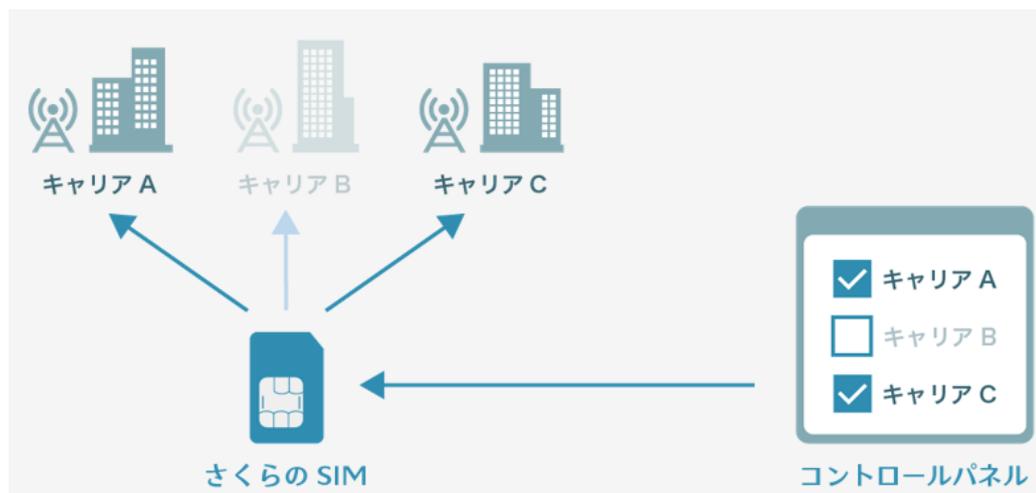
一般的なSIMのように容量による通信制限がかかりません（デバイス性能、環境影響は受けます）。



低コストを実現

さくらのネットワークを利用することで通常高額なモバイルゲートウェイ料が低価格に。

1枚のSIMで3キャリアに対応



SIMからさくらのクラウドに直結



お客様の SIM から当社データセンターへ送信したデータは、「さくらのクラウド」をはじめとする当社インターネットインフラサービス、さらにお客様の既存ネットワークへの連携ができます。

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数(非公開)校		
費用	SIM 本体価格 ¥2,200/枚、SIM 基本利用料 ¥13/枚/月、その他モバイルゲートウェイ利用料、通信料が必要		
利用条件	ご利用拘束期間はございません。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他(アマゾン)	利用開始までの期間	即日
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他(Active & Standby)
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:さくらインターネット株式会社 部署名:営業部 担当者:	電話番号:03-5332-7071 FAX 番号:03-5332-7079 Mail: edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ne.jp/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ <https://www.sakura.ne.jp/>

豊富な Web サーバ機能	CMS の標準機能 (WordPress、XOOPS 等) マルチドメイン対応 アクセスログの保有・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP を利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供 (オプション) OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼働	99.95%以上の稼働実績 DISK の二重化 日次バックアップの取得

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス

数多くの研究室に存在するサーバを本サービスで集約することにより、情報システム部門の管理者様の運用負担を軽減することができます。

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便に管理できる機能をご提供。 <ul style="list-style-type: none"> ■アカウント管理機能：アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能：サーバリソース (CPU / メモリ) のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ：メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ：ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能：コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	事業者様ブランドとしてご提供をいただくにあたり、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ(ビジネス)の機能をベースにご提供いたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理のため、事業者様にはスムーズなサポート体制をご提供。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(ご利用件数 40 万件突破) 大学数(非公開)校:利用大学名()		
費用	サーバ単位でのご契約となります。 280 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 14 万円となります。		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は当月分を前月 10 日請求、前月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他()	利用開始までの期間	5営業日
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(99.99%以上)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他(SSL)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00~18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:さくらインターネット株式会社 部署名:営業部 担当者:	電話番号:03-5332-7071 FAX 番号:03-5332-7079 Mail: edu-ml@sakura.ad.jp	

3. 事務支援系ソリューション

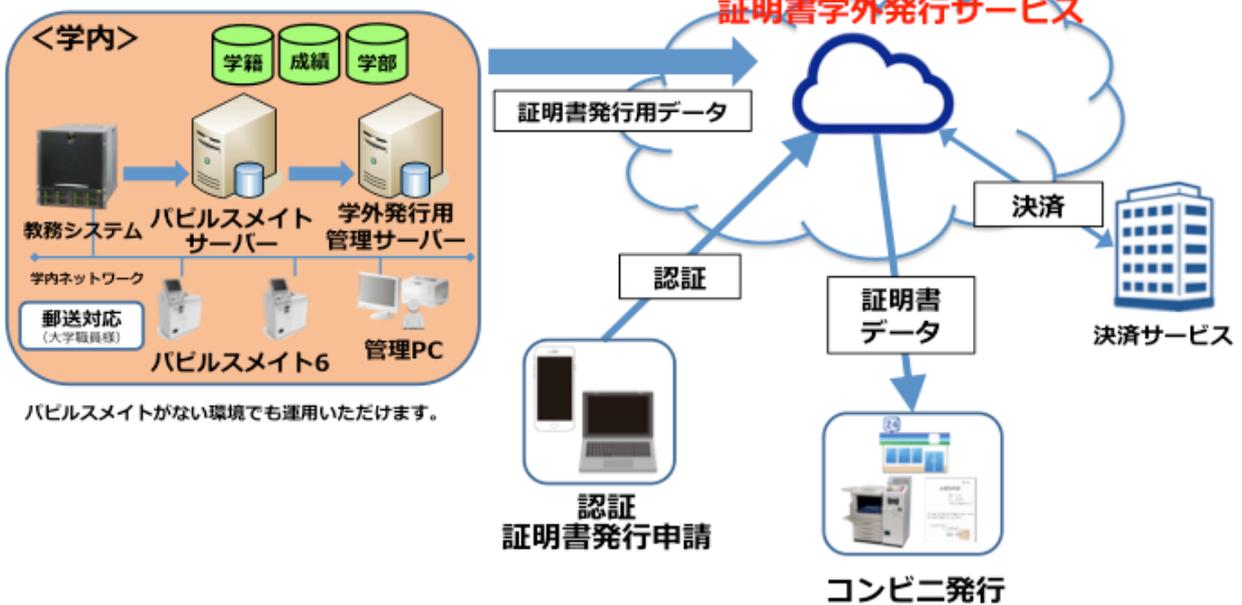
製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	

■製品サービスの特長

証明書発行の新しいステージへ

学外での証明書発行サービスを安全・確実・便利に運用いただけます。

証明書学外発行サービス



■証明書学外発行サービスの概要

これまで、大学に来なくては取得することが出来なかった各種証明書を、実家への帰省時や遠隔地での就職活動時などに、近くのコンビニエンスストアで即時発行することが出来るようになります。(決済方法は今後追加予定です)

1.パピルスメイトとの連携データ仕様をそのままお使いいただけます。

2.決済方法として、コンビニ決済、クレジット決済に対応しています。

3.留学生対応として、利用者画面は日本語と英語に対応しています。

製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他(ソフトウェア販売)	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(学生サービス)
■一般事項			
契約実績	法人数()社:利用企業名() 大学数(3)校:利用大学名(非開示)		
費用	・初期費用:個別見積 ・ランニング費用:個別見積		
利用条件	・最低ユーザ数:設定なし ・最低利用期間:1年間		
支払方法	請求サイクル:応談		
販売代理店	無、有(お問い合わせください)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(利用申込書)	利用開始までの期間	ご契約後 4~6ヶ月程度
約款の有無	有・無(学生向けの利用約款はあり)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	実績稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	ストレージ	多重化有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	データ暗号化	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:30	QA 対応時間帯	9:00~23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有(年に1回程度)	サービス停止の通知	2週間前まで
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:ICRリサーチ&開発部門 ディビジョン ICT プロダクト企画部 担当者:河野・榎原	電話番号:03-5634-6209 FAX 番号:03-5634-6831 Mail: papyrus@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/codemari/

■製品サービスの特長

複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ&ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。



▶ codemariの特長

環境をワンタッチで構築。リモコンいらずで調整も自由自在!

必要な機器の起動・セットアップをボタン1つで行えます。映像、音声、照明の調整を全てタブレット端末で操作でき、声による操作も可能です。

ネットワーク経由で遠隔操作

ネットワークを通じて、室内からはもちろん、離れた準備室からでも事前準備や操作ができます。

全部屋の稼働状況の確認、利用実態の把握が可能!

管理者は、部屋の一覧で稼働状況の確認と遠隔サポートが容易に行えます。また、操作ログを閲覧でき、部屋の利用実態の把握ができます。

コデマリからビルの照明・空調設備の制御が可能

講義・プレゼン中でも部屋の状態を正確に把握でき、部屋の中を快適な(生産性の高い)状態に維持できます。

英語、中国語表示への対応

ブラウザの使用言語の設定に合わせて日本語、英語、中国語に切り替えて表示します。ユーザーにとって身近な言語で操作できます。

▶ 主な操作内容

①かんたん設定
各機器をあらかじめ設定した状態に準備します。②~⑧で設定可能な各機能を一括でセットアップします。

②映像設定
プロジェクターで投影したりディスプレイに表示する映像を指定して切り替えます。

③サウンド設定
スピーカーの音源切替、音量のUP/DOWNやミュートを行います。

④照明設定
照明のON/OFF、照度の調節を行います。あらかじめ設定した状態を指定して一括で変更することもできます。

柔軟な画面構成が可能
お客様の導入機器や使い方に合わせて、画面内のアイコンや文言などの設定変更が行えます。
※機器の変更・追加については、事前にお問い合わせください。

⑤操作選択(トップ画面)

⑤プロジェクター制御
プロジェクターの電源ON/OFF、入力切替、映像ミュートを行います。

⑥スクリーン昇降
電動スクリーンの昇降を行います。

⑦パソコン電源制御
教室内のパソコン電源ON/OFFを一括で管理できます。

⑧空調設定
空調の設定を行います。部屋の温湿度、CO₂濃度の状況も把握できます。

操作一覧
操作する項目を選びます。お客様の使い方に合わせた専用の操作画面をご用意します。映像切替、音量調節、電源制御、スクリーン昇降、照明制御、かんたん設定など。

▶ スケジュール制御



授業時間に合わせて自動で機器のON/OFFができます。授業時間に合わせて自動で機器を立ち上げることができ、余分な時間が削減されます。教室毎の終了時刻に合わせて、機器の電源OFFが行え、つけっぱなしによる動作不良を防げます。

▶ 稼働状況の確認や操作履歴を分析!



全体状況の把握を簡単に
部屋の一覧で稼働状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ遷移し、遠隔サポートも容易に行えます。

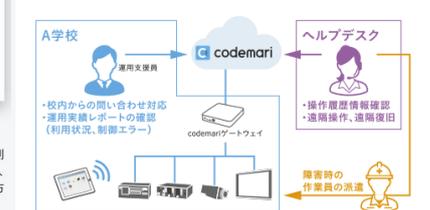


運用実績に基づいた改善検討
操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。



▶ クラウドサービスで運用が可能に!

オンプレミスでサーバを新規導入しなくても構築でき、サーバ管理が不要となります。また、ヘルプデスクで遠隔サポートすることができ、障害復旧のスピードが早められます。運用実績レポートもご提供いたしますので、将来的な設備計画に役立てていただけます。



製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名() 大学数(非公開)校:利用大学名()		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料(定額)が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次/年次請求、前払		
販売代理店	有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他()	利用開始までの期間	注文後 1.5 か月程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:ICT プロダクト企画部 担当者:太田 裕士	電話番号:03-5634-6209 FAX 番号:03-5634-6831 Mail:ootahiroshi@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/

■製品サービスの特長

RoomSense

オープンスペースの利用状況を可視化して、利便性を向上するためのシステムです。

- 空いている席を探す、無駄な時間を削減できます。
- 人が密集していないオープンスペースが、見つかります。
- 利用履歴を活用し、効率的な施設運用ができます。



01 | 利用状況をセンサーが検知しLEDライトの表示で空きスペースが一目でわかる。

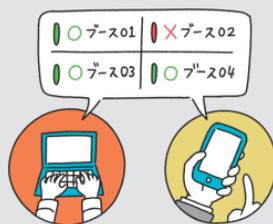
各ブースに設置したセンサーが、人の動きを検知することで、LEDライトの色を切り替えます。



◀LEDライトの色で、ブースの利用状況を瞬時に判断できます。

02 | 離れた場所からWebブラウザを使って、空いている席を簡単に探せる。

PCやスマホのWebブラウザで利用状況を閲覧できるので、離れた場所から利用可能な場所を探せます。



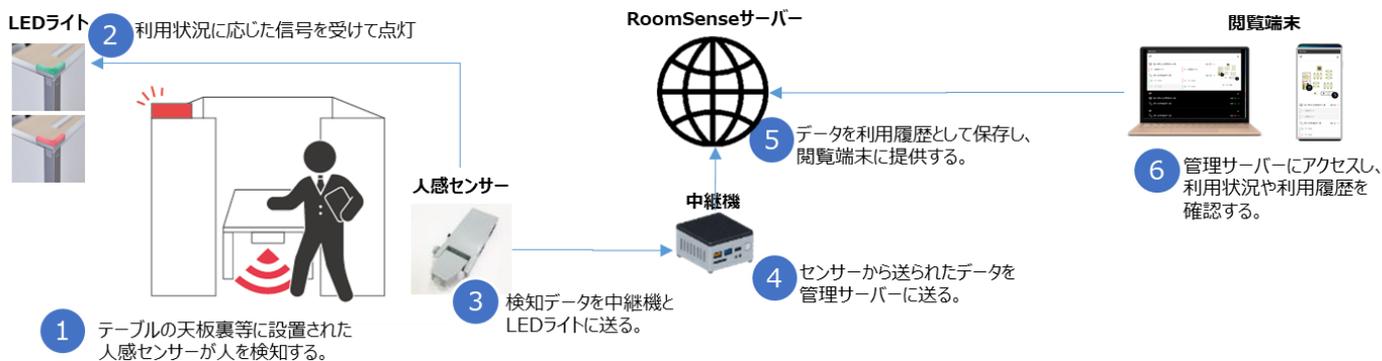
03 | 利用履歴の蓄積から、オープンスペースの稼働率が確認できる。

利用履歴をもとに、稼働率をグラフで確認したり、データをダウンロードして、活用することができます。



◀検索条件で設定した場所や期間で、単位時間毎の稼働率を確認できます。

■仕組み



ラーニング・コモンズ



大学のラーニング・コモンズなどに設置すれば、違う校舎やフロアにおいてもスマホで空きスペースを確認することができます。

図書館自主学习室



図書館の自主学习席などの空きスペースを見つけることが難しい場所でも、スマホや表示端末で簡単に確認できます。

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名() 大学数(非公開)校:利用大学名()		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料(定額)が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	※月次/年次請求、前払		
販売代理店	有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他()	利用開始までの期間	注文後 1.5 か月程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日:9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:ICT プロダクト企画部 担当者:太田 裕士	電話番号:03-5634-6209 FAX 番号:03-5634-6831 Mail:ootahiroshi@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/library/

■製品サービスの特長

■製品の概要

電子リソースの台頭により、図書館が扱う学術情報資源が劇的に増大しています。これに伴い、検索ターゲットは複雑化し、利用者が目的の情報を探索することが困難になっています。また、次世代端末の普及やインターネット上の様々な利点を経験することにより、利用者の学習スタイルも変化しています。iLiswave-Jは、こうした環境変化に対応するため、利用者サービス機能をさらに強化いたしました。さらに将来への拡張性も装備。時代のニーズに応えた新しい図書館ソリューションが、図書館の進化をサポートします。

■iLiswave-Jのコンセプト

ホームページとOPACの統合によりサービスを集約

高度な検索機能により資料発見可能性を向上

進化し続ける図書館への仕組みを提供

- ・ 図書、雑誌、電子書籍、電子ジャーナル、機関リポジトリのデータを取り込んでハイブリッド目録データを構築。
- ・ 利用者は大学のOPACにアクセスすることで、求める情報をワンストップで取得。
- ・ パソコンやスマートフォン、タブレットなどマルチアクセスが可能で、スマートフォンアプリやHTML5にも対応。



実績のある最新パッケージをベースに、SaaS形式で提供

■「iLiswave-J 図書館クラウド」が大学様にもたらす価値

期待されているもの

もたらす価値

図書館システムの長期利用

クラウドからの学内システム連携

図書館システムの安全運用

図書館システムに対するのTCO削減

①クラウド選択によるシステム更新業務などからの開放

SaaS型クラウドで提供しながら個別カスタマイズの実現

②クラウドでも個別カスタマイズにより運用継続を実現

さまざまな学内システムとシームレスな連携

③図書館システム全体の運用効率化と拡張性確保

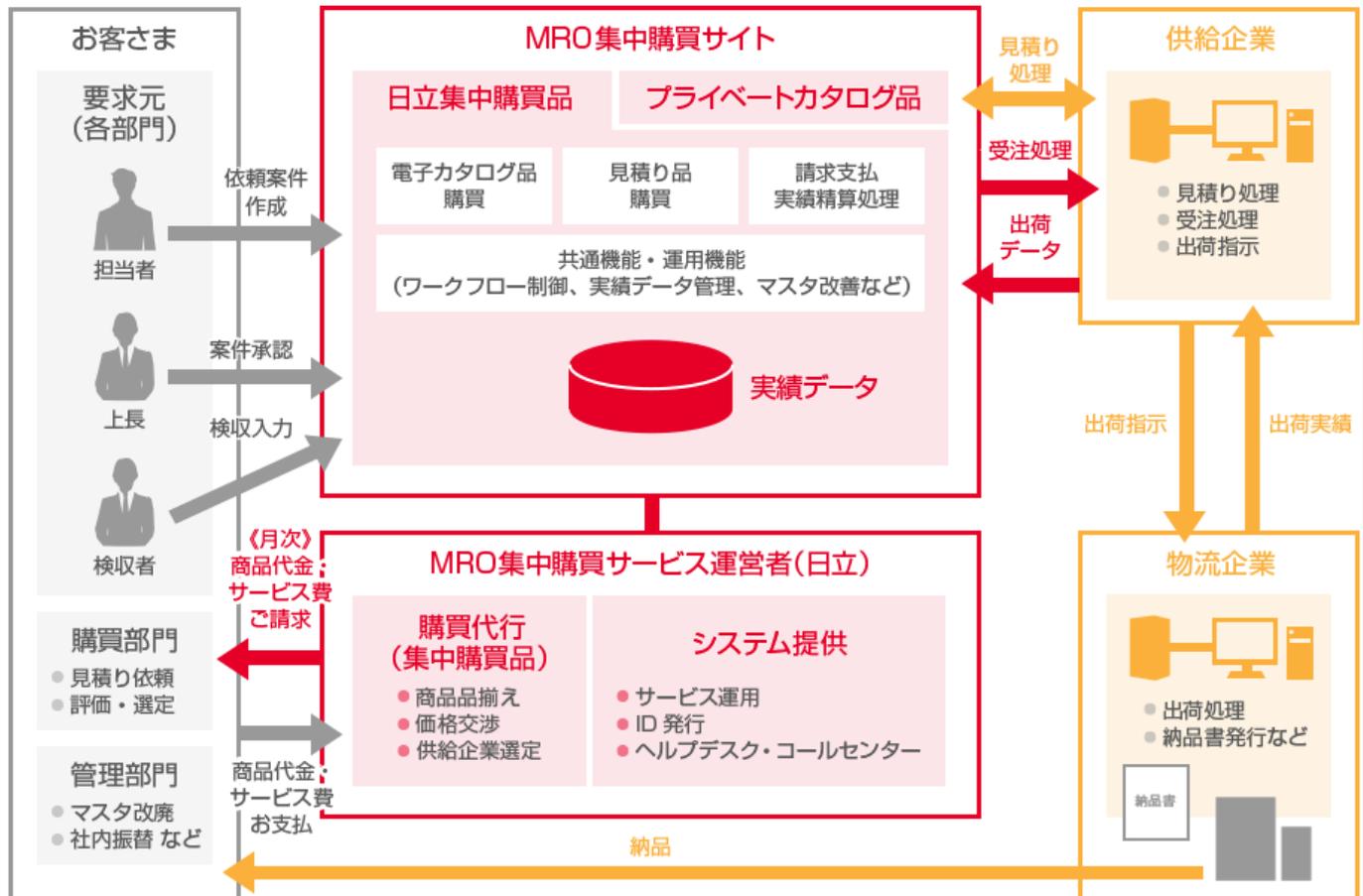
富士通の堅牢で信頼のあるデータセンターを活用

④大規模災害でも図書館サービスの安定稼働の実現

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他(ハイブリッド)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国の大学を中心として 120 以上(クラウド及びオンプレミス環境含め)のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル:無し、課金:定額制 ※ スタンダード(S.E.)とエンタープライズ(E.E.)で、機能・料金等が異なります。 詳細については、別途お問い合わせください。		
利用条件	エンタープライズ(E.E.): SINET に加盟されていること		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法:振込、支払通貨:円		
販売代理店	無、有(代理店名:富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(契約書)	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:運用データセンターとしては、Tier-III レベルにて運用)		
実績稼働率	有・無・その他()	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定(詳細確認の上)
学認対応	対応・未対応・対応予定(詳細確認の上)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定(詳細確認の上)
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	Web サイト(個別対応あり)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月1回 夜間	サービス停止の通知	3ヶ月前に通知
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク、ISMS
問合せ先	企業名:富士通株式会社 部署名:富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者:	電話番号:0120-933-200 FAX 番号: Mail:	

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1: 集中購買参加タイプ (購買代行型)

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2: システム環境利用タイプ (プライベートカタログ型)

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(700)社:利用企業名(三菱重工業株式会社様、富士フイルムビジネスエキスパート株式会社様) 大学数(非公開):利用大学名(北海道大学様)		
費用	初期費用:作業内容に応じて設定。ランニング費用:データ件数、ユーザID数などに応じて設定。		
利用条件	お客様の関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(弊社営業)	利用開始までの期間	2ヶ月～
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他(非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他(RAID5)	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(GUI対応など)	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月(第2日曜日)定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外(平日19:00～翌日9:00、休日)に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有(コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名:株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者:酒匂、荒木	電話番号:03-5471-4518 FAX 番号:03-5471-4519 Mail:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	リモートアクセスシステム DoMobile
提供企業名	株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
紹介サイト URL	https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/index.html

■製品サービスの特長



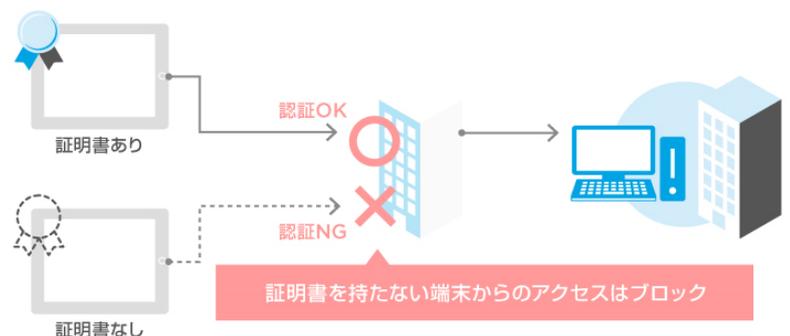
リモートアクセスシステム DoMobile とは

DoMobile は、オフィス内にある自席パソコンを社外から遠隔操作できる、リモートアクセスサービスです。パソコンからの接続はもちろん、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスからも接続可能。場所を選ばずに利用できるため、外出時の空き時間の有効活用、在宅勤務実施によるワークライフバランスの実現や BCP 対策まで幅広く活用できます。

強固なセキュリティ

デジタル証明書認証による認証

デジタル証明書を持たない端末からのアクセスはブロックします。さらに、3つの認証情報(コンピュータ名、ログイン ID、パスワード)を組み合わせた認証機能により第三者による利用を防ぎます。



DoMobile 専用の通信経路を利用

専用クライアントで画面のみを転送。万が一リモート端末がウイルスに感染していても、自席パソコンにウイルスが感染することはありません。



製品・サービス名称		リモートアクセスシステム DoMobile	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	導入実績 2,500 社以上 (2020 年 4 月現在)		
費用	初期費用: 企業登録料 10,000 円/企業、ユーザ登録料 1,000 円/アカウント 年額利用額: 18,000 円/アカウント。詳細は弊社までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数: 1、最低利用期間: 1 年(更新の 1 か月前までに弊社にご連絡いただきます。)		
支払方法	月次・後払、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(代理店名: ダイワボウ情報システム、大塚商会等)		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	5 営業日～
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(契約書による)
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他(非公開)
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容: 基本的に 365 日、24 時間稼働とします。(但し、メンテナンス時は除きます。))		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	非公開
ストレージ	多重化有・無・その他(非公開)	バックアップ	午前 2:00～2:30 の時間帯にバックアップ処理を行います。(1 日 1 回)
データ暗号化	有・無・その他(非公開)	暗号化通信	SSL(最大 256bit)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (ただし、SSL-VPN による暗号化通信に対応)
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDA 連携	有
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	非公開
計画停止の頻度	非公開	サービス停止の通知	最短 2 週間前までに、管理者宛てにメール通知およびサービスポータル画面で告知
ログの開示	有・無(※条件: アクセス履歴のみオプシオンで参照可能)	第三者認証取得状況	ISO27001 、 ISO14001 、 ISO9001、プライバシーマーク
問合せ先	企業名: 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト 部署名: 営業統括本部 DX推進センターサイドセールス部 担当者: 曾根、宍戸 ----- 企業名: 株式会社日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部第四営業本部 学術情報営業第一部企画グループ		TEL: (03) 5780-6111(代表) WEB 問合せ: https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html Mail: hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com ----- Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用 for Box / Dropbox / OneDrive for Business / (Google Drive) / DocuWare
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_storage/

■製品サービスの特長

クラウドストレージの活用でニューノーマル対応の促進

キャビネットや個人のパソコンに保存された文書をクラウドサービス上で一元管理。

「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」はリコー製複合機やプリンターとさまざまなクラウドサービスをつなげて利用できます。

パソコンを使わずに複合機やプリンターのパネル操作でカンタンに紙文書を電子化してクラウドサービスに保存したり、クラウドサービス上の文書を印刷できます。さらに外出先でも文書を閲覧・ダウンロードできるようになるので、お客様のニューノーマル対応を強力に推進します。

紙文書もクラウドストレージでカンタンに一元管理が可能に

どこにいても書類を閲覧・ダウンロードできるので
スピーディーな情報共有が可能



紙文書に関するさまざまなお困りごとを「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」が解決します。

紙文書の仕分け作業をもっとカンタンに!

例えば、直接持ち込まれた紙の注文書。これまでは、担当者ご得意先ごとに仕分けするだけでも大変でした。「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」で複合機とクラウドストレージを連携させれば、スキャンすると直接クラウドに保存できるので、スピーディーな仕分けが可能です。

セキュリティの高い管理で安心運用

クラウドストレージとの連携機能を活用する際には、複合機に4桁以上の数字を入力するか、ICカードをかざしてログインします。クラウド内の文書を印刷したり、クラウドに文書を保存する際に、セキュアな運用ができます。

電子化した紙文書をモバイルで閲覧可能

これまでは、注文書などの紙文書を確認するには社内に戻る必要がありました。これからは、紙文書を電子化してモバイル閲覧可能なクラウドに保存することで、情報共有を強力にサポートします。また、クラウドのOCR機能を活用し、データの利活用を促進します。



製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用シリーズ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 1,500 円/台 または 年額 18,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数1名、最低利用期間1ヶ月 別途接続先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国 他)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部スクラム・EDW 企画センター EDW ソリューション企画室ドキュメント企画グループ 担当者：岩本 一也	電話番号：080-2862-7339 Mail： kazuya_iwamoto@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH CHATBOT SERVICE
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://promo.digital.ricoh.com/chatbot/

■製品サービスの特長

学生・受験生・保護者からの問合せに24時間365日自動対応

※紹介ビデオ ⇒ <https://youtu.be/7HDxaVFqmJQ>



専門知識不要で、Excel®だけで手軽にスタートし、だれでも簡単にAIを育てられるチャットボットです。大学用のテンプレートを準備しているため、初めての方でも導入の手間をかけずに利用開始することができます。

運用開始後は、グラフィカルで見やすい管理画面で、問合せ傾向や対話内容を確認出来ます。

大学の質問や疑問を自動で解決し、問合せ業務の工数削減が図れます

大学へのアクセスはQRコードか、クリックor自動立上

QRをかざすだけでChatbotが動きます

問合せ状況もボタン1つで見える化

問合せ画面イメージ

“RICOH CHATBOT SERVICE”なら 3STEP でかんたん導入

STEP1

使いなれたExcel®で直ぐに始められます



難しい設定はいっさい不要です。Excel®でQ&Aを作成すれば準備完了。予備知識や面倒なシナリオ作成も要らず、どなたでも簡単に運用が可能です。

STEP2

大学用Q&Aテンプレートを使えば、さらに簡単



大学向けに想定される基本的なQ&Aをまとめたテンプレートをご用意。このテンプレートを利用すれば、わずかな修正・追加だけで導入できます。

STEP3

タグをWebサイトに埋め込むだけで運用開始



Webサイトへのチャットボタン設置も、自動で作られるタグ1行をサイトにコピー＆ペーストするだけで完了。
気軽に利用を始められます。

製品・サービス名称	RICOH Chatbot Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (100) 社 : 利用企業名 (メディカルフードサービス株式会社、西武鉄道株式会社、リコージャパン) 大学数 (5) 校 : 利用大学名 (学校法人四国大学)		
費用	トライアル有 (無償 1 ヶ月) 初期費用 : 5,000 円/契約 ランニング費用 : 月額 18,000 円～		
利用条件	最低利用期間 2 か月		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	5 営業日以内
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無 ()
データ保存場所	国内・海外 (非公開)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : ただし、内部的に SLO を定め、その遵守に向けた品質管理を実施しております。)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9 時～17 時	QA 対応時間帯	平日 9 時～12 時 13 時～17 時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	取り決めなし
計画停止の頻度	定め無し。3 週間前に通知	サービス停止の通知	3 週間前、1 週間前通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : リコージャパン株式会社 部署名 : スクラム・EDW 企画センター EDW ソリューション企画室 トレードエコシステム企画グループ 担当者 : 三井 清弘	電話番号 : 080-2996-5031 Mail : kiyohiro_mii@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	キャンパス手帳（ハイブリッド出席管理 / 授業支援）
提供企業名	リコージャパン株式会社（開発元：株式会社ドリームネット）
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/campustecho

■製品サービスの特長



ハイブリッド型授業での出席管理 でお悩みの先生！
音やコードを使って、**簡単かつ正確に** 出席を**一元管理**します！

キャンパス手帳は、3種類の方式(音楽/ワнтаイムパスワード/レポート課題)を組み合わせ、あらゆる授業の出席を一元管理します。特に音楽方式は類のない唯一の物です。先生が流す音楽を、学生のスマートフォンで受信する事により、特殊な装置が無くても、簡単かつ正確に出席を記録します。所要時間は僅か数秒で、授業の進行を妨げません。また出席管理に加えて、対話型授業に役立つ様々な機能も付いており、学生達の理解度向上に貢献します。

まずは 無料 でお試ください！

2021年3月末日まで、全ての機能を無料でお試し頂けます。その後、有償サービスへの自動更新もありません。この機会に、簡単かつ正確な出席管理を、是非ご体感下さい!! (詳細は、次項の問合先まで)

～ 機能紹介 ～

出席登録・アンケート

対面授業では音楽方式、オンライン授業ではワнтаイムパスワードやレポート課題方式を使って、原則、**全ての授業の出席を取る**事ができます。また授業終了後に出席者から、授業の感想や意見を集めるができ、**授業改善のヒント**が見つかります。

クイック集計

学生の意見を A～D のボタンで収集し、結果をリアルタイムに表示します。**クリッカー同等の機能**を、スマートフォンのアプリで実現します。

投書箱

授業中に、学生から先生へテキストのメッセージを投書する事ができます。先生が、**学生達から意見やアイデア等を募る**時に、是非お使い下さい。



ミニテスト

学生のスマートフォンで選択式のテストを実施できます。全てオンラインで行われる為、**配布や回収、採点、集計の手間がかかりません**。また学生は、過去に解いた問題を振り返り、復習する事もできます。

プッシュ連絡板

プッシュ通知機能を使って、学生達に連絡事項を配信します。既読確認が出来るので、**急な連絡や、学生の呼び出し等**に有用です。

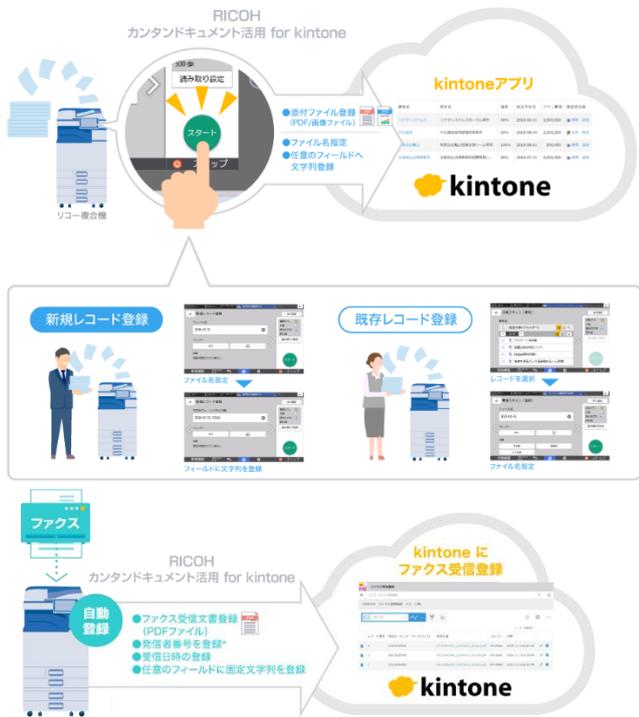
製品・サービス名称	キャンパス手帳（ハイブリッド出席管理 / 授業支援）		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	大学、専門学校、高専、学習塾 (サービス提供先：スマートフォンまたはタブレット端末を活用した ICT 教育を実施中、または検討されている全ての教育機関。)		
価格	2021年03月31日まで、無料のトライアル企画を実施中。(翌年度は個別対応。) 価格は教員1人あたり年間6万円。 但し、利用教員数に応じて1人あたり年間5000円まで、段階的に安くなるボリュームディスカウント有り。 【詳細】 https://www.ricoh.co.jp/service/campustecho/price		
利用条件	最低利用教員数1名、最低利用期間1年間		
支払方法	年次請求、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(追加募集中)		
■契約			
申込み方法	申込書	利用開始までの期間	申込受理後、約1週間
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他(年度内に公開予定)
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	年2回(夏休みと春休みの期間から実施日を決定)	サービス停止の通知	1週間前までに、各校の管理者へメールでご連絡。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 スクラム EDW 企画センター 担当者：池永 慎	電話番号：070-4815-3294 Mail：shin.ikenaga@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone(ファクス受信モデル)
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/kantan-document-katsuyo-for-kintone

■製品サービスの特長

**紙のスキャンデータやファクス受信文書を kintone にスムーズに登録
データ・プロセス管理効率化とコミュニケーション向上を実現します。**

サイボウズ社が提供する業務改善プラットフォーム「kintone」へリコーの複合機でスキャンしたデータをパソコンレスでレコード登録。また、ファクス受信した文書を自動で kintone に登録することが可能です。kintone の活用範囲を大幅に広げ、生産性を革新します。



製品ホームページにてファクス受信業務を効率化できる「kintone アプリテンプレート」を無償しています。本アプリテンプレートと『RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone(ファクス受信モデル)』を組み合わせることで、ファクス受信時に

- ・送信元による振り分け
- ・担当者への通知
- ・受信文書 (PDF) プレビュー が実現可能です。

[EDW] かんたんどキュメント活用 for kintone

電話帳アプリと連携しているのファクス受信登録アプリです。マニュアルダウンロードリンクはこちらをクリック

優先度	ファクス受信日時	受信文書	ファクス番号	取引先名	担当者	状況
A	2020-08-05 10:16 AM	03123456781_20200805_010413.pdf	03123456781	ABC商事	山田 太郎	1.FAX受信
A	2020-08-05 9:59 AM	077123001_20200805_090926.pdf	077123001	123商事	佐藤 ひろこ	1.FAX受信
A	2020-08-04 9:49 AM	03123456781_20200804_094813.pdf	03123456781	ABC商事	山田 太郎	1.FAX受信

受信文書(PDF)をダウンロード
しなくてもプレビューできる

番号通知情報をもとに
取引先名を表示できる

製品・サービス名称	RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名（非公開） 大学数：非公開 利用大学名（非公開）		
費用	トライアル有（無償 1ヶ月）（ファクスはトライアルなし） 初期費用：5,000円/契約 ファクスの場合はファクス転送アプリ 2,000円+エンジニアによる設置費用 スキャン：ランニング費用：年額18,000円/台 または 月額1,500円/台 ファクス：ランニング費用：年額24,000円/台 または 月額2,000円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1台、最低利用期間1年 サイボウズ社が提供する kintone スタンダードコース の契約が必要		
支払方法	年次請求、支払方法（振込/その他）※契約販売店による		
販売代理店	無、有（代理店名：）		
■契約			
申込み方法	申込書・その他（Web）	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無（）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（）
データ保存場所	国内・海外（米国）	データ削除規定の有無	有・無・その他（）
準拠法	日本国法・海外法規（）	管轄裁判所	国内・海外（）
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（）	目標稼働率	有・無・その他（）
ストレージ	多重化有・無・その他（）	バックアップ	有・無・その他（）
データ暗号化	有・無・その他（）	暗号化通信	有・無・その他（）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（）	API 公開	有・無・その他（）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 スクラムEDW企画センター EDWソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_meishi/

■製品サービスの特長

社内のアドレス帳管理とスマートフォンによる名刺管理をさらに便利に。

PHONE APPLI 社の提供する「連絡とれるくん(PHONE APPLI PEOPLE)」は名刺管理、社内に散見する電話帳の一元管理を提供します。

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくんは 社外の連絡先を「連絡とれるくん」に登録する窓口となる「名刺」を複合機でカンタンに取り込むことができます。



複合機のスキャナーを活用して名刺を登録することにより、

- ✓ 影・ピンボケ・画像のブレ・斜め等を防止し、OCR精度の向上！
- ✓ 名刺サイズへの切り出し精度の向上！
- ✓ 点字付き等表面に凹凸のあるものの取り込み可能！
- ✓ 21枚まで一括で取り込み可能！

などが期待できます。

貯まった名刺を複合機で一括スキャン可能です。



名刺管理に関するお困りごとを「RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん」が解決します。

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 12,000 円/台 または 月額 1,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1台、最低利用期間1年 別途連携先 PHONE APPLI 社の「連絡とれるくん(PHONE APPLI PEOPLE)」の契約が必要		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 スクラムEDW企画センター EDWソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan-barcode/

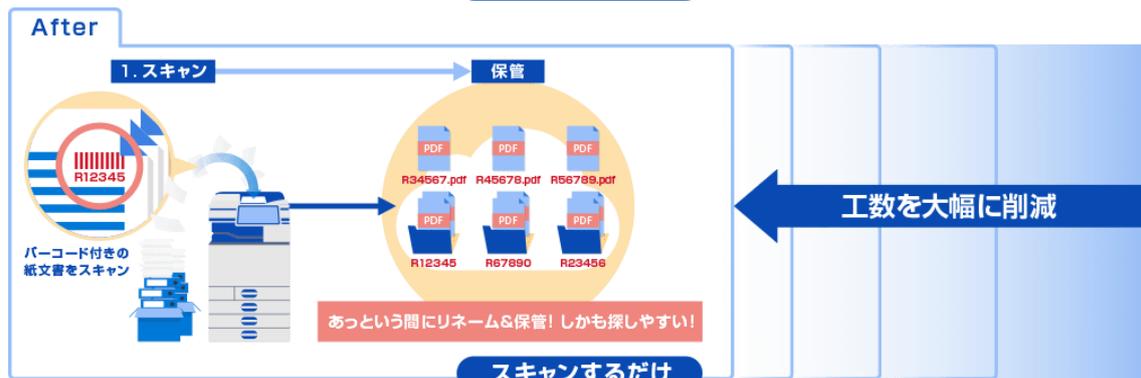
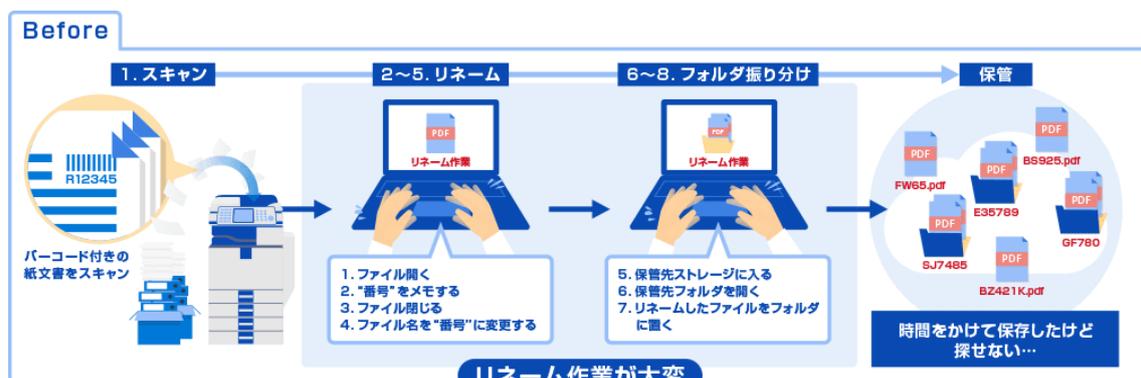
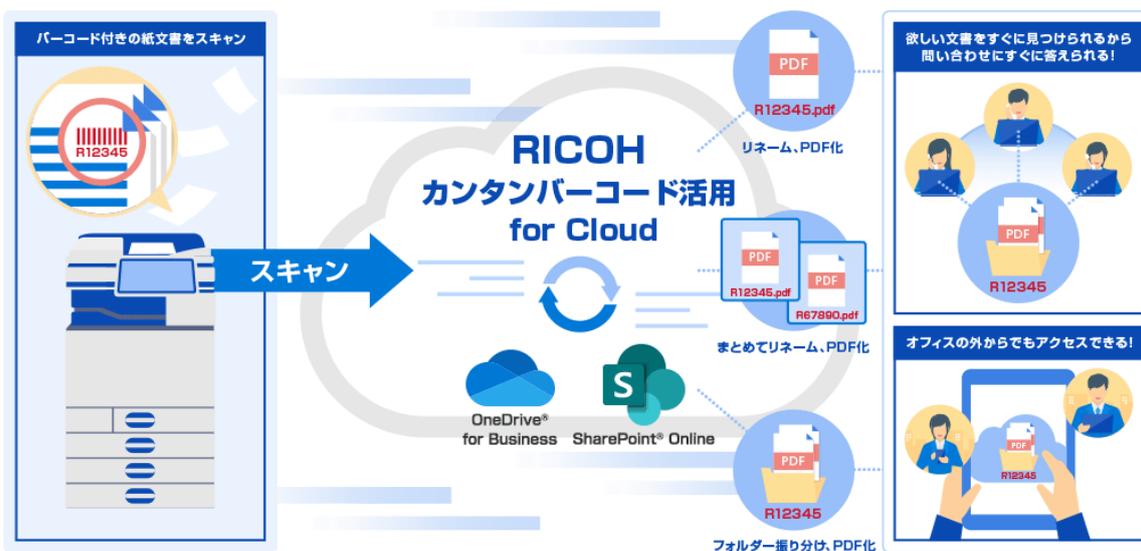
■製品サービスの特長

紙ドキュメントの電子化の負担を大幅に軽減！

バーコードや QR コードコードの情報をファイル名やフォルダ振り分けに活用が可能！

複合機でスキャンした文書をクラウドストレージにアップロード。文書のバーコードを読み取り、ファイル名の設定やフォルダの振り分けを自動で行います。また、外出先からもアクセスできるため、いつでも必要な情報を確認することが可能です。

スキャンをしたら自動でリネーム！ 自動で振り分け！



製品・サービス名称	RICOH バーコード活用 for Cloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 18,000 円/台 もしくは 月額 1,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台 別途クラウドストレージとして OneDrive for Business または SharePoint Online が必要		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 スクラムEDW企画センター EDWソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

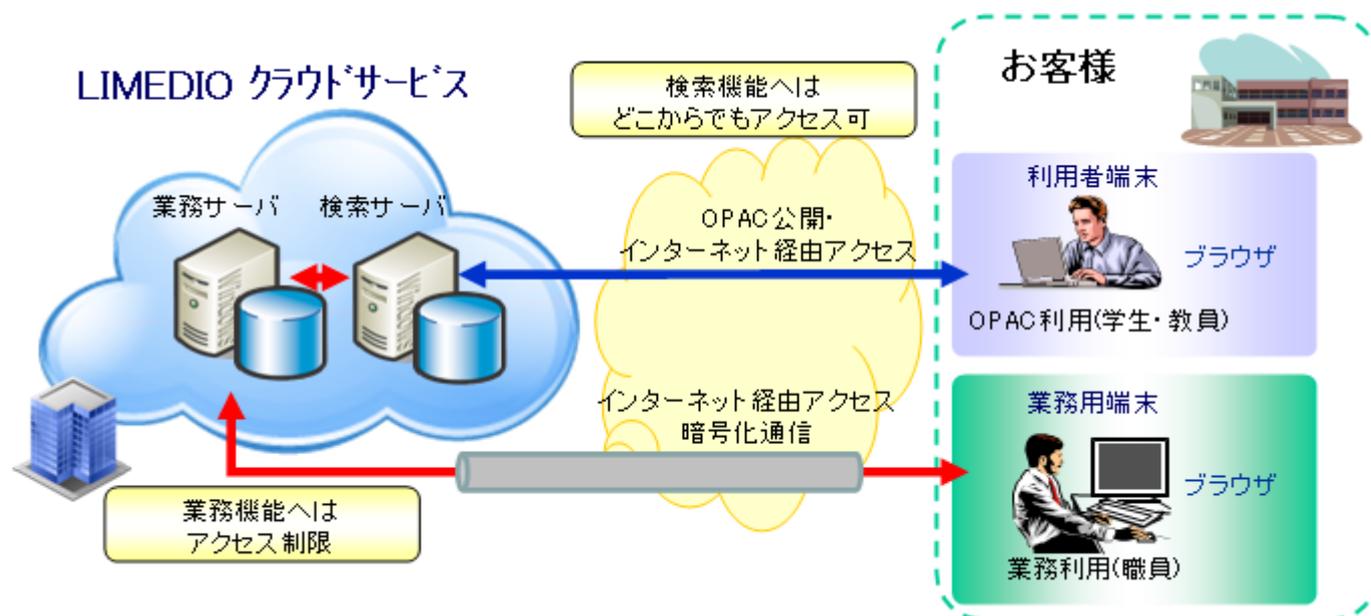
製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/limedio/

■製品サービスの特長

1. **トップシェア**に裏付けされた**完成度の高いパッケージシステム**
2. **目的の資料**を**簡単に見つけられる**新しい利用者サービス機能
3. 業務に合わせ**画面や帳票のレイアウト変更**が可能
4. 多くの実績に基づいた**確実なデータ移行**を実現
5. **万全のサポート体制**でシステムの安定運用を支援

25 年以上に渡り、多くのお客様にご愛顧頂いております大学向け図書館システムパッケージの LIMEDIO が 2012 年末よりクラウドサービス提供を開始いたしました。

大学における図書館運用を知り尽くした LIMEDIO の特徴そのままにクラウドサービスのメリットを享受頂けます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（専用テナント）	・SaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国大学を中心として 200 以上のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル利用もごさいます。 費用についてはお問合せ下さい。		
利用条件	初期費用、運用費にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無（ 契約書によります ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ 契約書による ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
適用法規	日本国法・海外法規（ 契約書によります ）	所轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：運用データセンターとしては、TierIII レベルにて運用）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）
学認対応	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	1ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（ ）	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名：株式会社リコー 部署名：MA 事業部 大学営業部 LIMEDIO 担当室	電話番号：050-3817-1084 Mail：limepromo@sdg.mdd.ricoh.co.jp	

製品・サービス名称	RICOH カンタン文書申請 for Cloud
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/kantan-bunsho-shinsei-for-cloud

■製品サービスの特長

手書きの申請書や報告書の申請・提出作業を効率的に！

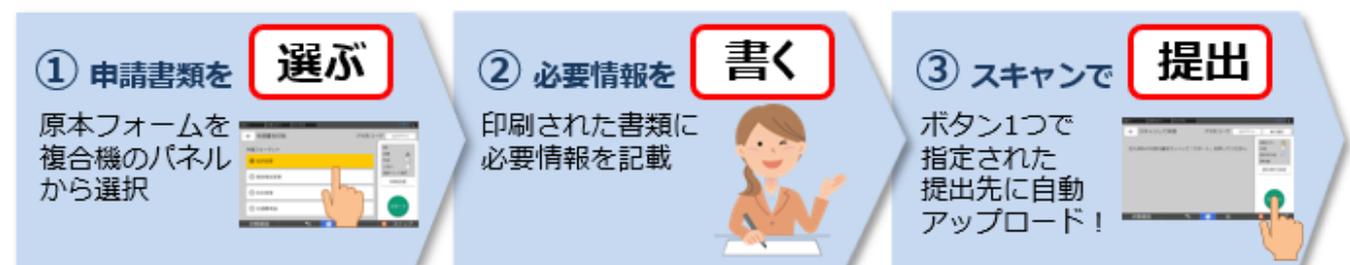
本ソリューションでは、クラウドストレージで管理された申請・報告書文書フォーム（原本）を簡単な操作で印刷し、記入を終えた文書はスキャンするだけで宛先など気にすることなく提出することができます。また提出と同時に担当者や管理者にメール通知も可能です。



手書きの申請書・報告書の提出業務・電子化作業を「RICOH カンタン文書申請 for Cloud」が効率化します。

パソコンを利用することなく複合機のパネル上に集約された申請書・報告書を選んで印刷することができます。これにより、申請書・報告書のそれぞれのフォーマット置き場を覚えたり探したりする必要がなくなります。

また必要事項を記入の上、特に何も指定することなくスキャンするだけで、それぞれの申請書・報告書の提出フォルダーに自動アップロードします。これにより申請先・提出先はいちいち覚えておく必要はなく、ファイル名も自動で付与するので提出者は最小限の作業で申請・提出業務を行うことができます。



製品・サービス名称	RICOH カンタン文書申請 for Cloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 24,000 円/台 または 月額 2,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1台、最低利用期間1年 別途保存先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 スクラムEDW企画センター EDWソリューション企画室 担当者：芹澤 温子	電話番号：090-2645-2493 Mail： atsuko_serizawa@jp.ricoh.com	

4. 情報インフラ系ソリューション

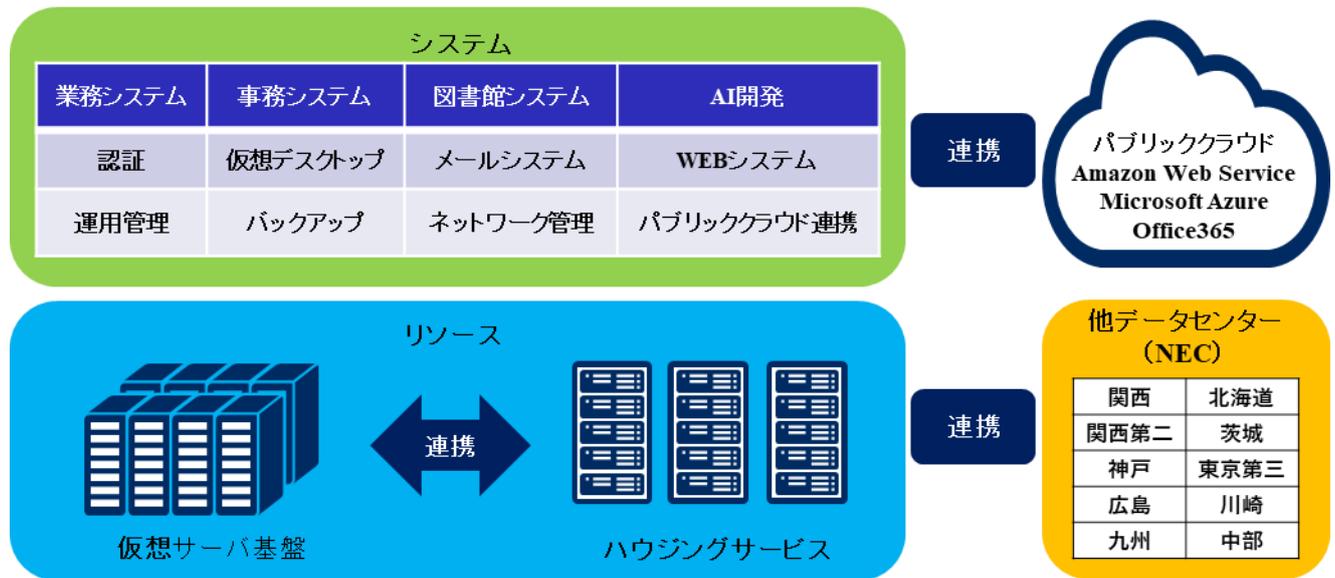
製品・サービス名称	NEC 神奈川DC-SINET接続サービス
提供企業名	日本電気株式会社
紹介サイト URL	NEC クラウドサービス

■製品サービスの特長

【概要】

NEC 神奈川 DC-SINET 接続サービスは、大学キャンパスまたは研究所施設の情報システムを SINET 経由で NEC 神奈川データセンターへ接続します。お客様は、NEC のデータセンターやパブリッククラウドから最適なサービスを組み合わせることで、利用者に使いやすく、便利なシステムを構築できます。

NEC神奈川データセンター



【メリット】

○仮想サーバ基盤とハウジングサービスの連携

NEC 神奈川データセンターは、仮想サーバ基盤に IaaS 等のクラウドサービスがあり、ハウジングサービスでお客様のサーバ等を設置できます。仮想サーバ基盤およびハウジングサービスをネットワークで連携し、最適なシステムの構築を実現します。

例：メールサーバおよび WEB サーバは IaaS を利用、バックアップはハウジングサービスのストレージ装置を利用

○NEC 神奈川データセンターと他データセンター(NEC)の連携

NEC 神奈川および NEC 神戸データセンターは、相互に IaaS の BC/DR(事業継続/災害対策)を実現します。

例：データセンター間的高速バックアップ、データベース同期

NEC 神奈川および他データセンター(神戸以外)は、バックアップサイト、マルチサイト、クラウドサービス連携が可能です。

○NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドの連携

パブリッククラウドは独自の特徴や強みがあり、それらを理解してサービスを選択する必要があります。NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドを連携することで、最適なサービスの選択および利用を実現します。

例：認証は IaaS を利用、メール等は Office365 を利用

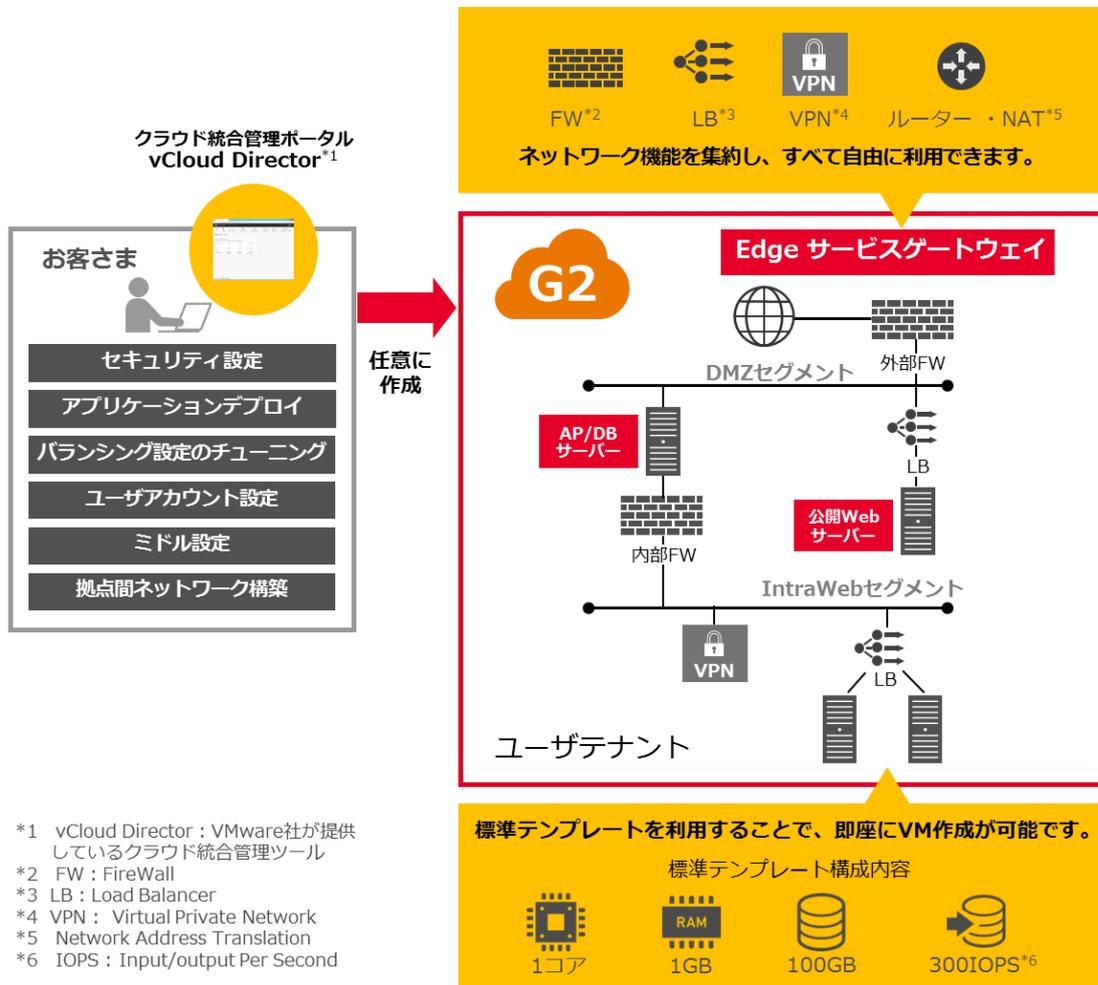
・Amazon Web Service は、米国 Amazon.com, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・Microsoft Azure および Office365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	NEC 神奈川DC-SINET接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他(ハウジング)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名() 大学数(非公開)校:利用大学名()		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 課金単位は月額課金です。		
利用条件	利用条件はサービスごとで異なります。 詳細は営業までお問合せ願います。		
支払方法	月次請求、後払い、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	別途相談
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(公表不可)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)
学認対応	個別構築可能	LDAP 連携	個別構築可能
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1ヶ月前に通知
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、SOC、SOC2
問合せ先	企業名:日本電気株式会社 部署名:第一官公ソリューション事業部 担当者:大学ソリューショングループ	電話番号:03-3798-6293 Mail: NEC 神奈川 DC-SINET 接続サービス問合せ	

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/enterprise-g2/

■製品サービスの特長



*1 vCloud Director : VMware社が提供しているクラウド統合管理ツール
 *2 FW : FireWall
 *3 LB : Load Balancer
 *4 VPN : Virtual Private Network
 *5 Network Address Translation
 *6 IOPS : Input/output Per Second

・従来サービスでは難しかったネットワーク・VMの組み合わせを実現

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータル(vCloud Director)を利用し、従来サービスでは難しかったネットワーク・VM の組み合わせで設計できます。お客さまにて任意のタイミングで切替や一時的なテスト環境構築などの柔軟な運用を実現。日立への問い合わせや作業依頼といった手間と時間を取らせません。

・ポータル機能でのお客さま運用で、導入一時費用低減と導入時間を短縮

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータルで、必要なときにお客さまがリソースを変更できます。また、ご要望に合わせた必要最小限の構成に最適化することで、導入や運用にかかるコストを抑えられます。最新技術の採用により提供基盤を最適化。CPU などのサーバリソースを低価格にしました。

・従来サービスのお客さまサポートは、問い合わせから導入支援までメニュー化

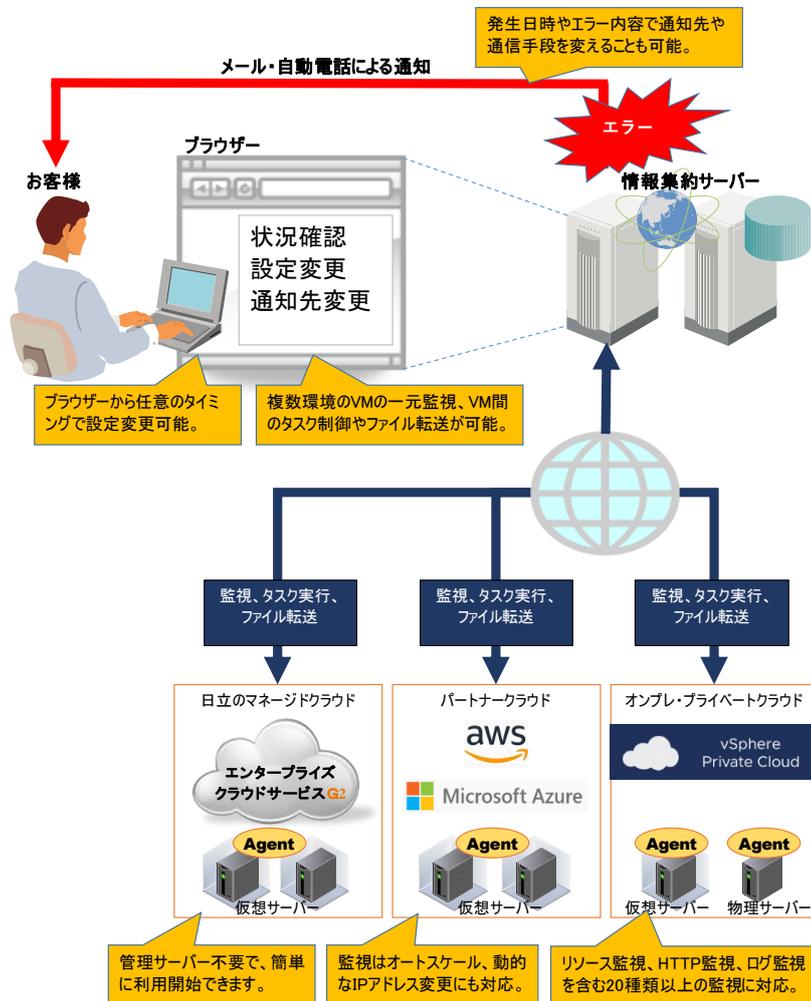
従来サービスと同様に、エンタープライズクラウドサービス G2 では定期メンテナンスを実施。監視、障害対応によりお客さまのクラウドリソースを安定稼働させます。「どのような構成にしたらよいかわからない」といった疑問にも、日立の技術者がお応えするサポート対応が可能です。

※サービス仕様については、予告なく変更する場合があります。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開) 大学数(非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは導入にかかる一時費用が発生します。請求は月額精算となります。メニューにより時間・日額課金となっております。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数:規定なし、最低利用期間:1 カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法(振込)		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	最長 5 営業日
約款の有無	有・無(契約書による)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:最低稼働率として 99.0%を保証)		
実績稼働率	有・無・その他()	目標稼働率	有・無・その他(99.999%)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	最大 1 回/月	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名:株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者:酒匂、荒木	電話番号:03-5471-4518 FAX 番号:03-5471-4519 Mail:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理(監視・タスク実行・ファイル転送)サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html

■製品サービスの特長



監視サービス **Monitor**

サーバー及びネットワークデバイスの状態を監視し、エラーを検知すると、指定された通知先に通報します。リソース監視、HTTP監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応します。

タスク実行サービス **Kicker** ※

各種クラウド、オンプレミスに点在するサーバーに対しタスクを実行します。発生した障害は、指定された通知先に通報します。

ファイル転送 **Transporter** ※

サーバーで保有するファイルを、クラウドのストレージ経由で任意のサーバーに転送。ファイルを分割暗号化し並列送信することで、安全かつ高速に転送します。

・各種クラウド、オンプレミス環境のアラートや稼働統計、タスクの実行結果やファイル転送結果を1つの画面で確認可能

複数のクラウドが混在した環境の監視やタスク実行、ファイル転送を同一システムで管理し1つの画面で確認できるのでアラートを見逃しにくくなります。

・監視機能はリソース監視、HTTP監視、ログ監視を含む20種類以上の監視に対応

リソース監視、HTTP監視、ログ監視など、多種多様な監視に対応します。監視設定サイトからエラー判定条件、通知抑止条件、設定ファイルのダウンロード、メールアドレス登録、外部監視の設定などを行えます。

・オートスケールや動的なIPアドレス変更に対応した監視を簡単・迅速に開始可能

ネットワークもインターネット経由での管理のため、お客さま側でのマネージャーの準備や、専用線敷設は必要ありません。また、フェデレーテッドクラウド情報集約サーバーと対象サーバー間で発生する通信は HTTPS 通信のため、やり取りする管理情報は暗号化されています。

※タスク実行サービス、ファイル転送サービスは 2021 年 1 月にリリース予定です

※サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変わることがあります。

- ・vSphere は、米国およびその他の地域における VMware Inc. の登録商標または商標です。
- ・AWS は、Amazon Inc. の登録商標または商標です。
- ・Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理(監視・タスク実行・ファイル転送)サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他(パブリックとプライベートを管理)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開) 大学数(非公開):		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額/時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数:規定なし、最低利用期間:1カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法(振込)		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	最短5営業日
約款の有無	有・無(契約書による)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	有・無・その他(99.95%)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名:株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者:酒匂、荒木	電話番号:03-5471-4518 FAX 番号:03-5471-4519 Mail:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

■製品サービスの特長

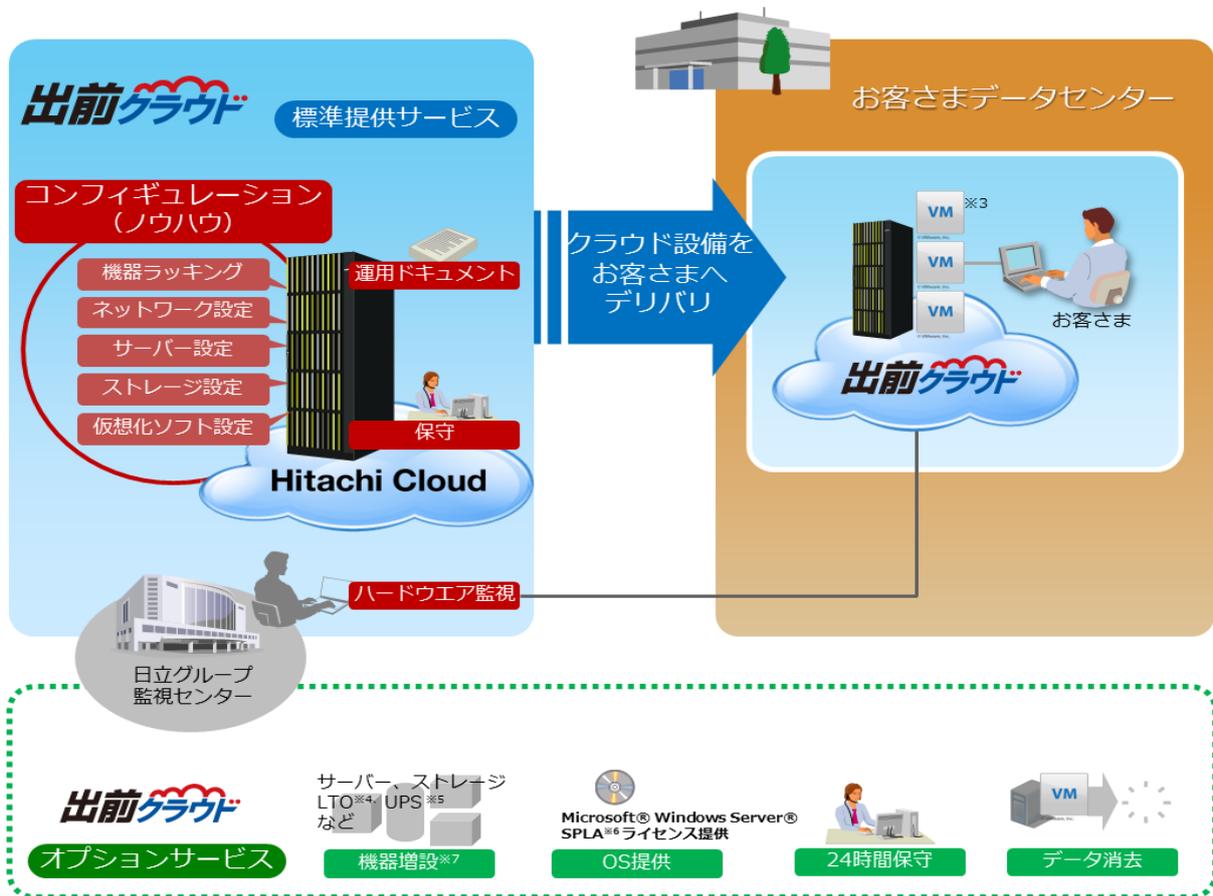
“クラウド設備”をお客さまにお届け 月額払いでプライベートクラウドを利用可能

お客さまのメリット

- 1 プライベートクラウドを初期費無し※¹の月額料金で、早期に提供します
- 2 お客さまデータセンターに設置でき、データ流出の心配がありません
- 3 必要な時期に機器増設可能※² 柔軟な構成を提供します

※¹: 運送設置費のみ別途必要となります。

※²: サーバーまたはストレージの新モデルの発売による規格変更・在庫完売の場合は、提供できないことがあります。



※³ Virtual Machineの略。

※⁴ Linear Tape-Openの略。テープ型の記憶媒体。

※⁵ Uninterruptible Power Supplyの略。無停電電源装置。

※⁶ Microsoft Services Provider License Agreementの略。サービスプロバイダ向けライセンスプログラム。

※⁷ LTO、UPSは初期導入時にのみ提供可能です。

・VMware、VMware vSphere、VMware vCenter、ESX、ESXi は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品・サービス名称		出前クラウドサービス	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開):利用企業名(金融業などを中心に数十社の実績あり) 大学数(非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数:1、最低利用期間:半年(解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。)		
支払方法	月次・後払、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	3か月～
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(契約書による)
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	年間 5 件まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名:株式会社 日立製作所 部署名:公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者:酒匂、荒木	電話番号:03-5471-4518 FAX 番号:03-5471-4519 Mail:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/vmcaw/

■製品サービスの特長

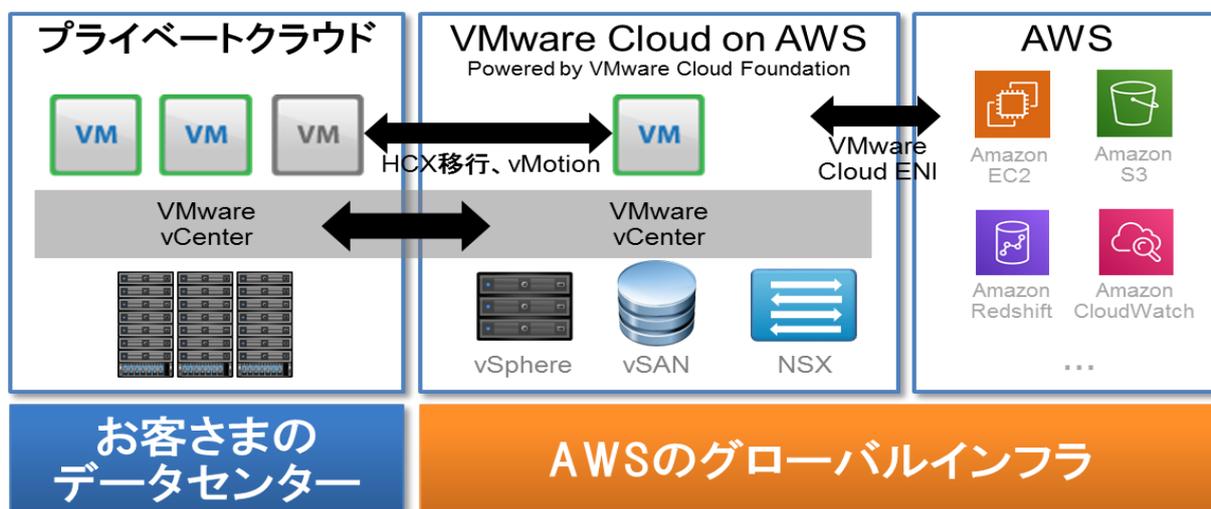
VMware Cloud™ on AWS に高信頼の日立サポート
独自の付加価値を付け加えてお客さまにお届け

お客さまのメリット

- ① 今まで慣れ親しんだ VMware 製品用の管理手法やツールを変更せず、クラウドへ移行
- ② 要件（許容ダウンタイム、回線状況等）に応じて柔軟な移行方式を選択し、移行ツールの中で vSphere のバージョンや仮想ハードウェアバージョンの違いを吸収※1
- ③ AWS サービスとのシームレスな連携※2

※1：移行可能な vSphere バージョンには制限があります。

※2：お客さま AWS アカウント上での VTGW の設定はお客さまにて実施いただきます



日立独自の付加価値

- ◆ 運用オプション：ハイブリッドクラウドを実現する監視、タスク実行※3の機能を提供
- ◆ 予防保守提供：各コンポーネントに対してパッチ情報や運用回避策を月次で提供
- ◆ 稼働レポート提供：リソース使用状況や EDRS※4でのホスト数の増減を月次で報告
- ◆ VMC 監視：vCenter のアラートをお客さま指定のメールアドレスに転送
- ◆ SPLA 提供：ゲスト OS に使用可能な Windows Server 2019 ライセンスを提供※5

※3：タスク実行機能は 2021 年 1 月リリース予定です。

※4：Elastic DRS の略。ホストの利用状況に応じて自動的にホストの増減を行います。

※5：Microsoft Services Provider License Agreement の略。サービスプロバイダ向けのライセンスプログラムです。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。
- ・VMware, VMware vSphere, VMware vCenter, VMware NSX, VMware vSAN, VMware Cloud は米国およびその他の地域における VMware Inc.の登録商標または商標です。
- ・AWS, Amazon EC2, Amazon S3 は、Amazon Inc.の登録商標または商標です。
- ・Microsoft, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社: 利用企業名() 大学数(非公開)校: 利用大学名()		
費用	費用としてランニング費用が発生します。導入時に初期費用が発生します。 課金単位は月払い一括払いです。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数: 1、最低利用期間: 1か月、(解約の1か月前に弊社営業にご連絡頂きます)		
支払方法	月次請求、前払、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他(弊社営業)	利用開始までの期間	1.5 か月～
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(契約書による)
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	個別調整
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、 SOC1、SOC2、SOC3、HIPAA、GDPR
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者: 酒匂、荒木	電話番号: 03-5471-4518 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/base.html

■製品サービスの特長

「横浜センタ」「岡山センタ」をはじめ、日本各地にデータセンターを展開。

堅牢な設備でお客様の IT 資産をお守りします。



特長 1 日立のデータセンターでは、地震、水害や火事などの災害、故障などのトラブルに対してさまざまな対策をしています。

特長 2 日立のデータセンターでは、お客様のIT資産を守るため充実したセキュリティ対策をしています。

特長 3 日立の各種クラウドサービスや、パブリッククラウドとの接続サービスもご利用いただけます。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハウジング)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	ご利用条件はサービスによって異なります。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS、ITSMS、P マーク、 QMS、EMS、BCMS
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者: 酒匂、荒木	電話番号: 03-5471-4518 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	アマゾン ウェブ サービス (AWS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、Savings plans およびスポットインスタンスの4つがあり、リザーブドや Savings plans では大幅な割引になります。(最大75%)。新規アカウントには1年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。 https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容: https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他(取得可能)
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail:aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/ec2/

■製品サービスの特長

Amazon EC2 – 仮想サーバーホスティング

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)とは、クラウド内でサイズ変更が可能なコンピューティング処理能力を提供するウェブサービスです。ウェブスケールのクラウドコンピューティングを開発者が簡単に利用できるよう設計されています。

Amazon EC2 のシンプルなウェブサービスインターフェイスによって、手間をかけず、必要な機能を取得および設定できます。お客様のコンピュータリソースに対して、高機能なコントロールが提供され、Amazon の実績あるインフラストラクチャ上で実行できます。Amazon EC2 では、わずか数分間で新規サーバーインスタンスを取得して起動できるようになります。これにより、コンピューティング要件の変化に合わせて、すばやく容量をスケールアップおよびスケールダウンできます。実際に使用した分だけ料金を払えばよいので、Amazon EC2 は、コンピューティングの経済性も変革します。Amazon EC2 は、開発者にツールを提供して、障害に耐性のあるアプリケーションの構築と、一般的な障害シナリオからの脱却を可能にします。

弾力性のあるウェブスケールコンピューティング

Amazon EC2 を使用すれば、数分以内にキャパシティの増減を行うことができます。一から数百、または数千のサーバーインスタンスさえ、同時に作動させることができます。もちろん、これはすべてウェブサービス API でコントロールされるため、お客様のアプリケーションはそのニーズに応じて、自動的に規模の拡大や縮小を行うことができます。

完全な制御が可能

インスタンスのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへの管理者アクセス権限を持ち、他のマシンと同じようにインスタンスを操作することが可能です。インスタンスを停止したり、同一のインスタンスを再起動したりすることができます。インスタンスのコンソール出力にアクセスすることもできます。

柔軟なクラウドホスティングサービス

インスタンスタイプ、オペレーティングシステム、ソフトウェアパッケージの種類を選ぶことができます。Amazon EC2 では、お客様が選択したオペレーティングシステムやアプリケーションに合わせて最適なメモリ、CPU、インスタンスストレージ、ブートパーティションの構成を選ぶこともできます。オペレーティングシステムの選択肢には、数多くの Linux ディストリビューション、および Microsoft Windows Server が含まれています。新しい研究や分析を容易に実施できるよう NVIDIA Tesla V100 GPU を搭載した P3 インスタンス、NVIDIA K80 GPU を搭載した P2 インスタンスを利用することが可能です。また F1 インスタンスではフィールドプログラマブルゲートアレイ (FPGA) によるカスタマイズ可能なハードウェアアクセラレーションが提供されます。

信頼性

Amazon EC2 は、インスタンスの置き換えを速やかに、あらかじめ指定した条件で実行できる、信頼性の高い環境を提供します。このサービスは Amazon の実績あるネットワークインフラストラクチャとデータセンターの中で稼動しています。Amazon EC2 のサービスレベルアグリーメントは、各 Amazon EC2 リージョンにおいて、99.99%の可用性を約束します。

安全性

Amazon EC2 は Amazon VPC と連携して動作し、お客様のコンピュータリソースに対して安全性と堅牢なネットワーク機能を提供します。コンピュータリソースはお客様が指定した IP アドレス範囲で Virtual Private Cloud (VPC)内に配置されます。インターネットに公開されるインスタンスと、プライベートな状態のままにするインスタンスを決定します。セキュリティグループとネットワーク ACL により、インスタンスを出入りするインバウンドとアウトバウンドのネットワークアクセスを制御できます。業界標準の暗号化 IPsec VPN 接続を使用して、既存の IT インフラストラクチャと VPC のリソースを結びつけることができます。

低料金

Amazon EC2 は、Amazon で実現されているスケールメリットをお客様にもたらしめます。実際に使用するコンピューティング能力に対してのみ、非常に低額な料金をお支払いいただけます。

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの3つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります(最大75%)。新規アカウントには1年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。 https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容: https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他(取得可能)
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/s3/

■製品サービスの特長

Amazon S3 (クラウドストレージサービス)

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) では、安全で耐久性がありスケーラビリティに優れたクラウドストレージを開発者や IT チームに提供しています。Amazon S3 は、シンプルなウェブサービスインターフェイスで使いやすいオブジェクトストレージにより、ウェブのどこからでもお好みの量のデータを簡単に保存および取得できます。Amazon S3 では、実際に使用したストレージ分のみお支払いいただきます。最低料金や初期費用はありません。

Amazon S3 は、各ユースケース向けに、頻繁にアクセスするデータの汎用ストレージのための「Amazon S3 標準」、長期間使用するが頻繁にアクセスしないデータのための「Amazon S3 標準 - 低頻度アクセス (標準 - IA)」、長期アーカイブのための「Amazon Glacier」を含む幅広いストレージクラスを提供しています。また、Amazon S3 は、ライフサイクル全体を通してデータを管理するための、設定可能なライフサイクルポリシーも提供しています。

Amazon S3 は、単独で使用することも、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、AWS Identity and Access Management (IAM) などその他の AWS の各種サービスや、データ移行サービスおよびゲートウェイ (最初からのまたは実行中のデータ取り込み用) と組み合わせて使用することもできます。Amazon S3 では、バックアップとリカバリー、ニアラインのアーカイブ、ビッグデータ分析、災害対策、クラウドアプリケーション、およびコンテンツディストリビューションなど、幅広いユースケースに対応するコスト効率に優れたオブジェクトストレージを提供しています。

耐久性

Amazon S3 は重要なデータを保存するための耐久性のあるインフラストラクチャを提供し、オブジェクトの 99.999999999% の耐久性を実現するように設計されています。データは冗長化されて指定リージョン内の複数の施設に保存され、各施設では複数のデバイスに保存されます。

低コスト

Amazon S3 を使用すると、非常に低いコストで大量のデータを保存できます。さらにコストを削減したい場合、ライフサイクル管理を使用して、データを自動的に、標準 - 低頻度アクセス (標準 - IA) および Amazon Glacier へ移行するポリシーを設定できます。お支払いは必要な分だけ。最低料金や前払い料金ははありません。

可用性

Amazon S3 標準は、1年でオブジェクトの可用性が99.99%になるように設計されており、必要とされるときに Amazon S3 標準を信頼できることを保証するため、Amazon S3 サービスレベルアグリーメント (SLA) で裏づけされています。

安全性

Amazon S3 は、SSL でのデータ転送と、アップロード後のデータの自動暗号化をサポートします。バケットポリシーを構成してオブジェクトの権限を管理し、AWS Identity and Access Management (IAM) を使用しデータへのアクセスを制御できます。複数の研究機関で相互利用するセキュアなデータ共有プラットフォームとして構築することが可能です。

高性能

Amazon S3 は、ネットワークのスループットと回復性を最大化するのに役立つマルチパートアップロードをサポートし、エンドユーザーに近い AWS リージョンを選択してデータを保存することでネットワークレイテンシーを最小にできます。また、Amazon S3 は、レイテンシーが短く、データ転送速度が速く、最低使用料のないエンドユーザー向けのコンテンツ配信ウェブサービスである Amazon CloudFront と統合されます。

Amazon S3 には、大量のデータ転送を可能にする方法がいくつかあります。最も簡単なのが Amazon S3 Transfer Acceleration です。革新的ソフトウェア、プロトコルの最適化、AWS エッジインフラストラクチャを組み合わせ、既存インフラストラクチャに比べ、データ送信速度を 300%向上しました。

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	実際に使用した分のストレージ料金、リクエスト料金、データ転送料金、Amazon S3 Transfer Acceleration 料金です。新規アカウントには1年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。 https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容: https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他(取得可能)
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/rds/

■製品サービスの特長

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)を使用すると、クラウドで簡単にリレーショナルデータベースを設定、運用、スケールできます。このサービスは、手間のかかるデータベースの管理タスクをお客様の代わりに行いながら、コスト効率がよく、サイズ変更が可能なキャパシティーを提供します。これによってお客様は自身のアプリケーション開発やビジネスに集中できます。Amazon RDS では、Amazon Aurora、Oracle、Microsoft SQL Server、PostgreSQL、MySQL、MariaDB という 6 つのよく知られたデータベースエンジンからお選びいただけます。

管理が簡単

Amazon RDS は、プロジェクトを計画してから配備を行うまでの手順を簡単にします。AWS マネジメントコンソール、AWS RDS コマンドラインインターフェイス、またはシンプルな API 呼び出しを使用して、実稼働に対応したリレーショナルデータベースの機能に数分でアクセスします。インフラストラクチャをプロビジョニングする必要はなく、データベースソフトウェアのインストールやメンテナンスも不要です。

拡張性

数回のマウスクリックまたは 1 回の API 呼び出しだけで、ダウンタイムなくデータベースのコンピューティング容量とストレージ容量をスケールすることができます。Amazon RDS エンジンタイプの多くは、1 つ以上のリードレプリカを起動でき、プライマリデータベースインスタンスの読み取りトラフィックによる負荷を軽減できます。

可用性と耐久性

Amazon RDS が実行されるインフラストラクチャは、アマゾン ウェブ サービスの他のサービスに使用されるものと同じで、高い信頼性が特長です。Multi-AZ DB インスタンスをプロビジョニングすると、Amazon RDS は異なるアベイラビリティゾーン (AZ) のスタンバイインスタンスにデータを複製します。Amazon RDS は、重要な本稼働用データベースの信頼性を高めるために、自動バックアップ、データベーススナップショット、ホスト自動交換といったその他の特徴を多数備えています。

高速

Amazon RDS では、最も要件の厳しいデータベースアプリケーションをサポートします。SSD ベースのストレージは、高性能 OLTP アプリケーション向けに最適化された SSD ストレージ、またはコスト効率の良い汎用 SSD ストレージのいずれかを選択できます。さらに、Amazon Aurora により、商用データベースと同等のパフォーマンスが 10 分の 1 のコストで提供されます。

安全

Amazon RDS なら、データベースへのネットワークアクセスの制御も簡単です。Amazon RDS では、データベースインスタンスを Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) で稼働させることもできます。これによってデータベースインスタンスを独立させ、業界標準の暗号化 IPsec VPN を介して既存の IT インフラストラクチャに接続することが可能になります。Amazon RDS エンジンの多くには、保管時の暗号化と転送時の暗号化が準備されています。

低コスト

非常に低額の料金を、実際に利用したリソース分に対してのみお支払いいただきます。加えて、前払いや長期契約がないオンデマンド料金で、さらには当社の予約価格のオプションでより低い時間料金を得ることができます。

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	実際に使用した分のオンデマンドまたはリザーブドインスタンスの料金、データベースストレージおよびIOの料金、バックアップストレージの料金、データ転送の料金です。新規アカウントには1年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。 https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容: https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail:aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Redshift
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/redshift/

■製品サービスの特長

Amazon Redshift を使用すると、データをロードすることなく、データウェアハウスのクエリをデータレイクにまで拡張できます。Redshift にローカルに保存されているペタバイト規模のデータに対して分析クエリを実行でき、Amazon S3 に保存されているエクサバイト規模のデータに対して分析クエリを直接実行できます。簡単にセットアップしてほとんどの管理作業を自動化でき、あらゆる規模で高速なパフォーマンスを実現できます。

高速のパフォーマンス

超並列処理: Amazon Redshift では、ギガバイトからエクサバイト規模のデータセットに対して高速にクエリを実行できます。Redshift では、列指向ストレージ、データ圧縮、ゾーンのマッピングが使用されているため、クエリ実行に必要な I/O の量が軽減されます。Redshift では、超並列処理 (MPP) データウェアハウスアーキテクチャが採用されており、SQL 操作の並列化と分散によって、利用可能なあらゆるリソースを活用します。基盤となるハードウェアはデータ処理のパフォーマンスを高める設計となっており、ローカル接続ストレージを使用して CPU とドライブの間のスループットを最大化するとともに、高帯域幅イーサメッシュネットワークを使用してノード間のスループットを最大化します。

機械学習: Amazon Redshift は、ワークロードや同時使用量に関係なく、機械学習を使用して高いスループットを実現します。Redshift では、実行時に想定されるクエリを高度なアルゴリズムを用いて予測し、そのクエリを最適なキューに割り当てて高速処理を実現しています。例えば、ダッシュボードやレポートのように大規模な並列処理を必要とするクエリは、高速のキューに転送されて直ちに処理されます。同時実行性が向上すると、Amazon Redshift はキューイングの開始時期を予測し、同時実行スケーリング機能を使用して一時的なリソースを自動的にデプロイします。これにより、クラスターの需要の変動に関係なく、常に高速のパフォーマンスが確保されます。

結果のキャッシュ: Amazon Redshift では、結果をキャッシュすることで、繰り返し実行されるクエリに対して 1 秒未満の応答時間を実現しています。同じクエリを繰り返し実行するダッシュボード、可視化ツール、ビジネスインテリジェンスツールは、これによってパフォーマンスが大幅に向上します。クエリを実行すると、Redshift ではキャッシュを検索し、以前の実行でキャッシュされている結果がないかを確認します。キャッシュされている結果が見つかり、データが変更されていないことがわかると、クエリを再度実行せずに、キャッシュされている結果を即座に返します。

高い費用対効果

初期費用なしの従量課金制: Amazon Redshift は最もコスト効率の高いデータウェアハウスで、お客様がプロビジョンしたリソース以外は料金が発生しません。コミットメントなしで 1 時間あたり 0.25 USD から開始でき、1 テラバイトあたり年額 250 USD まで規模を拡大できます。Redshift は、初期費用なしのオンデマンド料金体系を提供する唯一のクラウドデータウェアハウスです。リザーブドインスタンスの料金体系の場合、1 年契約または 3 年契約で最大 75% コストを節約できます。また、クエリ単位の料金体系の場合、Amazon S3 データレイクでスキャンされたデータ量に応じて料金が発生します。詳細については、Amazon Redshift の料金表ページを参照してください。

予測不可能なワークロードに対しても予測可能なコスト: Amazon Redshift を使用すると、各クラスターで 1 日あたり最大 1 時間の無料同時実行スケーリングクレジットが得られるため、コストへの影響を最小限に抑えつつ拡張できます。これらの無料クレジットは、ほとんどのお客様の同時実行性に関するニーズを十分に満たすものです。これにより、分析需要が変動している期間でも、月ごとのコストを予測することができます。

ノードタイプを選択可能: データウェアハウジングのニーズに合わせて Redshift を最適化するために、2 つのノードタイプを選択することができます。Dense Compute (DC) ノードでは、きわめて高パフォーマンスのデータウェアハウスを作成するために、高速 CPU、大容量 RAM、SSD (Solid-State Disk) が使用されます。さらにスケールしたい場合、またはコストを削減したい場合は、コスト効率が高い Dense Storage (DS) ノードタイプに切り替えてください。このノードタイプでは、非常に低価格でより大規模なハードディスクドライブを使用します。クラスターのスケールリングやノードタイプの切り替えに必要なのは、API コール 1 回のみ、または AWS コンソールで数回クリックすることのみです。

データレイクに対するクエリの実行

Amazon Redshift は Amazon S3 データレイク: Amazon Redshift は、データをロードすることなく Amazon S3 データレイクに対してクエリを実行できる唯一のデータウェアハウスです。S3 に保存されているオープンファイル形式 (Avro、CSV、Grok、JSON、ORC、Parquet など) に対し、クエリを直接実行できます。そのため、エクサバイト規模の構造化および非構造化データを S3 に保持したまま、高度に構造化されて頻繁にアクセスされるデータを Redshift のローカルディスクに柔軟に保存でき、構造化データと非構造化データのいずれに対してもシームレスにクエリを実行できます。これにより、各データセットに対して個別にクエリを実行したときには取得できなかった独自のインサイトを得ることができます。

AWS の分析エコシステム: Amazon Redshift には、AWS の分析エコシステムがネイティブに組み込まれています。AWS Glue を使用すると、Redshift にデータを抽出、変換、ロード (ETL) することができます。Amazon Kinesis Data Firehose を使用すると、最も簡単な方法で Redshift にストリーミングデータをキャプチャ、変換、ロードでき、ほぼリアルタイムで分析を行えます。Amazon QuickSight を使用すると、レポートや可視化ツール、ダッシュボードを作成できます。

製品・サービス名称	Amazon Redshift		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	クラスターのノードのタイプと数に基づいて1時間あたりの料金をお支払いいただくだけです。価格は、圧縮データに基づいており、通常は3倍の圧縮が可能です。価格には、データの2つの追加コピーが含まれています。1つはクラスターノードへのコピー、もう1つはAmazon S3へのコピーです。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon EMR
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/emr/

■製品サービスの特長

Amazon EMR

Amazon EMR は、大量のデータを迅速、容易に、かつコスト効果よく処理するためのウェブサービスです。Amazon EMR は、ビッグデータ処理を簡略化し、動的にスケーラブルな Amazon EC2 インスタンス間の莫大な量のデータを処理し、配信するための、簡単、迅速、費用対効果が高い、マネージド型 Hadoop フレームワークを提供します。また、Apache Spark や Presto などの一般的な他のフレームワークを Amazon EMR で実行することや、Amazon S3 や Amazon DynamoDB などの他の AWS データストア内でデータを操作することができます。Amazon EMR は、ログの分析、ウェブインデックス、データウェアハウジング、機械学習、財務分析、科学シミュレーション、生物情報科学研究を含む、お客様のビッグデータを確実かつ安全に処理します。

Amazon EMR のバージョンリリースにより、EMR cluster で Apache Hadoop および Spark エコシステムのアプリケーションを含む最新のオープンソースプロジェクトを簡単に選択して使用できます。ソフトウェアは Amazon EMR によってインストールおよび設定されるので、管理タスクに費やす時間を短縮してデータの値を増やすことに集中できます。

使いやすい

Amazon EMR クラスターは数分で起動できます。ノードのプロビジョニング、クラスターのセットアップ、Hadoop の設定、クラスターのチューニングなど、わずらわしい作業は不要です。Amazon EMR がこのような作業を行いますので、お客様は分析に専念できます。

低コスト

Amazon EMR の料金体系は予想がしやすくシンプル: 使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位で料金を支払います。10 ノードの Hadoop クラスターの運用をわずか 0.15 USD/時間で開始できます。Amazon EMR は Amazon EC2 のスポットインスタンスとリザーブドインスタンスをネイティブサポートしているため、基盤となるインスタンスのコストを 50~80%節約することもできます。

伸縮自在性

Amazon EMR は、コンピューティングインスタンスを 1 つでも数百、数千でもプロビジョニングできるため、あらゆる規模のデータ処理に対応します。インスタンス数は簡単に増減でき、お支払いは使った分のみの従量料金制です。

信頼性

クラスターの調整やモニタリングにかかる労力も削減できます。Amazon EMR にはクラウド用の調整された Hadoop があり、クラスターをモニタリングして失敗したタスクを再試行し、自動的にパフォーマンスの低いインスタンスを置き換えます。

安全性

Amazon EMR は Amazon EC2 インスタンスへのネットワークアクセスを制御するファイアウォールの各種設定を自動的に構成します。また、お客様が定義する論理的に隔離されたネットワークである Amazon Virtual Private Cloud(VPC)内にクラスターを起動することもできます。EMRFS を使った Amazon S3 のサーバー側暗号化とクライアント側暗号化、クラスターの HDFS とローカルディスクの暗号化、さまざまなアプリケーションで移動中の暗号化を実行するオープンソースの機能といった Amazon EMR のセキュリティ設定を使用すると、保管中および移動中のデータの暗号化を簡単に有効にできます。

柔軟性

お客様がクラスターのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへのルートアクセス権限を持ち、簡単にその他のアプリケーションを追加し、クラスターごとに設定をカスタマイズできます。また Amazon EMR は、複数の Hadoop ディストリビューションとアプリケーションをサポートしています。

製品・サービス名称	Amazon EMR		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	使用するインスタンスの時間ごとに1時間単位での料金の支払となります。支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの3つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/elasticsearch-service/

■製品サービスの特長

Amazon Elasticsearch Service

Amazon Elasticsearch Service は、AWS クラウドで Elasticsearch を簡単にデプロイ、操作、スケーリングできるようにするマネージドサービスです。Elasticsearch はログ分析、リアルタイムのアプリケーションモニタリング、クリックストリーム分析などのユースケース向けの、人気の高いオープンソースの検索および分析エンジンです。Amazon Elasticsearch クラスタは AWS マネジメントコンソールから数分でセットアップし、設定できます。Amazon Elasticsearch Service によってクラスタのすべてのリソースがプロビジョニングされ、起動されます。障害が発生した Elasticsearch ノードが自動的に検出および交換されるため、自己管理型のインフラストラクチャおよび Elasticsearch ソフトウェアに関連するオーバーヘッドを削減できます。Amazon Elasticsearch Service を使用して単一の API 呼び出しで、または AWS マネジメントコンソールで数回クリックして簡単にクラスタをスケールできます。Amazon Elasticsearch Service では、Elasticsearch のオープンソース API に直接アクセスできます。そのため、既存の Elasticsearch 環境で使用しているコードとアプリケーションがシームレスに機能します。

シンプルなデプロイ

Amazon Elasticsearch Service を使用して、AWS クラウドに Elasticsearch を簡単にデプロイできます。AWS マネジメントコンソールまたは簡単な API 呼び出しを使用して、すぐに運用準備が整った Amazon Elasticsearch クラスタにアクセスできます。インフラストラクチャのプロビジョニング、および Elasticsearch ソフトウェアのインストールや管理について心配する必要はありません。

管理が簡単

Amazon Elasticsearch Service によって高い可用性の確保、バッチ管理、障害検出、ノードの交換、バックアップ、モニタリングなどの時間がかかる管理タスクを簡素化でき、より価値の高いアプリケーション開発に集中できます。

スケーラブル

Amazon Elasticsearch Service では、Amazon CloudWatch メトリックスによってクラスタをモニタリングし、単一の API 呼び出しまたは AWS マネジメントコンソールでのクリック数回でクラスタを拡大または縮小できます。

Logstash および Kibana との統合

Logstash はログなどのイベントデータを処理し、Elasticsearch にロードできるようにするオープンソースのデータパイプラインです。Kibana は Elasticsearch のデータをより理解しやすくする、オープンソースの分析および視覚化プラットフォームです。Amazon Elasticsearch Service には Kibana が標準で組み込まれており、Logstash との統合をサポートしています。

高い費用対効果

Amazon Elasticsearch Service によって、Elasticsearch を設定および管理するための費用を削減できます。データと使用パターンの変化に合わせて最適なパフォーマンスが得られるようにクラスタをスケールアップまたはダウンできるため、発生する費用は実際に使用したリソースの分のみです。オンデマンド料金では時間単位でリソースの料金が発生するため、長期契約は必要ありません。また、ハードウェアのプランニング、購入、維持に伴うコストや手間から解放されます。

安全性

AWS Identity and Access Management (IAM) のポリシーを使用して Elasticsearch API へのアクセスを制限できます。IAM のポリシーによって、アプリケーションは Amazon Elasticsearch クラスタに安全にアクセスできます。

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	Amazon Elasticsearch インスタンス時間、Amazon EBS ストレージ(オプションを選択している場合)、通常のデータ転送に対して料金が発生します。新規アカウントには1年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。 https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jp-er@amazon.com	

製品・サービス名称	AWS Lambda
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/lambda/

■製品サービスの特長

AWS Lambda はイベント発生時にお客様のコードを実行し、基盤となるコンピューティングリソースをお客様に代わって管理する、サーバーレスコンピューティングサービスです。AWS Lambda を使用すると、カスタムロジックを使って AWS の他のサービスを拡張することや、AWS の規模、パフォーマンス、セキュリティを活用して運用する自社のバックエンドサービスを作成することができます。AWS Lambda では、複数のイベント（Amazon API Gateway 経由の HTTP リクエスト、Amazon S3 バケット内のオブジェクト変更、Amazon DynamoDB 内のテーブル更新、AWS Step Functions 内の状態遷移など）に反応して、自動的にコードが実行されます。

AWS Lambda は可用性の高いコンピューティングインフラストラクチャで、お客様のコードを実行しコンピューティングリソースの管理をすべて担当します。これにはサーバーおよびオペレーティングシステムの管理、キャパシティーのプロビジョニングおよび自動スケーリング、コードおよびセキュリティパッチのデプロイ、モニタリングおよびロギングなどが含まれます。お客様はコードを書くだけです。

AWS Lambda の利用

AWS Lambda の利用を開始するのは簡単です。まずコードをアップロード（または Lambda コンソールで直接構築）して関数を作成し、メモリ、タイムアウト時間、AWS Identity and Access Management (IAM) の役割を選択します。次に、関数をトリガーする AWS リソースとして特定の Amazon S3 バケット、Amazon DynamoDB テーブル、Amazon Kinesis ストリームのいずれかを指定します。リソースが変更されると、Lambda は関数を実行し、受信リクエストに対応するために必要なコンピューティングリソースを開始および管理します。

AWS Lambda には、学ばなければならない新しい言語、ツール、フレームワークがありません。ネイティブライブラリも含め、サードパーティーのライブラリを使用できます。コード（フレームワーク、SDK、ライブラリ、その他）は Lambda Layer としてパッケージ化し、これを管理して複数の関数で共有できます。Lambda は、ネイティブでは、Java、Go、PowerShell、Node.js、C#、Python、Ruby のコードをサポートしています。また、関数の作成にその他のプログラミング言語を使用できるようにするための Runtime API を提供しています。

完全に自動化された管理

AWS Lambda はコードを可用性の高い、耐障害性を備えたインフラストラクチャで実行するためにインフラストラクチャをすべて管理するため、お客様は差別化されたバックエンドサービスの構築に注力できます。Lambda を使用すれば、パッチがリリースされた際に基盤となる OS を更新したり、使用量の増加に合わせてサーバーのサイズ変更や追加を考えたりする必要はありません。AWS Lambda はコードをシームレスにデプロイし、すべての管理、メンテナンス、セキュリティパッチの適用を担当し、Amazon CloudWatch によって組み込みのロギングおよびモニタリング機能を提供します。

自動スケーリング

AWS Lambda は必要なときだけコードを実行し、リクエスト受信の回数に合わせて自動的にスケールします。お客様は何も設定する必要がありません。コードが処理できるリクエスト数に上限はありません。AWS Lambda は基本的にイベントの発生からミリ秒単位でコードを実行します。また Lambda は自動的にスケールするため、イベントの頻度が上昇しても一貫して高いパフォーマンスを維持できます。コードがステートレスなので、Lambda は時間のかかるデプロイや設定によって遅れが出ることなく必要な数だけインスタンスを実行できます。

利用に応じた支払い

AWS Lambda では、送信したリクエストとコードを実行するために要した処理時間の分のみ料金が発生します。料金は 100 ミリ秒の増分で計算されます。コスト効率がよく、1 日に数件のリクエストから 1 秒に数千件のリクエストまで簡単に自動でスケールできます。

製品・サービス名称	AWS Lambda		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	関数全体に対する合計リクエスト数、割り当てたメモリ量に応じて料金が発生します。実行時間はコードの実行が開始された瞬間からコードが返された時間あるいは中止された時間までで計算され、100ミリ秒単位で切り上げられます。1ヶ月あたり一定のLambdaの無料利用枠があります。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/

■製品サービスの特長

Amazon DynamoDB

Amazon DynamoDB は、どのような規模でも信頼性が高いパフォーマンスを維持できる、非リレーショナルデータベースです。この完全マネージドサービスには、応答性の高いデータアクセスを必要とする最先端のアプリケーション用のグローバルにスケーラブルなデータストアを開発者が作成するのに役立つ、多くの機能が含まれています。

スケールに応じたパフォーマンス

Amazon DynamoDB Accelerator (DAX) はフルマネージドで高可用性の DynamoDB 用インメモリキャッシュで、テーブルからの読み取りパフォーマンスを大幅に向上させます。DAX は、1 秒あたり 100 万単位のリクエストを処理する場合でも、最大で 10 倍の DynamoDB テーブルの読み取りパフォーマンス向上（ミリ秒からマイクロ秒）を実現します。

DynamoDB では、柔軟なスキーマで簡単にスケールできるように設計されたキーと値のデータ構造をサポートしています。各項目（行）はキーと値のペアになっており、テーブル内の項目の属性に必要なのはプライマリキーのみで、プライマリキーが各アイテムを一意に識別します。DynamoDB では、ドキュメントの保存、クエリ、更新もサポートしています。AWS SDK を使用すると、JSON ドキュメントを直接 DynamoDB テーブルに保存するアプリケーションを構築できます。

DynamoDB では、任意の属性（列）に対して効率的にクエリを実行できる柔軟なセカンダリインデックスを利用できます。テーブルからのセカンダリインデックスの作成や削除はいつでも実行できます。

DynamoDB ストリームを使用すると、最新の項目レベルの変更を追跡したり、24 時間以内の項目レベルの更新をすべて取得したりできます。また、取得したデータを使用して独創的なアプリケーションを構築し、レプリケーション、マテリアライズドビュー、バックアップ、および他のサービスとの統合などの機能を実現できます。

DynamoDB は、AWS Lambda と統合され、トリガーを実現しています。トリガーを用いると、項目レベルの変更が DynamoDB テーブルで検出されたときに自動的にカスタム関数を実行できます。

フルマネージド

グローバルテーブルは、高速な読み取りおよび書き込みパフォーマンスを実現する、フルマネージドのマルチリージョン、マルチマスターのデータベースを提供し、選択する AWS リージョン全体にわたって DynamoDB テーブルを自動的にレプリケートします。ポイントインタイムリカバリ (PITR) は、お客様の DynamoDB テーブルデータを連続的にバックアップします。これを有効にしておくと、DynamoDB はお客様のテーブルの直近 35 日間分の増分バックアップを、お客様が明示的にオフにするまで行います。

オンデマンドバックアップおよび復元

オンデマンドバックアップおよび復元で、DynamoDB テーブルのデータの完全なバックアップを作成してアーカイブできます。これを利用して企業および行政の規制要件を満たすことができます。数メガバイトから数百テラバイトまでのデータを持つテーブルを、本番アプリケーションのパフォーマンスや可用性に影響を与えずにバックアップできます。

保管時の暗号化

保管時の暗号化では、AWS 管理の暗号化キーを使用して DynamoDB のデータを保護します。その暗号化キーは AWS Key Management Service に保存されます。保管時の暗号化は、ユーザーにとって完全に透過的で、すべての DynamoDB クエリは暗号化されたデータ上でシームレスに実行されます。アプリケーションコードを変更する必要はありません。

きめ細かなアクセス制御

DynamoDB は、ユーザー認証と不正アクセスの防止に実績ある暗号化技術を採用しています。また、AWS Identity and Access Management との統合により、組織内のユーザーのアクセスを細かく管理することもできます。

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	テーブルが消費するディスク容量のGBあたりの料金が課金されます。毎月最初の25GBまでは無料です。プロビジョニングするスループットタイプにより費用が異なります。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容: https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Kinesis
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/kinesis/

■製品サービスの特長

Amazon Kinesis

Amazon Kinesis でストリーミングデータをリアルタイムで収集、処理、分析することが簡単になります。Amazon Kinesis はストリーミングデータをコスト効率を考慮してあらゆる規模で処理する機能と、アプリケーションの要件に最適なツールを選択できる融通性を備えています。Amazon Kinesis をお使いになると、機械学習、分析、その他のアプリケーションに用いる動画、音声、アプリケーションログ、ウェブサイトのクリックストリーム、IoT テレメトリーデータをリアルタイムで取り込みます。Amazon Kinesis はデータを受信するとすぐに処理および分析を行うため、すべてのデータを収集するのを待たずに処理を開始して直ちに応答することが可能です。

完全マネージド型

Amazon Kinesis は完全マネージド型ですので、インフラストラクチャを管理する必要なく、ストリーミングアプリケーションを実行できます。

スケーラブル

Amazon Kinesis はサイズの上限なくストリーミングデータに対応し、数千ものソースからのデータをとても低いレイテンシーで処理できます

機能

Amazon Kinesis Video Streams を使用すると、分析、機械学習 (ML)、およびその他の処理のために、接続されたデバイスから AWS へ動画を簡単かつ安全にストリーミングできるようになります。Kinesis Video Streams によって、数百万ものデバイスからの動画のストリーミングデータを取り込むために必要なすべてのインフラストラクチャが自動的にプロビジョニングされ、伸縮自在にスケールされます。また、ストリーム内の動画データに対して堅牢な保存、暗号化、インデックス作成が実行され、使いやすい API によってデータにアクセスできるようになります。Kinesis Video Streams を使うと、ビデオをライブ、オンデマンドの視聴のために再生し、また Amazon Recognition Video との統合によってコンピュータービジョンとビデオ分析を活用したアプリケーションを素早く構築でき、Apache MxNet、TensorFlow、OpenCV などの ML フレームワークのためのライブラリを構築できます。

Amazon Kinesis Data Streams では、よく使われるストリーム処理フレームワークを用いてデータストリームを処理する、カスタムの、リアルタイムアプリケーションを構築できます。ウェブサイトクリックストリームやデータベースイベントストリームや金融取引、ソーシャルメディアフィード、IT ログ、ロケーション追跡イベントなど何十万ものソースから毎秒ギガバイトのデータを継続してキャプチャできます。収集データはミリ秒で入手でき、リアルタイム分析をリアルタイムダッシュボードやリアルタイム異常検知などに利用可能です。

Amazon Kinesis Data Firehose は、データストリームを AWS データストアにキャプチャ、変換、ロードし、既存のビジネスインテリジェンスツールを使って準リアルタイムで分析できる最も容易な方法です。ストリーミングデータをキャプチャして変換し、Amazon S3、Amazon Redshift、Amazon Elasticsearch Service、Splunk にロードして、現在お使いの既存のビジネスインテリジェンスツールやダッシュボードで、ほぼリアルタイムに分析することができます。完全マネージド型サービスのため、データスループットに応じて自動的にスケールされ、継続的な管理は不要です。

Amazon Kinesis Data Analytics を使用すると、新しいプログラミング言語や処理フレームワークを習得することなく、SQL を使用してストリーミングデータのクエリやストリーミングアプリケーション全体の構築を行うことができます。

製品・サービス名称	Amazon Kinesis		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	前払い料金や最低料金はなく、使用したリソースに対してのみお支払いいただきます。Amazon Kinesis の料金は、時間単位のシャード速度と、PUT ペイロードユニットの2つの基準に基づいています。Amazon Kinesis ストリームからのレコード取得は無料です。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX 番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	Amazon Route 53
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/route53/

■製品サービスの特長

Amazon Route 53

Amazon Route 53 は、可用性が高くスケーラブルなクラウドドメインネームシステム (DNS) ウェブサービスです。Amazon Route 53 は、www.example.com のような名前を、コンピュータが互いに接続するための数字の IP アドレス (192.0.2.1 など) に変換するサービスで、開発者や企業がエンドユーザーをインターネットアプリケーションにルーティングする、きわめて信頼性が高く、コスト効率の良い方法となるよう設計されています。Amazon Route 53 は IPv6 にも完全準拠しています。

Amazon Route 53 は、Amazon EC2 インスタンス、Elastic Load Balancing ロードバランサー、Amazon S3 バケットなどの AWS で実行するインフラストラクチャにユーザーリクエストを効率的に接続します。これはユーザーを AWS 外のインフラストラクチャにルーティングするためにも使用できます。Amazon Route 53 を使用して DNS ヘルスチェックを構成し、トラフィックを正常なエンドポイントにルーティングしたり、アプリケーションやそのエンドポイントの正常性を独立してモニタリングしたりすることができます。Amazon Route 53 トラフィックフローでは、さまざまなルーティングタイプ (レイテンシーベースルーティング、Geo DNS、地理的近接性、加重ラウンドロビンなど) を使用してトラフィックをグローバルに簡単に管理できます。このすべてのルーティングタイプを DNS フェイルオーバーと組み合わせることができるため、低レイテンシーのさまざまなフォルトトレラントアーキテクチャを実現できます。Amazon Route 53 トラフィックフローのシンプルなビジュアルエディタを使用して、エンドユーザーをアプリケーションのエンドポイントにルーティングする方法を簡単に管理できます。エンドポイントが 1 つの AWS リージョン内にあるか、世界中に分散しているかは関係ありません。また、Amazon Route 53 ではドメイン名登録も提供します。example.com のようなドメイン名を購入および管理でき、Amazon Route 53 でお客様のドメインの DNS 設定が自動的に構成されます。

Amazon Route 53 の機能

Amazon Route 53 は、数分で開始できる、シンプルなウェブサービスインターフェイスです。DNS レコードは、Route 53 の API で設定する「ホストゾーン」にまとめられます。

Amazon Route 53 API

Route 53 は、貴社ドメインの DNS レコードの作成/管理を容易にする API セットを提供します。これらは直接呼び出すことができます。また、この機能はすべて、AWS Management Console を介してアクセスすることができます。Route 53 API の完全なリストについては、Amazon Route 53 API レファレンスガイドをご参照ください。

Amazon Route 53 グローバルネットワーク

Amazon Route 53 グローバルネットワークの Route 53 は、高可用性を提供し、パフォーマンスを向上させるために、全世界のロケーションで DNS サーバーのグローバルネットワークを使用します。

従量課金制

Route 53 では、前金の支払いは必要なく、貴社のドメインに返答するクエリ数の制限がありません。その他のアマゾン ウェブ サービスと同様、従量制で課金が行われ、使用した分に対してのみ支払いを行います。

製品・サービス名称	Amazon Route 53		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しております。) 大学数(非公開)校:利用大学名(10,000を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。)		
費用	実際に使用した分のみをお支払いいただきます。最低料金はありません。ホストゾーン、クエリ、トラフィックフロー、ヘルスチェックドメイン名料金、Amazon Route 53とAmazon S3の間のAPIコールに対して課金されます。		
利用条件	規約・法務関係は以下のURLをご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有(代理店名:代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(Webからのサインアップ)	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他(https://aws.amazon.com/jp/legal/)
データ保存場所	国内・海外(お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他(ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規(Webから変更可能)	管轄裁判所	国内・海外(Webから変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無(SLA内容:100% https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。)		
実績稼働率	有・無・その他(http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他()
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx年xx月)	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。	QA対応時間帯	サポートプランにより異なります。Webをご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他(チャット)	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名:アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名:パブリックセクター 担当者:田代、柳生、菊田	電話番号: FAX番号: Mail: aws-jpps-er@amazon.com	

製品・サービス名称	FortiCloud
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/content/dam/fortinet/assets/data-sheets/ja_jp/FortiCloud_DS.pdf

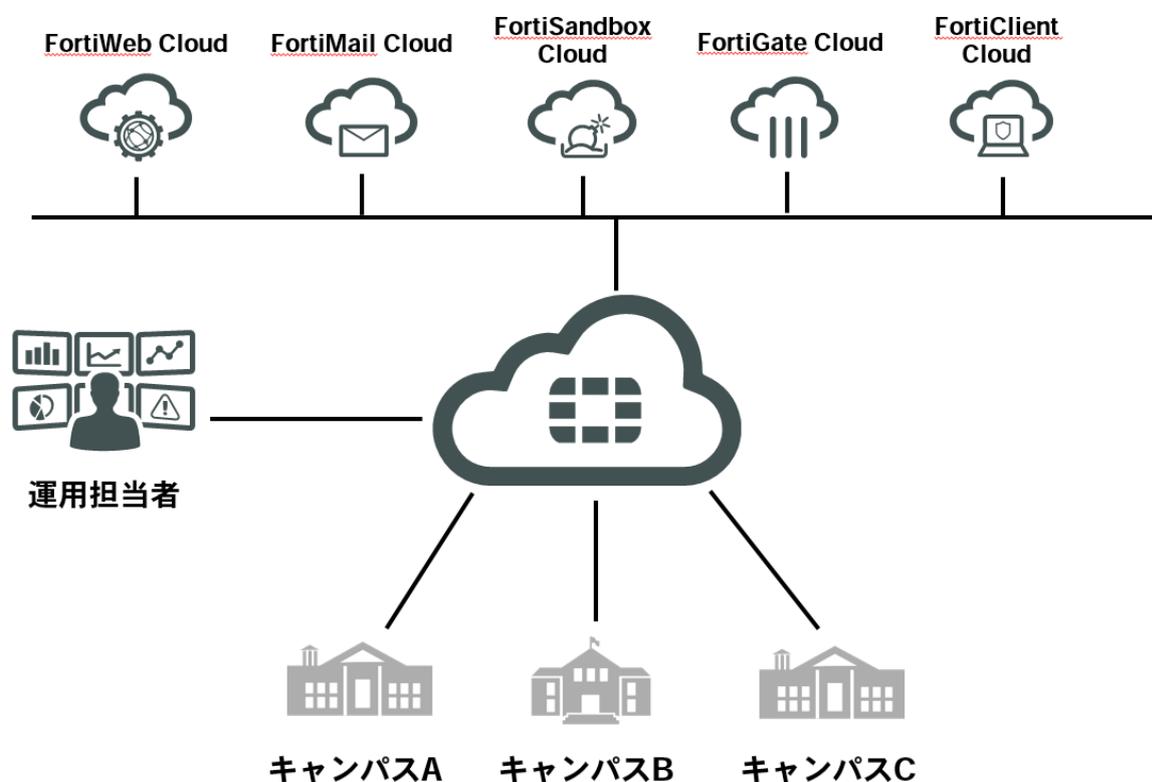
■製品サービスの特長

FortiCloud クラウド型セキュリティソリューションのプラットフォーム

- ・ FortiGate Cloud : FortiGate、FortiWiFi、FortiGate 配下の FortiSwitch や FortiAP の集中管理、ログ保存
- ・ FortiGate Cloud Sandbox : クラウドサンドボックス (FortiGate/FortiWiFi 向け AMP サービスにて利用可能)
- ・ FortiSwitch Cloud : スタンドアロン FortiSwitch の集中管理、ログ保存
- ・ FortiAP Cloud : スタンドアロン FortiAP の集中管理、ログ保存
- ・ FortiClient Cloud : エンドポイントの可視化と保護、リモートアクセス
- ・ FortiMail Cloud : クラウドベースのセキュア E メールゲートウェイ
- ・ FortiWeb Cloud : クラウドベースの Web アプリケーションファイアウォール

FortiCloudからフォーティネットのすべてのクラウドソリューションにアクセス

FortiCloudがメインポータルとなり、フォーティネットのすべてのクラウドポータルにアクセスできます。



製品・サービス名称	FortiCloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	世界で 40 万社を超えるお客様が、FortiGate Cloud で FortiGate/FortiWiFi/FortiAP を管理されています。		
費用	FortiCloud のアカウントは無償で作成可能です。FortiGate/FortiWiFi/FortiAP のいずれかをお持ちで FortiCloud にアカウントを開設いただければ、FortiGate Cloud のトライアル利用が可能です。基本的にはハードウェア (FortiGate/FortiWiFi/FortiAP) と機能に応じた利用ライセンス (1/3/5 年) をご購入いただく必要があります。詳細は弊社・販売代理店までお問い合わせください。		
利用条件	弊社クラウドサーバーとの接続によりファイアウォールの設定を変更していただく必要がある場合があります。		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (https://www.fortinet.com/jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (販売代理店に発注)	利用開始までの期間	登録日から即日利用可能
約款の有無	弊社までお問い合わせください	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	弊社までお問い合わせください	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社までお問い合わせください	QA 対応時間帯	弊社までお問い合わせください
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	弊社までお問い合わせください
計画停止の頻度	弊社までお問い合わせください	サービス停止の通知	弊社までお問い合わせください
ログの開示	弊社までお問い合わせください	第三者認証取得状況	ISO 9001:2008, NIST 800-53, SSAE16 & CSAE3416, SOC1
問合せ先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者：須賀 広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com	

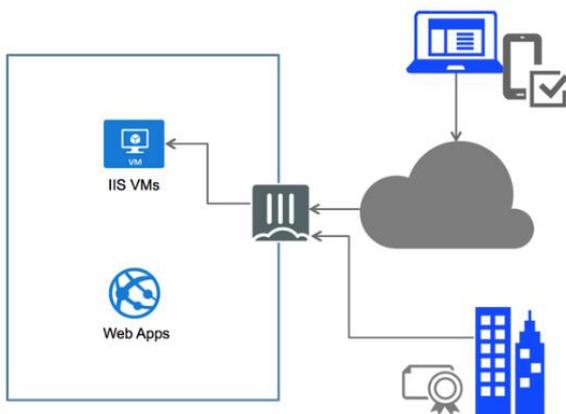
製品・サービス名称	MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/azure.html

■製品サービスの特長

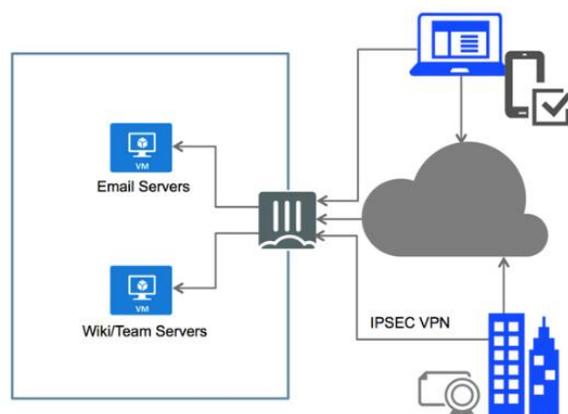
Microsoft Azure 向けフォーティネットソリューション

- ・ FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール
- ・ FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール
- ・ FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ
- ・ FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート
- ・ FortiManager 集中セキュリティ管理
- ・ FortiSandbox サンドボックス

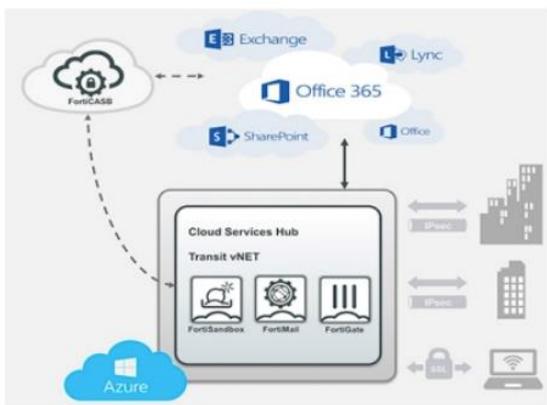
<FortiGate による DMZ 構築>



<FortiGate によるプライベートネットワーク構築>



<FortiMail による Microsoft 365 (Exchange Online) セキュリティ>



製品・サービス名称	MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(優良企業多数)社:利用企業名() 大学数(未公表)校:利用大学名()		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等		
利用条件	条件なし		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有(代理店名: https://www.fortinet.com/jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外(東・西日本)	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	Microsoft Azure 仕様に準じる		
実績稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる	目標稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる
ストレージ	Microsoft Azure 仕様に準じる	バックアップ	Microsoft Azure 仕様に準じる
データ暗号化	Microsoft Azure 仕様に準じる	暗号化通信	Microsoft Azure 仕様に準じる
■機能			
SINET 接続	Microsoft Azure 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Microsoft Azure 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	Microsoft Azure 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる	QA 対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる
コンタクト方法	Microsoft Azure 仕様に準じる	対応インシデント数	Microsoft Azure 仕様に準じる
計画停止の頻度	Microsoft Azure 仕様に準じる	サービス停止の通知	Microsoft Azure 仕様に準じる
ログの開示	Microsoft Azure 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:フォーティネットジャパン株式会社 部署名:パブリックソリューションビジネス本部 担当者:須賀 広樹	電話番号: FAX 番号: Mail: public_jp@fortinet.com	

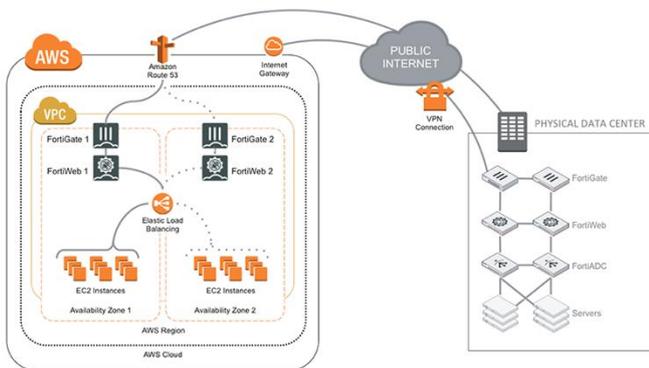
製品・サービス名称	Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/aws.html

■製品サービスの特長

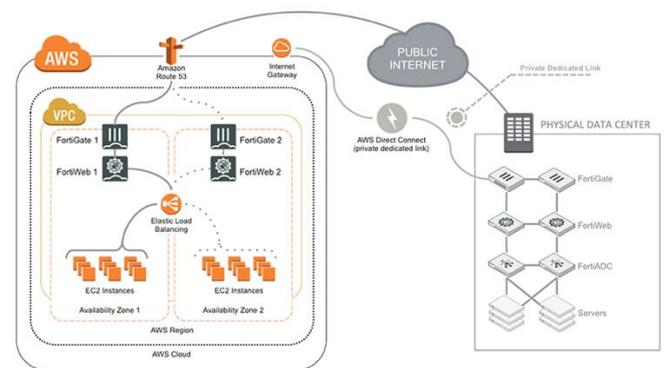
Amazon Web Service 向けフォーティネットソリューション

- ・ FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール
- ・ FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール
- ・ FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ
- ・ FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート
- ・ FortiManager 集中セキュリティ管理
- ・ FortiSandbox サンドボックス
- ・ FortiSIEM セキュリティイベント管理

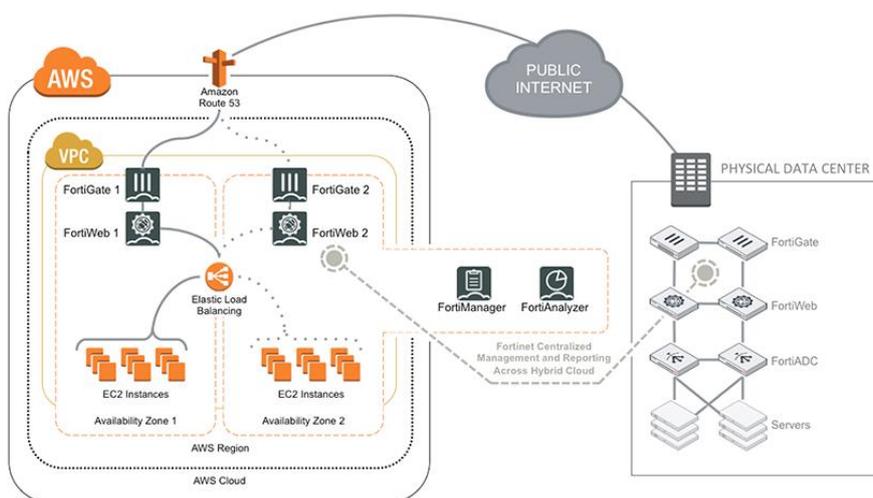
<FortiGate による拠点間 VPN>



<FortiGate を使った Direct Connect>



<FortiAnalyzer/FortiManager によるアセットの一元管理>



製品・サービス名称	Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(優良企業多数)社:利用企業名() 大学数(未公表)校:利用大学名()		
費用	製品によってトライアルあり。FortiGate Next-Generation Firewall の場合、15 日間は無償利用ができ、それを超えると時間単位の課金体系に自動切り替わり。		
利用条件	条件なし		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有(代理店名: https://www.fortinet.com/jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	AWS 仕様に準じる
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	AWS 仕様に準じる		
実績稼働率	AWS 仕様に準じる	目標稼働率	AWS 仕様に準じる
ストレージ	AWS 仕様に準じる	バックアップ	AWS 仕様に準じる
データ暗号化	AWS 仕様に準じる	暗号化通信	AWS 仕様に準じる
■機能			
SINET 接続	AWS 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	AWS 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	AWS 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	AWS 仕様に準じる	QA 対応時間帯	AWS 仕様に準じる
コンタクト方法	AWS 仕様に準じる	対応インシデント数	AWS 仕様に準じる
計画停止の頻度	AWS 仕様に準じる	サービス停止の通知	AWS 仕様に準じる
ログの開示	AWS 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:フォーティネットジャパン株式会社 部署名:パブリックソリューションビジネス本部 担当者:須賀 広樹	電話番号: FAX 番号: Mail: public_jp@fortinet.com	

製品・サービス名称	FortiCWP、FortiCASB
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/cloud-security-posture-management.html https://www.fortinet.com/jp/products/cloud-access-security-broker.html

■製品サービスの特長

FortiCWP クラウドワークロード保護サービス

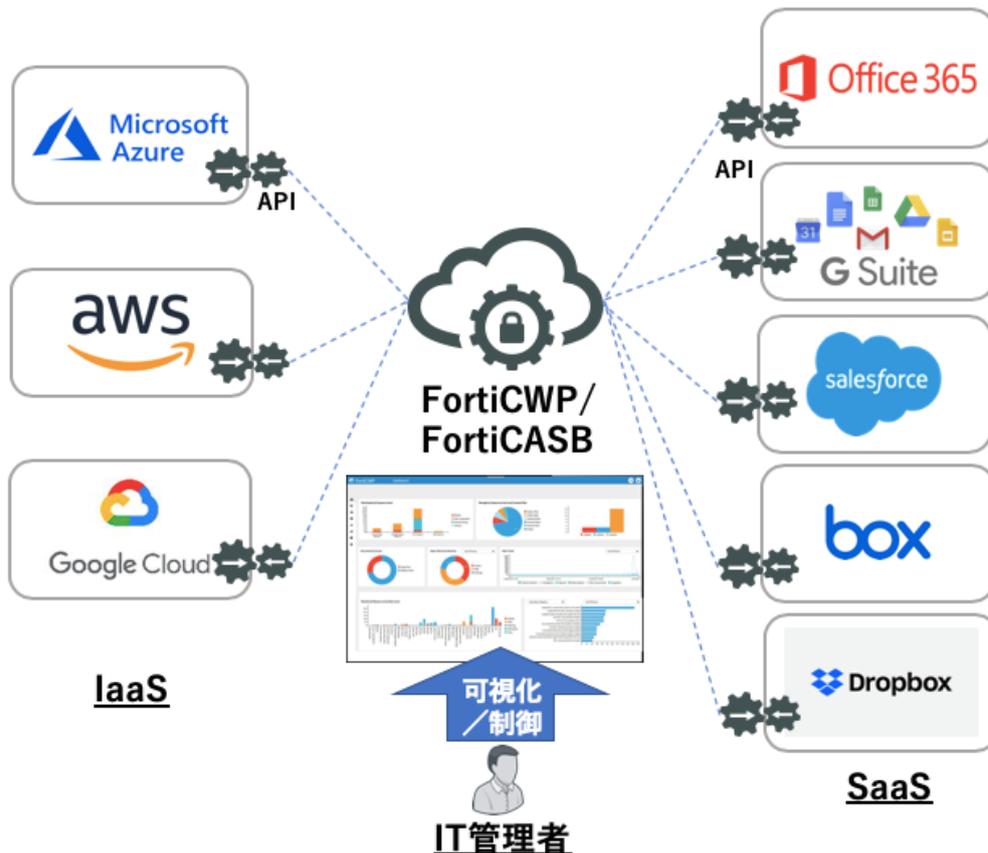
・ IaaS 向けセキュリティ

AWS、Azure、GCP におけるユーザーアクティビティ、クラウドリソース、ファイルやデータ、ポリシーの一元的な可視性
クラウド上のファイルに対するオンデマンドスキャン
クラウド利用時のコンプライアンスチェック
ユーザーの挙動に対する振る舞い検知

FortiCASB クラウドアクセスセキュリティブローカー

・ SaaS 向けセキュリティ

SaaS 利用状況の可視化（Microsoft 365 OneDrive、Google Docs、Salesforce、Dropbox、Box）
マルウェア検知
未承認クラウドアプリケーションの可視化
シャドーIT レポート出力



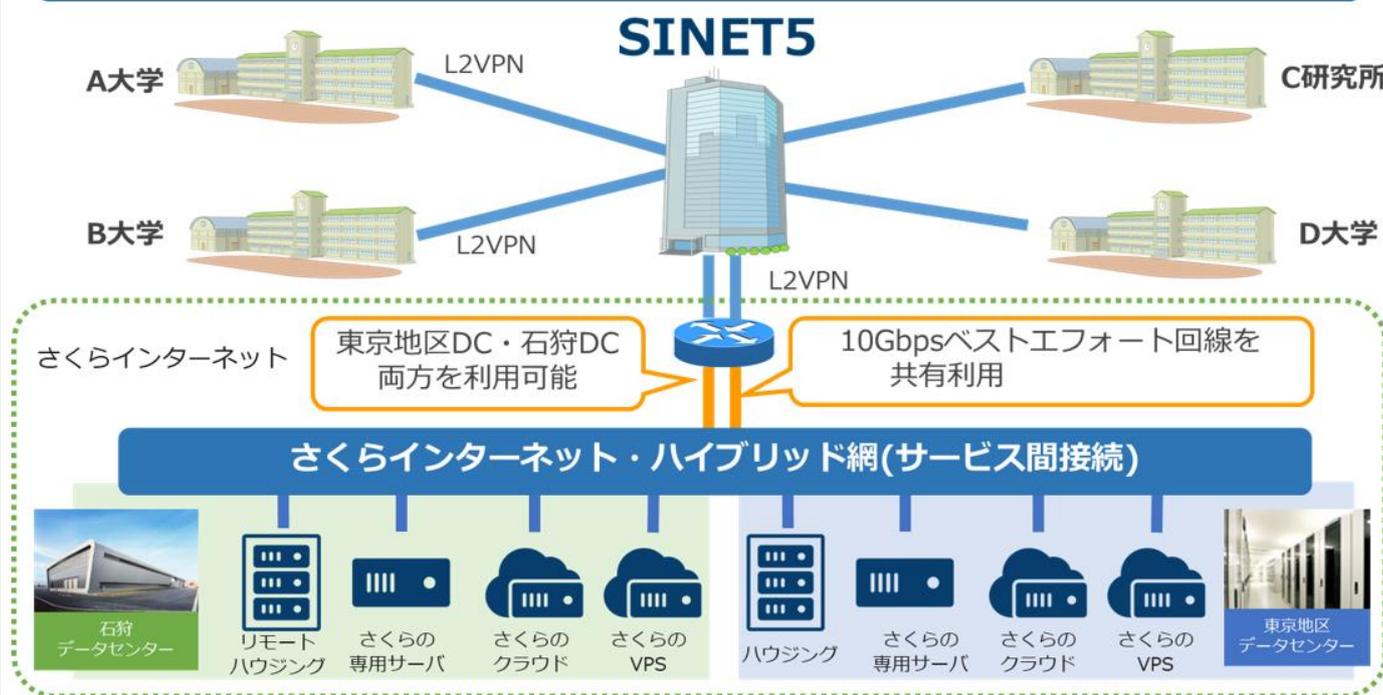
製品・サービス名称	FortiCWP、FortiCASB		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	非公開		
費用	FortiCWP は IaaS 上のホスト数単位 (20hosts)、ストレージ容量単位 (1TB) のライセンスを購入することで専用ポータルを利用可能になります。FortiCASB は SaaS 利用のアカウント数単位 (100user) のライセンスを購入することで専用ポータルを利用可能になります。詳細は弊社・販売代理店までお問い合わせください。		
利用条件	弊社クラウドサーバーとの接続によりファイアウォールの設定を変更していただく必要がある場合があります。		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (https://www.fortinet.com/jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (販売代理店に発注)	利用開始までの期間	登録日から即日利用可能
約款の有無	弊社までお問い合わせください	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	未対応	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社までお問い合わせください	QA 対応時間帯	弊社までお問い合わせください
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	弊社までお問い合わせください
計画停止の頻度	弊社までお問い合わせください	サービス停止の通知	弊社までお問い合わせください
ログの開示	弊社までお問い合わせください	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者：須賀 広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com	

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

■製品サービスの特長

- 学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。
- ネットワークは10Gbpsベストエフォートで、全域が冗長化されています。
- すでに SINET 接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく、設定の投入だけでご利用になれます。
- さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせてご利用可能です。

SINET接続サービスは、さくらインターネットとSINET5間との通信環境を提供するサービスです。



SINET接続サービスから利用可能なサービス



※SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数(非公開)校		
費用	初期費用なし、1VPN 当たり月額 15,000 円		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他(オンラインサインアップ)	利用開始までの期間	1ヶ月程度
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他(Active & Standby)
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:さくらインターネット株式会社 部署名:営業部 担当者:	電話番号:03-5332-7071 FAX 番号:03-5332-7079 Mail: edu-ml@sakura.ad.jp	

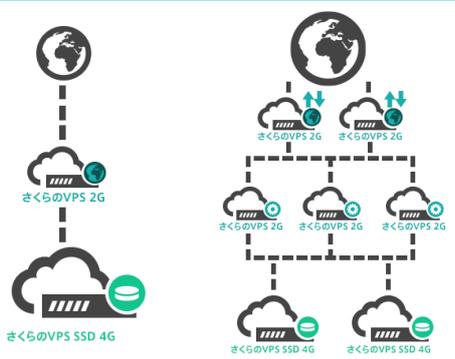
製品・サービス名称	さくらのVPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらのVPS が全面リニューアルしました！！

- ◎ 全プランでSSDを標準搭載しスループットが向上！
- ◎ 全プランで初期費用が無料に！
- ◎ 最大2倍のストレージ増量や月額料金の最大50%値下げ！

ローカルネットワーク 台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

- セキュリティ向上
- IPアドレスの拡張

各サーバは3つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの2層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した3層構成も可能。これにより大規模なシステムをVPSで実現できるようになります。
※最大10セグメントまで利用可能

ハイブリッド 全国三カ所にVPSの地理的な分散が可能です

さくらのVPSを、石狩（北海道）、東京地区、大阪地区の全国3カ所に分散配置し同一のL2ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。



(石狩) (東京) (大阪)

ハイブリッド 異種サービスの連携運用が可能です

「さくらのVPS」と「さくらのクラウド」、「さくらの専用サーバ」、「ハウジング」を同一のL2ネットワークで連携稼働させることが可能です。



製品・サービス名称	さくらのVPS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	Linux 版：初期費なし、月額費用 585 円（税抜き）～ Windows 版：初期費なし、月額費用 1,000 円（税抜き）～		
利用条件	2 週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

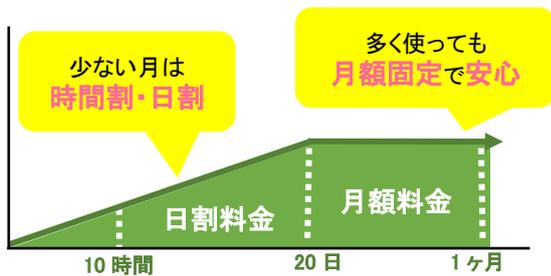
リージョン	東京
	石狩

高性能

最大 **20 コア**、**224GB** メモリまでの充実のスペック

わかりやすい料金体系

初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額から最も安い料金が自動で適用されます。事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

低価格

初期費用無料、月額 **1,540 円** から始められます

月額 1,540 円～ 1日 77 円 1時間 7 円 ※ディスク料金除く

クラウドと異種サービスを接続できる

さくらのサービスメリットを最大化！

さくらの専用サーバ さくらのクラウド リモートハウジング

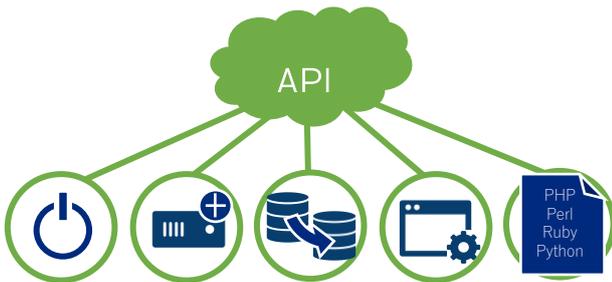


ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。

※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

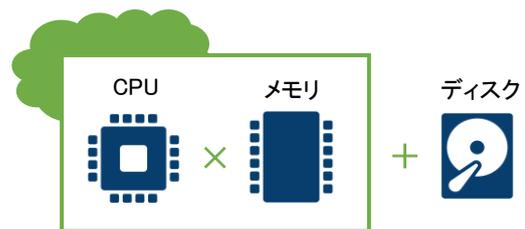
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。

選べるプラン 94 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供 / 2 段階認証/WAF の提供(一部 OS)/マーケットプレイス

有償オプション

Window Server (石狩リージョンのみの提供) / アーカイブ / バックアップ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ(インターネット接続回線の集約・増速) / 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / Sophos UTM / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、流通経済大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い、お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、 99.95% 以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長



自由度の高い物理専有ホスティングサービス

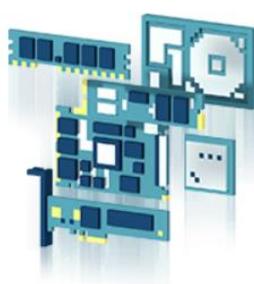
物理サーバーをすぐ使えるさくらの専用サーバ PHYなら
お客様のビジネスを支える安心がそろっています

いま、さくらの専用サーバ PHYを選ぶ理由



クラウドサービスとの連携

ハイブリッド接続により、クラウドやハウジングサービスなどとの連携が可能です。



高速なCPUと大量のメモリ、ストレージを専有

最新の高スペックサーバーリソースを独占できます。



自由自在にスケール可能

サーバー1台の構成から、台数に上限なしでスケールアウト可能です。



サーバーを欲しいときに

サーバーを最速10分で提供可能です。オプションサービスのオンライン申し込みも可能になりました。



万全の保守体制

自社社員による、24時間365日のオンサイト保守でハードウェアの障害も安心です。

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社:利用企業名(事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数(非公開)校		
費用	4core/8GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 9,900 円～(別途初期費用が必要)		
利用条件	最低利用期間は3ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(オンラインサインアップ)	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(SLA 内容:月間のネットワーク稼働率が 99.95% 以上を保証)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開)	目標稼働率	有・無・その他(非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定(xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間/365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名:さくらインターネット株式会社 部署名:営業部 担当者:	電話番号:03-5332-7071 FAX 番号:03-5332-7079 Mail: edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	NetApp Cloud Insights
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://cloud.netapp.com/cloud-insights

■製品サービスの特長

◆「Cloud Insights」でクラウド利用状況が一目瞭然

Cloud Insights は今日のクラウドベースのインフラと導入テクノロジーに特化して設計されており、環境内のリソース間の接続に関する高度な分析情報を提供します。

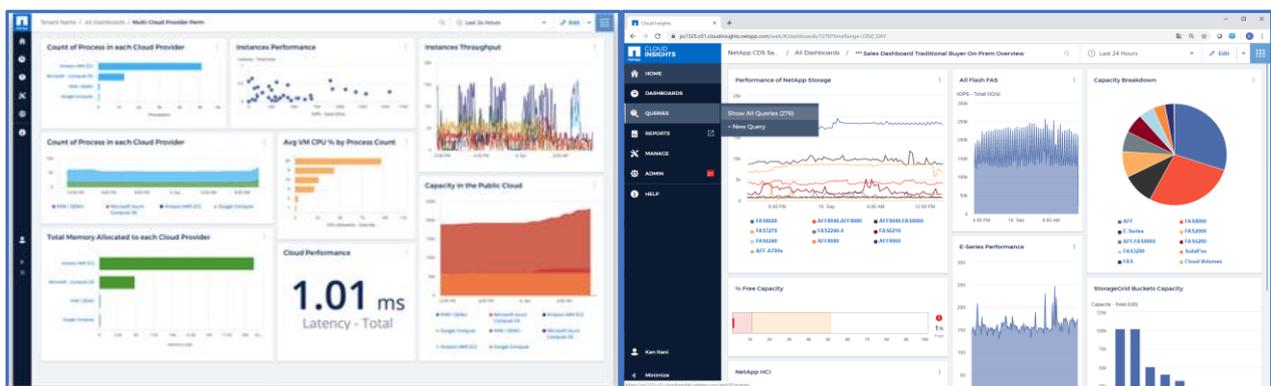
- ・ 複数のパブリッククラウド事業者のサービスの利用状況を同じ画面で確認可能
- ・ オンプレミスシステムの使用状況も同一画面で確認可能
- ・ AWS や Google CloudPlatform、Microsoft Azure といったパブリッククラウドに加え、VMware など構築されたオンプレミスの仮想化環境の状況が一目でわかり

それぞれの領域で生じている無駄なコストを総合的な判断を行った上で削減できるようになります。

◆NetApp Cloud Insights の特長

Cloud Insights の特徴は使いやすさです。クラウド内でホスティングされるので、容易に起動し、高速で実行できます。クラウドとオンプレミスのマルチベンダー リソースを含む、すべてのインフラのトポロジ、可用性、パフォーマンス、利用率に関するデータがリアルタイムで可視化されます。

もちろん、NetApp Cloud Volumes、NetApp HCI、NetApp AFF もサポートされます。



監視対象

- ・ サーバ、ストレージ (他社製含む)、FC スイッチ、ハイパーバイザー
- ・ クラウドインフラ
AWS/Azure/GCP のインスタンスとストレージ
- ・ ミドルウェア
(MySQL, PostgreSQL, HAProxy, MongoDB, Kubernetes, etc…)

◆NetApp Cloud Insights の導入

- ・ 各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・ cloud.netapp.com にログイン後、ブラウザで Cloud Insights を設定・操作が可能。
- ・ 30 日間無償トライアル 各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	NetApp Cloud Insights		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	トライアル有り。従量課金、期間ライセンスをご選択可能、監視対象、イベント分析機能のオプションの選択により料金が変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は1ヶ月です。 【期間ライセンス】代理店を通じた1ヶ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【期間ライセンス】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名	ネットアップ株式会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/cloud-services/cloud-volumes-ontap/

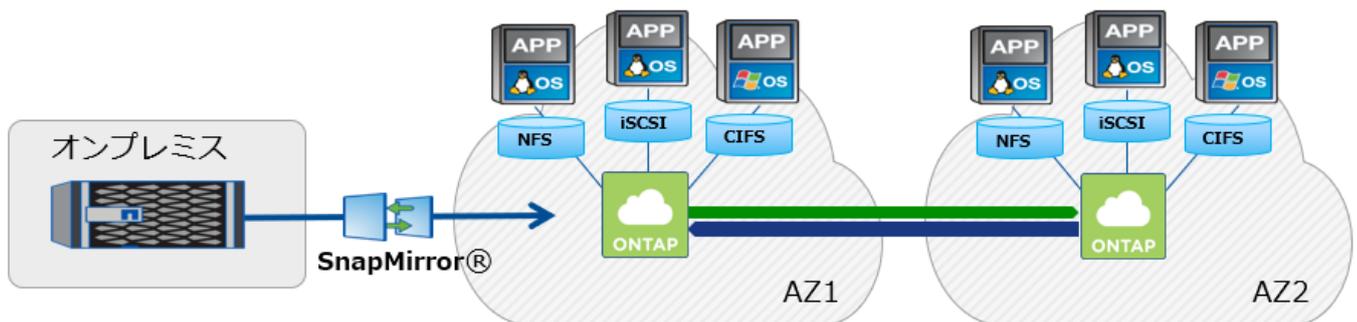
■製品サービスの特長

◆汎用性に優れたクラウドベースのデータ管理サービス

データ保護機能とストレージ効率化機能を備え、最適で強力なソリューションを、AWS、Google CloudPlatform、Microsoft Azure、ハイブリッドクラウド環境内で提供。

◆Cloud Volumes ONTAP の特長

お客様のクラウド ストレージで高度なデータ管理機能を利用できます。ONTAP は、SMB、NFS、iSCSI をサポートしているため、アプリケーション環境に NAS と SAN の両方のストレージをプロビジョニングすることが可能です。またパフォーマンスへの影響ゼロの NetApp Snapshot™ コピーを作成し、バックアップとリカバリ用のデータのポイントインタイム コピーをほぼ瞬時に作成できます。ストレージ リソースを余分に消費することも、アプリケーションのパフォーマンスに影響が生じることもありません。



- クラウド ストレージにエンタープライズクラスの高可用性機能を提供 
- クラウドとの間でデータを容易にレプリケーション 
- ネットアップの暗号化機能でクラウド データを保護 
- ファイルサービスやブロック ストレージ アプリケーションの開発と実行が可能 

◆Cloud Volumes ONTAP の導入

- ・各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・Cloud Volumes ONTAP の導入は数分で完了。
- ・30 日間無償トライアル 各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（広島県など） 大学数（非公開）校：利用大学名（日本の教育機関では複数の国立大学様が利用中）		
費用	トライアル有り。従量課金、期間ライセンスをご選択可能。ストレージの必要容量、可用性のオプションの選択により料金変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は1時間です。 【期間ライセンス】代理店を通じた1ヶ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【期間ライセンス】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

製品・サービス名称	NetApp SaaS Backup for Microsoft365
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/cloud-services/saas-backup/

■製品サービスの特長

◆Microsoft 365 向けバックアップ・アーカイブサービス

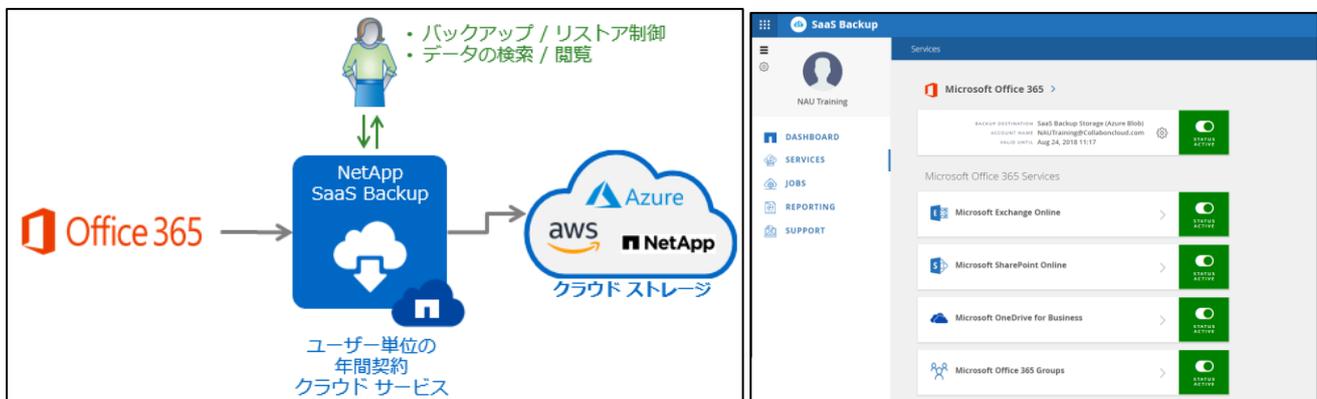
SaaS 型サービスの原則として 以下のようなリスクから、利用者自らがデータガバナンスを求められます

- ユーザーの誤操作/管理者の誤操作/ランサムウェア被害/サードパーティー製/
- データ同期ソフトの不具合/悪意ある従業員による内部被害

Microsoft 365 向けのデータ保護サービス“NetApp SaaS Backup”を利用すれば
Microsoft 365 のデータを簡単にバックアップ、リストア、検索、閲覧が可能です。

◆NetApp SaaS Backup の特長

- ・ ネットアップ提供のストレージなら容量無制限でバックアップ・データ保存が可能
- ・ シンプルな画面で簡単に操作可能
- ・ クラウドサービスのため、設備投資を運用コストに変換
- ・ 専用ポータルサイトからアクティビティ履歴も閲覧可能
- ・ 教育機関・研究機関等において プロジェクト参加者の出入りが定期的に行われているケースでの
利用終了者のデータ保管が可能。



対象アプリケーション

Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive for Business、Microsoft 365 Groups/Teams

◆NetApp SaaS Backup の導入

- ・ Microsoft Office365 アカウントまたは NetAppSSO アカウントを使用して、Office365 の SaaS バックアップにサインアップします。
- ・ NetApp が提供する SaaS Backup 専用 クラウドストレージに格納
- ・ ストレージ費用は SaaS Backup に標準付属。
容量無制限・30 日間無償トライアル 各クラウド事業者から直接入手可能。

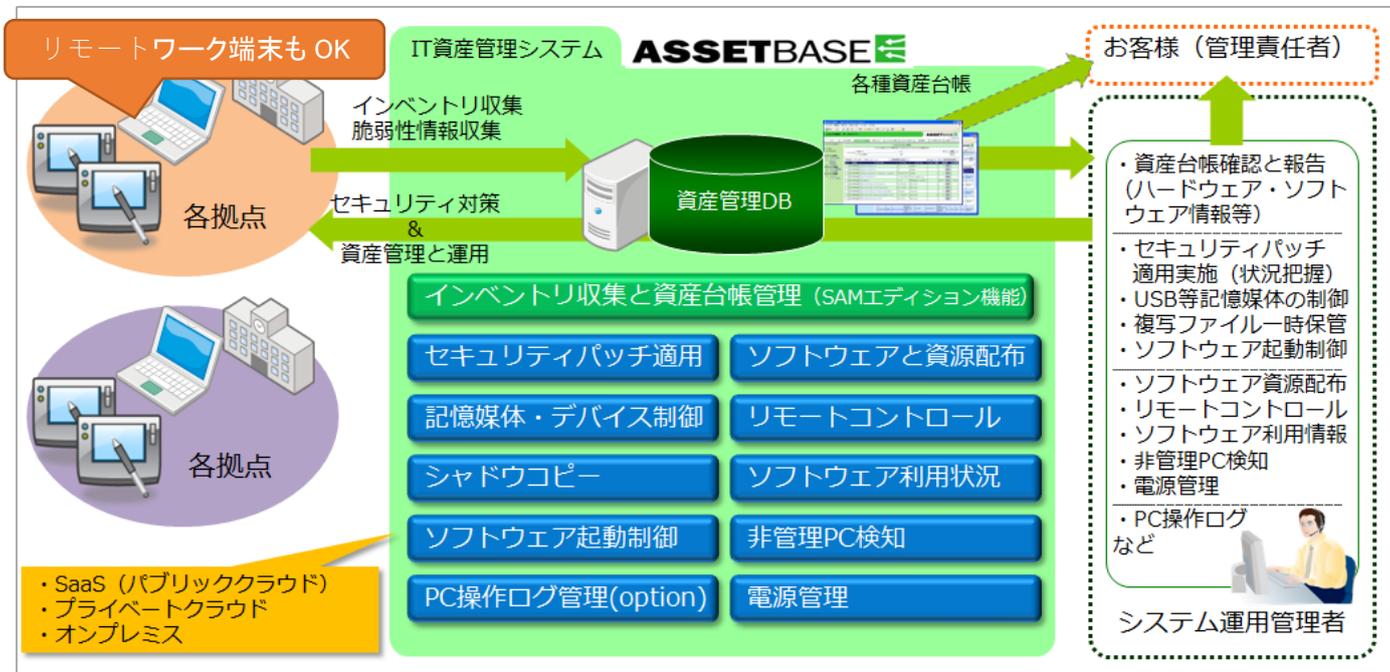
製品・サービス名称	NetApp SaaS Backup		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	トライアル有り。従量課金、期間ライセンスをご選択可能。監視対象、ユーザ数により料金が変動致します。 詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は1ヶ月です。 【期間ライセンス】代理店を通じた1ヶ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【期間ライセンス】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

5. その他

製品・サービス名称	IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ASSETBASE の概要 ～リモートワークの基本セキュリティ対策として～

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面で IT 資産の管理の重要性がますます高まっていますが、特に昨今ではリモートワークにおける端末のセキュリティ対策としてセキュリティアップデートが注目されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC (特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム) アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS (クラウド)、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(IT 資産管理)
■一般事項			
契約実績	大学実績(約70)校:利用大学名(国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学等) 民間実績(約50)社:利用企業名(非公開)他、自治体、教育委員会(小中高等学校)、私立学校等		
費用	・初期費用:管理アカウント発行料 ・ランニング費用:クライアントライセンス+サーバーシステムライセンス ・課金単位:原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル(評価版)ご利用可能		
利用条件	・最低ユーザ数:1ライセンスより利用可能 ・最低利用期間:1年間(年間利用料制)		
支払方法	請求サイクル:年次 支払方法:原則として前払、原則として振込支払(応相談)		
販売代理店	無、有(代理店名:内田洋行各販売代理店)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	5営業日(SaaS型の場合)
約款の有無	有・無()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(ご利用約款に基づく)		
実績稼働率	有・無・その他(2019年実績:99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他(99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有(年に2回程度)	サービス停止の通知	2週間前
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:システムズエンジニアリング事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者:舘野 康彦	電話番号:03-5634-6646 FAX 番号:03-3645-2337 Mail: abinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

ソフトウェア配布提供システム Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



POINT

1

ソフトウェア配布を安全・簡単に

利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロードインストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。

POINT

2

トレーサビリティの確保

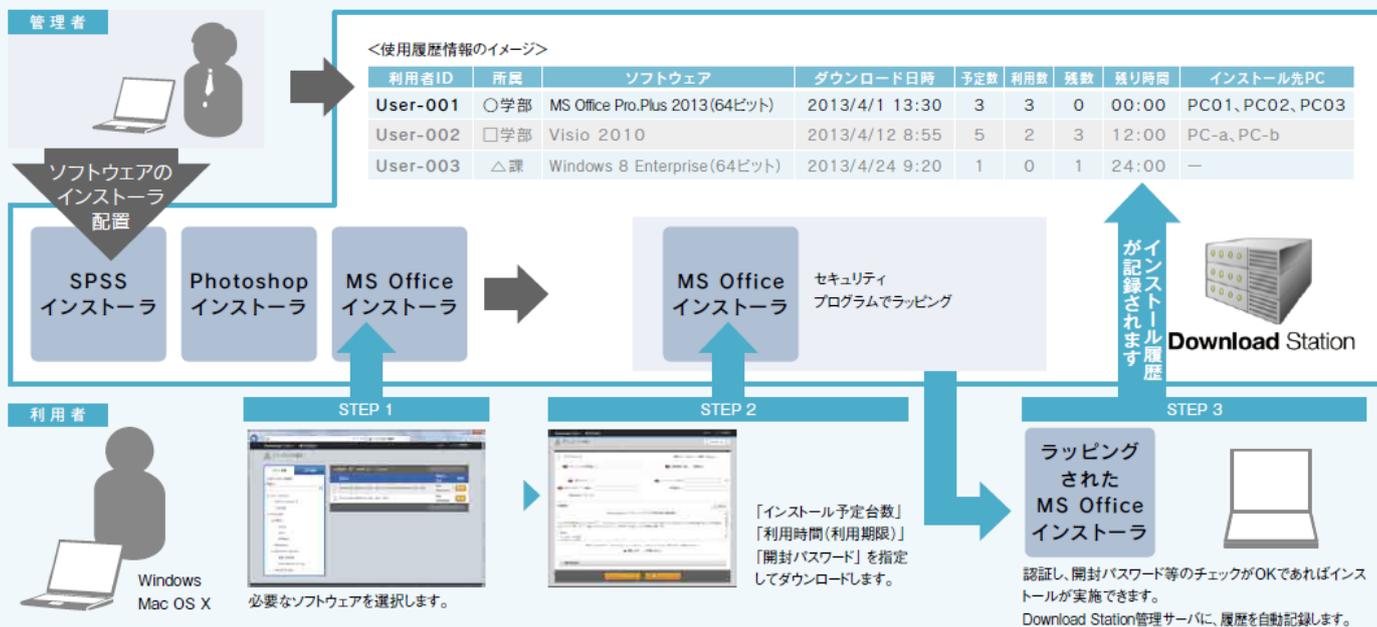
ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。

POINT

3

利用者・管理者の負担軽減

利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理者はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。



■Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決1】 インストールメディアの流出リスク(不用意なコンプライアンス違反)を避けたい
- 【こんな課題を解決2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい
- 【こんな課題を解決3】 キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい
- 【こんな課題を解決4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他()	・パブリック ・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(ソフトウェアの配布管理)
■一般事項			
契約実績	民間実績(非公開)社:利用企業名(非公開) 大学実績(非公開)校:利用大学名(筑波大、香川大、早稲田大、法政大、中央大、立命館大、近畿大等)		
費用	・初期費用:導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用:年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態:システム単位(買取) ・保守条件等:保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル:年次 支払方法:原則として振込支払(応相談)		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
■契約			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日(標準システム構築期間) ※別途環境構築が必要
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
■信頼性			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく (事例:99.9%以上 計画停止を除く)	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有
データ暗号化	無	暗号化通信	有
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	無
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:システムズエンジニアリング事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者:舘野 康彦	電話番号:03-5634-6646 FAX 番号:03-3645-2337 Mail: ml-DSinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ウチダの学割 Microsoft Office 学生向け特別プラン U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス Microsoft Office 学生向け学割特別プラン

在学中は最新版のOfficeへ無料でアップグレードが可能。在学中はインストール回数の制限はありません。

在学中なら、買い替えた新しいPCへの再インストールが可能！

在学中はいつでもMac?? Windowsの乗りかえ可能

卒業後、社会に出てもそのまま使える！追加料金はかかりません！

NEW

AXIES 正会員大学の学生向けには
通常学割価格よりさらにオトクになります！

AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください (<https://axies.jp/ja/privilege/xv7esk>)

■Microsoft Office 学生向け特別プラン U365 の概要

学生にとっての必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。

様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります！

1. フルスペックのOfficeが、断然オトクに購入できます。卒業時に譲渡、卒業後も利用可能

2. 在学中のバージョンアップやPC買い替え時の再インストールなど無償でできます。

3. 大学の費用負担無し！ ECサイトとダウンロードサイトをクラウドで無償提供します。

製品・サービス名称	ウチダの学割 Microsoft Office 学生向け特別プラン U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他(ソフトウェア販売)	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(学生サービス)
■一般事項			
契約実績	大学実績(約200超)校:利用大学名(日本全国多数) 民間実績(無:教育機関のみ)社:利用企業名 他、専門学校(約100校超)等		
費用	・初期費用:無し ・ランニング費用:無し		
利用条件	・最低ユーザ数:ゼロ ・最低利用期間:1年間		
支払方法	請求サイクル:無し(希望する学生がOfficeを購入)		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	10営業日程度
約款の有無	有・無(学生向けの利用約款あり)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(24h365D)		
実績稼働率	有・無・その他(2019年実績:99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他(99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API 公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00~16:00	QA 対応時間帯	10:00~16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有(年に1回程度)	サービス停止の通知	2週間前
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:システムズエンジニアリング事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者:舘野 康彦	電話番号:03-5634-6646 FAX 番号:03-3645-2337 Mail: u365support@esco.co.jp	

6. 大学向けクラウドソリューション 比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.14 から P.130 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの1部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	1. 教育支援系		2. 研究支援系		
	項番	1. (1)	1. (2)	2. (1)	2. (2)	2. (3)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Amazon WorkSpaces	Amazon Chime	Ufinity 研究者業績 サービス	画像AIアプリケーション プラットフォーム	AWS IoT Core
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	富士通	日立製作所	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	—	○
	製品	—	—	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	—	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	—	—	—	○
	SaaS	—	○	○	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	—	—	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	—	—	○
	情報インフラ	○	○	—	—	○
	その他	○	○	—	—	○
契約実績	民間	100万超	100万超	—	非公開	100万超
	大学	1万超	1万超	10校	非公開	1万超
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	注文書・契約書	注文書	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	15分	15分	ご相談	20営業日	15分
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	○	×	その他
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内	—	国内・海外
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	○	×	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内	国内	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	—	×	×
	実績稼働率	その他	その他	×	—	その他
	目標稼働率	○	○	×	—	○
	ストレージ多重化	○	○	×	—	○
	バックアップ	○	×	○	×	×
	データ暗号化	○	○	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	×	○
機能	SINET接続	○	×	—	×	○
	VPN接続	○	○	—	×	○
	学認対応	×	×	○	×	×
	LDAP連携	○	○	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	平日営業時間帯	平日営業時間	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	平日営業時間帯	平日営業時間	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	Webサイト	メール	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	—	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	月2回夜間	—	不定期
	サービス停止の通知	無	無	3ヶ月前	—	無
	ログの開示	○	○	×	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	×	○

比較表2

カタログ 掲載情報	掲載区分	2. 研究支援系				3. 事務支援系
	項番	2. (4)	2. (5)	2. (6)	2. (7)	3. (1)
	掲載ページ					
製品・サービス名		AWS RoboMaker	Amazon SageMaker	さくらの セキュアモバイル コネク	さくらのレンタル サーバ リセール 向けサービス	ウチダ 証明書学外発行 サービス
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	さくらインターネット	さくらインターネット	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	—
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	○
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	—	○	—	○
	SaaS	—	○	—	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	—	○	—
	研究支援	○	○	○	○	—
	事務支援	○	○	—	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	—
	その他	○	○	○	—	○
契約実績	民間	100万超	100万超	非公開	非公開	—
	大学	1万超	1万超	非公開	非公開	3校
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	申込書・その他(アマゾン)	注文書	申込書
	利用開始までの時間	15分	15分	即日	5営業日	4~6ヶ月
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	○	○	○
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内	国内	国内
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	○	○	○
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	○
	実績稼働率	その他	その他	非公開	○(99.99%以上)	非公開
	目標稼働率	○	○	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	○	—	○	○
	バックアップ	×	×	×	○	○
	データ暗号化	○	○	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	×	○
	VPN接続	○	○	○	×	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	×	×
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	24H×365D	24H×365D	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	平日営業時間帯	平日営業時間帯	9:00-20:00
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	年1回程度
	サービス停止の通知	無	無	1週間前	1週間前	2週間前
	ログの開示	○	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表3

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系				
	項番	3. (2)	3. (3)	3. (4)	3. (5)	3. (6)
	掲載ページ					
製品・サービス名		codemari クラウドサービス	RoomSenseクラウド サービス	iLiswave-J 図書館 クラウドシリーズ	TWX-21 MRO 集中購買サービス	リモートアクセスシ ステムDoMobile
提供企業名		内田洋行	内田洋行	富士通	日立製作所	日立S・C
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	—	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	○	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	○	—	—	—
	SaaS	—	—	○	○	○
利用用途 分類	教育支援	○	—	○	—	○
	研究支援	○	○	○	—	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	—	○
	その他	—	—	○	—	○
契約実績	民間	非公開	非公開	—	700社	2,500社
	大学	非公開	非公開	120校以上	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書	注文書・契約書	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	1.5ヶ月	1.5ヶ月	ご相談	2ヶ月～	5営業日
	約款の有無	○	○	○	○	×
	契約修正の可能性	○	○	○	×	その他
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	○	×	非公開
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	○
	実績稼働率	非公開	非公開	—	○ (99.5%以上)	非公開
	目標稼働率	非公開	非公開	—	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	○	○	○	非公開
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	×	×	非公開
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	○	×	×
	VPN接続	×	×	○	×	×
	学認対応	×	×	○	×	×
	LDAP連携	×	×	○	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	Webサイト	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	ご相談	非公開
	計画停止の頻度	不定期	不定期	月1回夜間	月1回	非公開
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	3ヶ月前	事前通知有	2週間前
	ログの開示	○	○	×	○ (コンテンツ)	○ (オプション)
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 4

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系				
	項番	3. (7)	3. (8)	3. (9)	3. (10)	3. (11)
掲載ページ						
製品・サービス名		RICOH カンタンスト レージ活用	RICOH CHATBOT SERVICE	キャンパス手帳	RICOH カンタン ドキュメント活用	RICOH カンタン 名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん
提供企業名		リコー	リコー	リコー	リコー	リコー
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	○	○
利用用途 分類	教育支援	—	○	○	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	100社	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	5校	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書・WEB	注文書	申込書	申込書	申込書・WEB
	利用開始までの時間	1週間	5営業日	1週間	1週間	1週間
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	×	○	×	×	×
	データ保管場所	海外	非公開	国内	海外	海外
	データ削除規程	○	—	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内	
信頼性	SLA	×	○	×	×	×
	実績稼働率	×	○	×	×	×
	目標稼働率	×	○	×	×	×
	ストレージ多重化	—	○	○	—	—
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	×	×	×
	VPN接続	×	×	×	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	その他	×	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	メール	メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	—	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年4回程度	不定期	年2回程度	年4回程度	年4回程度
	サービス停止の通知	—	3週間前	1週間前	—	—
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	—	×	—	—	—

比較表5

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系			4. 情報インフラ系	
	項番	3. (12)	3. (13)	3. (14)	4. (1)	4. (2)
	掲載ページ					
製品・サービス名		RICOH カンタン バーコード活用 for Cloud	図書館情報システム LIMEDIOクラウド サービス	RICOH カンタン文書 申請 for Cloud	神奈川DC-SINE T接続サービス	エンタープライズ クラウドサービス
提供企業名		リコー	リコー	リコー	NEC	日立製作所
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	—	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	○	—	その他	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	○	○
	PaaS	—	—	—	○	—
	SaaS	○	○	○	—	—
利用用途 分類	教育支援	—	○	—	○	○
	研究支援	—	○	—	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	—	○	—	○	○
	その他	—	○	—	○	○
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	200校	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	申込書・WEB	注文書	申込書・WEB	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	1週間	ご相談	1週間	ご相談	5営業日～
	約款の有無	○	—	○	○	×
	契約修正の可能性	×	—	×	○	ご相談
	データ保管場所	海外	国内	海外	国内・海外	国内
	データ削除規程	○	×	○	○	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	—	×	○	○
	実績稼働率	×	—	×	非公開	—
	目標稼働率	×	×	×	○	○(99.999%)
	ストレージ多重化	—	○	—	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	×	○	×	×
	暗号化通信	○	○	○	○	×
機能	SINET接続	×	○	×	○	×
	VPN接続	×	○	×	○	○
	学認対応	×	○	×	○	×
	LDAP連携	×	○	×	○	×
	管理ツール	○	○	○	×	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年4回程度	×	年4回程度	不定期	最大月1回
	サービス停止の通知	—	—	—	1ヶ月前	1ヶ月前
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	—	○	—	○	○

比較表6

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (3)	4. (4)	4. (5)	4. (6)	4. (7)
	掲載ページ					
製品・サービス名		フェデレーテッドクラウド	出前クラウドサービス	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS	日立 データセンターサービス	アマゾン ウェブサービス (AWS)
提供企業名		日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	—	—	○	○
	プライベート	—	○	—	—	○
	その他	○	—	○	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	○	—	○	○
	PaaS	○	—	—	—	○
	SaaS	—	—	—	—	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	非公開	数十社	非公開	非公開	100万超
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	1万超
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	最短5営業日	3ヶ月～	1.5カ月～	ご相談	15分
	約款の有無	×	×	×	○	有
	契約修正の可能性	ご相談	ご相談	ご相談	○	その他
	データ保管場所	非公開	国内	国内	国内	国内・海外
	データ削除規程	×	—	—	○	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内・海外
信頼性	SLA	ご相談	×	×	×	○
	実績稼働率	ご相談	ご相談	ご相談	その他	その他
	目標稼働率	○(99.95%)	ご相談	ご相談	○	○
	ストレージ多重化	○	○	○	×	○
	バックアップ	ご相談	ご相談	ご相談	×	その他
	データ暗号化	○	○	○	×	○
	暗号化通信	○	ご相談	ご相談	×	○
機能	SINET接続	×	×	×	×	○
	VPN接続	○	○	○	×	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	ご相談	ご相談	×	○
	管理ツール	○	○	○	×	○
	API公開	×	×	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/365D	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる
	コンタクト方法	メール	メール	メール	電話・メール	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	ご相談	年間5件	ご相談	無制限	無制限
	計画停止の頻度	月1回	不定期	×	不定期	不定期
	サービス停止の通知	1ヶ月前	ご相談	ご相談	1ヶ月前	無
	ログの開示	×	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表7

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (8)	4. (9)	4. (10)	4. (11)	4. (12)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)	Amazon Redshift	Amazon EMR
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	○	—	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	—	—	—
	PaaS	—	—	○	○	○
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	100万超	100万超	100万超	100万超	100万超
	大学	1万超	1万超	1万超	1万超	1万超
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	15分	15分	15分	15分	15分
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	○	○	○	×	×
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	その他	その他	○	×	×
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	無	無	無	無	無
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 8

カタログ		4. 情報インフラ系				
掲載情報		4. (13)	4. (14)	4. (15)	4. (16)	4. (17)
掲載区分						
項番						
掲載ページ						
製品・サービス名		Amazon Elasticsearch Service	AWS Lambda	Amazon DynamoDB	Amazon Kinesis	Amazon Route 53
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	○	○	○	—
	SaaS	—	—	—	—	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	100万超	100万超	100万超	100万超	100万超
	大学	1万超	1万超	1万超	1万超	1万超
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	15分	15分	15分	15分	15分
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	○	×	○
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	×	×	○	×	×
	データ暗号化	○	○	○	○	×
	暗号化通信	○	○	○	○	×
機能	SINET接続	○	○	○	○	×
	VPN接続	○	○	○	○	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	無	無	無	無	無
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 9

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (18)	4. (19)	4. (20)	4. (21)	4. (22)
	掲載ページ					
製品・サービス名		FortiCloud	MS Azure向け パブリッククラウド セキュリティ	Amazon Web Service向 けパブリッククラウド セキュリティ	FortiCWP、 FortiCASB	SINET接続サービス
提供企業名		Fortinet	Fortinet	Fortinet	Fortinet	さくらインターネット
製品・サー ビス区分	サービス	○	—	—	○	○
	製品	—	○	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	○	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	○	○	○	—
	PaaS	—	○	○	○	—
	SaaS	○	—	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	—	—	—	—	○
	研究支援	—	○	○	—	○
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	○
契約実績	民間	40万以上	多数	多数	非公開	非公開
	大学	多数	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書、代理店	代理店・WEB	代理店・WEB	代理店・WEB	申込書
	利用開始までの時間	即日	即日	即日	即日	1ヶ月程度
	約款の有無	ご相談	—	—	ご相談	○
	契約修正の可能性	ご相談	—	—	ご相談	○
	データ保管場所	海外	国内	国内・海外	海外	国内
	データ削除規程	○	—	AWS仕様に準じる	—	○
	準拠法	海外法規	海外法規	海外法規	海外法規	日本国法
	管轄裁判所	海外	海外	海外	海外	国内
信頼性	SLA	×	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	×
	実績稼働率	非公開	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	非公開
	目標稼働率	○ (99.99%)	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	非公開
	ストレージ多重化	○	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	—
	バックアップ	○	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	○
	データ暗号化	○	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	×
	暗号化通信	○	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	—	○
機能	SINET接続	×	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	×	○
	VPN接続	×	○	○	×	○
	学認対応	ご相談	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	×	×
	LDAP連携	×	アプリ依存	アプリ依存	×	×
	管理ツール	○	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	○	×
	API公開	○	○	○	○	×
保守運用	障害対応時間帯	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	24H×365D
	Q&A対応時間帯	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	平日営業時間帯
	コンタクト方法	メール	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	メール	電話・メール
	対応インシデント数	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	無制限
	計画停止の頻度	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	不定期
	サービス停止の通知	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	1週間前
	ログの開示	問合せ	Azure仕様に依存	AWS仕様に依存	ご相談	×
	第三者認証取得状況	○	—	—	—	○

比較表 10

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (23)	4. (24)	4. (25)	4. (26)	4. (27)
	掲載ページ					
製品・サービス名		さくらのVPS	さくらのクラウド	さくらの 専用サーバ	NetApp Cloud Insights	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	ネットアップ	ネットアップ
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	○	○	—	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	—	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	—	—
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	○	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	WEB	WEB	WEB	注文書・WEB	注文書・WEB
	利用開始までの時間	即時	即時	即時～数営業日	数時間	数時間
	約款の有無	○	○	○	×	×
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	リージョン内	リージョン内
	データ削除規程	○	○	○	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	○ (99.95%)	○ (99.95%)	○	○
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	○	○	×	○
	バックアップ	○	○	×	×	○
	データ暗号化	×	×	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	○	×	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/5D	24H/5D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	1週間前	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存
	ログの開示	×	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 1 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系	5. その他		
	項番	4. (28)	5. (1)	5. (2)	5. (3)
	掲載ページ				
製品・サービス名		NetApp SaaS Backup for Microsoft365	IT資産管理/ セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア 配布提供システム Download Station	Microsoft Office 学生向け特別プラン U365
提供企業名		ネットアップ	内田洋行	内田洋行	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	—	○	—	—
	製品	○	—	○	—
	その他	—	—	—	○
クラウド 区分	パブリック	○	○	—	○
	プライベート	—	○	○	—
	その他	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—
	SaaS	○	○	—	○
利用用途 分類	教育支援	○	—	—	—
	研究支援	○	—	—	—
	事務支援	—	—	—	—
	情報インフラ	○	—	—	—
	その他	—	○	○	○
契約実績	民間	非公開	約70社	非公開	—
	大学	非公開	約50校	非公開	約200校超
契約	申込方法	注文書・WEB	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	数時間	5営業日(SaaS)	5営業日	10営業日
	約款の有無	×	○	○	×
	契約修正の可能性	○	○	○	×
	データ保管場所	リージョン内	国内	導入環境に依存	国内
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	○	ご相談	○
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法	導入環境に依存	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	○(約款による)	導入環境に依存	○
	実績稼働率	非公開	○(99.99%以上)	導入環境に依存	○(99.99%以上)
	目標稼働率	非公開	○(99.9%)	導入環境に依存	○(99.9%)
	ストレージ多重化	×	○	導入環境に依存	○
	バックアップ	×	○	○	○
	データ暗号化	×	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	ご相談	ご相談	×
	VPN接続	○	○	○	×
	学認対応	×	ご相談	ご相談	×
	LDAP連携	×	○	○	×
	管理ツール	○	○	○	×
	API公開	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	24H/5D	営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	年2回程度	導入環境に依存	年1回程度
	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存	2週間前	運用規定に依存	2週間前
	ログの開示	×	○	○	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○

7. 大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいると思われる。そこで各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載する。

流通経済大学

業務パッケージをSINET経由で、クラウド化。接続に「さくらのクラウド」を採用

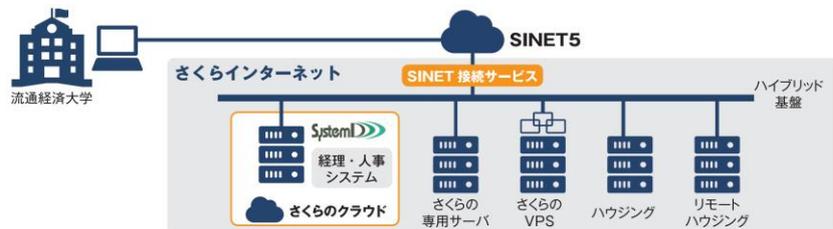
流通経済大学は、経理・人事システムが稼働しているサーバの更新に伴い、「さくらのクラウド」の月額定額サーバに移行しました。同大学ではICTを活用した効率的かつ継続的な業務遂行の観点から、早い段階で少しずつクラウド化を進めており、経理・人事システム移設を経て、キャンパス内に設置されたシステム用サーバがなくなり、クラウド化のロードマップが完了しました。同大学が「さくらのクラウド」を採用した大きな理由は、大学や研究機関のネットワークでありセキュアに接続できるSINETと接続できるからです。

「学生ファースト」な流通経済大学

流通経済大学は、戦後の日本経済発展と国際化に対応できる高度な物流の研究と人材育成を目的として1965年に設立されました。当初は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、現在では5学部9学科を擁する中規模の総合大学に発展しました。

「2006年にはスポーツ健康科学部を開設し、開学以来スポーツにも力を入れています。私も硬式野球部に所属していました」と同大学出身の若山昌弘氏（経理課）は部活の日々を思い返します。特にサッカー部とラグビー部が強く、江坂任さんや中島イシレリさんなどプロ選手を多数輩出していることで知られています。

同大学の特徴として、1年生は入学式の次の日からゼミに所属することが挙げられます。これは学生に有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうための配慮で、教員からの手厚いサポートと学友との親密な関係を早期に構築することがねらいです。またキャンパスは茨城県龍ヶ崎市と千葉県松戸市にあり、学部によっては、2つのキャンパスから好きな方を選んで通学できる「キャンパス選択制」を導入し



ています。この制度により、教員はキャンパスを行き来して、同じ内容の授業を行うこととなりますが、学生の成長と個々の事情を優先する「学生ファースト」な大学と言ってよいでしょう。

SINET経由でさくらのクラウドに接続し、経理・人事システムを利用

流通経済大学は、株式会社システムディが提供する学園向けの業務パッケージをさくらのクラウドに導入して利用しています。また、さくらインターネットへは、日本全国の大学や研究機関を結ぶSINET経由で接続しています。

「SaaSがあれば採用したのですが、残念ながら学園向けの経理・人事システムでは見当たりません。そこでさくらのクラウドをPaaSとして利用し、システムディ

のパッケージをそちらに導入しました」と同大学のシステム導入リーダーである青砥光一氏は説明します。

クラウド化で停電、災害などの不安から解放

学生の個人情報や研究内容の漏えいを不安視して、クラウド化に難色を示す大学も多い中、流通経済大学では5年あまりの年月をかけて、徐々にオンプレミスのサーバを撤去してきました。

「少ない人数でシステム運用を行っていただきますので、5年に1回のサーバ更新は大きな負担です。またキャンパスが2カ所あるので、龍ヶ崎キャンパス側で停電があったときには新松戸キャンパス側も影響を受けることになります。そこでサーバを更新するたびにクラウドまたはハウジングサービスにシ

導入前の課題

- サーバの更新の労力とコストが大きな負担
- システムの安定稼働について不安
- SINET接続に対応している業者が少ない

導入後の効果

- サーバの更新の必要がなくなった
- システムの継続的な運用に関する安心感
- SINET接続により安心して利用

システムを移行してきました」と情報部門事務部長の鈴木武氏は説明します。2011年の東日本大震災でサーバ室に影響があったり、別な年には雷による停電でシステムが停止したこともあって、BCP（事業継続計画）に真摯に取り組むことになりました。

クラウド化は世の中の流れであり、セキュリティに関しても必要とするレベルには既に達しているという判断でした。それよりも短いスパンでのシステム更新にかかる労力とコストが不要なこと、業務の継続という観点から安心感が強いこと、定額料金のサービスを選択すればコストの見通しが容易なことなど、クラウド化のメリットの方がはるかに大きいと同大学では評価しています。

なお、クラウド化はシステムディの経理・人事パッケージの導入を経て、その他システムも徐々に進めた結果、すべて外部に設置することにより完了し、現在はバックアップ用のサーバを残すだけになりました。

さくらのクラウドを選んだ理由

経理・人事パッケージの導入先としてさくらのクラウドを選んだ理由は、大きく3つありました。

1つめは、L2閉域網に対応していたことです。これはインターネットから直接アクセスを受けない安全な接続をするための方式で、SINET経由で外部サービスを利用する場合には必須条件ですが、対応しているサービスはそれほど多くありません。

2つめは、他社と比較して低価格なことです。

3つめは、システムディの経理・人事パッケージが要求するスペックのサーバを用意できることでした。

「さくらのクラウドが3つの条件をクリアしていた上に、以前からさくらのレンタルサーバを利用していたこともあり、信頼感もありました」と青砥氏は採用理由を説明します。

日本の会社だからこそきめ細かい対応で労力なく導入が完了

クラウドサーバおよびパッケージの導

ご担当者の声



学校法人日通学園
流通経済大学
<https://www.rku.ac.jp/>

住所 龍ヶ崎キャンパス
茨城県龍ヶ崎市120
新松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸3-2-1
設立 1965年
学部 経済学部/社会学部/流通情報学部/法学部/スポーツ健康科学部



流通経済大学
図書情報グループ事務部長
兼情報システム課長
鈴木武氏



流通経済大学
図書情報グループ
情報システム課係長
青砥光一氏



流通経済大学 経理部 経理課
若山昌弘氏

入はスムーズに完了し、何一つ問題は起こりませんでした。

「さくらのクラウドはボタン1つで完了するぐらい簡単に導入できますが、クラウド導入も含めてシステムディに全ての作業をお願いしました。その際にさくらインターネットがシステムディに対する直接の窓口を設けてくれ、両方でコミュニケーションをとりながら導入を進めてくれました。おかげで本学の負担はありませんでした」（青砥氏）。

AWSやAzureなど海外のクラウドベンダーの場合は、ユーザ責任で導入し、彼らは一切関与しません。「日本の会社だからこそきめ細かい対応です」と流通経済大学では評価しています。

クラウド対応しないベンダーに対して積極的に働きかけて欲しい

経理・人事システムに加え2020年には、学生や教員が利用するプリント管理システムも「さくらのクラウド」に移設し、他

のシステムを含めてクラウド化がほぼ完了したため、今後も新システムの導入を企画する際は、プラットフォームとして、さくらのクラウドを候補の一つに入れて検討したいとのことでした。

「それよりも、パッケージシステムベンダーの中には、クラウドへの導入を渋る会社はまだあります。どこまで動作保証するかという問題があるからです。そこでさくらインターネットにはパッケージシステムベンダーと協業して、パッケージのクラウド化を進めていただきたい。『Aというシステムなら、さくらのクラウド』ということになれば、さくらのクラウドを採用する人も増えるはずですよ」と、さくらインターネットへの期待を青砥氏は語ってくれました。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F

【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F

【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigy@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2020年9月時点の情報です

aws アマゾン ウェブ サービス 学術機関導入事例

アマゾン ウェブ サービス(AWS)のクラウドプラットフォームは、日本でも数多くのお客様にご利用いただいています。大学・研究機関における基幹システムから、教育での利用、研究室での利用といった規模の大小にかかわらず、幅広い用途で採用されています。AWS Educate/Academyを活用した講義等も複数の教育機関で実施されています。こちらではお客様事例の一例をご紹介します。

国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター

全ゲノム、トランスクリプトーム、シングルセル解析が可能となり、今後のヒト由来データへの対応も見据えた、クラウドアーキテクチャ、グランドデザイン及びセキュリティ案を設計

ビジネス要件

- ・ オンプレミス解析環境のキャパシティ枯渇や、構築・管理に掛かるコスト低減要求の解決
- ・ ヒト由来データを安全にクラウド環境で利用できるための、規定・ガイドライン整備
- ・ ヒト全ゲノム解析時間の短縮
- ・ イルミナ社/MGI社製のシーケンサからクラウドサービスへのデータ連携性

AWSを選択した理由

- ・ AWS活用による品質向上、コスト低減、納期短縮
- ・ AWSにおける運用保守性、セキュリティコンプライアンス、運用実績、可用性、性能拡張性
- ・ 豊富な技術情報、ホワイトペーパー等と、開発や運用のノウハウの得やすさ
- ・ AWSプロフェッショナルサービス活用による業務の特性を踏まえた技術コンサルティング経験

AWS導入後の効果と今後の展開

- ・ オンプレミスでのシステム更改に掛かる費用と比べ、約2分の1以下のコストに低減
- ・ ヒト由来データをクラウドで安全に扱うため不足していたガイドライン項目の洗い出し
- ・ Amazon Parallel Cluster / Amazon FSx for Lustre を活かした伸縮自在なHPC環境の実現
- ・ 全ゲノム解析も踏まえた実現性検証等を今後は実施



国際研究コンソーシアム“FANTOMプロジェクト”の代表機関、“Human Cell Atlas”シングルセルプロジェクト、ヒト全ゲノムシーケンシングプロジェクトなど国内及び国外との共同プロジェクトで求められる柔軟性、汎用性及び高いセキュリティを確保できる環境をAWSで実現することが可能になりました。

粕川 雄也氏
国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター-生命医科学大容データ技術研究チーム チームリーダー
田上 道平氏
国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター-応用ゲノム解析技術研究チーム 上級技師

© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

国立大学法人 京都大学 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

ペタバイトスケールを超えて急速に増え続けるヒトゲノムデータ解析および国際共同学位のためのハイブリッドクラウドシステムの実装における、クラウドアーキテクチャ及びセキュリティ実装の提案

ビジネス要件

- ・ オンプレミス、既設スーパーコンピュータ、クラウド各拠点の優位性の活用
- ・ ゲノム情報の大規模情報化における解析インフラ環境の拡張性
- ・ 解析環境の新規導入時の水平展開の容易性
- ・ 多様な種類のデータベースや解析ツールの導入から利用までのコストの低減
- ・ 国際共同学位のための海外の学生と教員が利用できる環境の用意
- ・ ヒト全ゲノム情報の研究グループ間の高度な情報共有システム構築

AWSを選択した理由

- ・ クラウドの老練ならではの豊富な技術情報、ホワイトペーパー等と、開発や運用のノウハウの得やすさ
- ・ AWSの豊富なセキュリティ機能や第三者認証 (ISO/IEC 27017等) と利用実績
- ・ AWS活用による品質向上 (可用性、運用保守性、性能拡張性等)、コスト低減、納期短縮
- ・ AWSプロフェッショナルサービス活用による技術要件の時間内の解決能力

AWS導入後の効果と今後の展開

- ・ AWSの導入によるさらなるハイブリッドクラウドの優位性を活かしたコスト削減
- ・ Amazon Parallel Cluster / Amazon FSx for Lustre を活かした最小限のコストでのオンデマンドHPC環境の実現
- ・ AWSによる解析インフラの拡張性の実現
- ・ AWSによる解析環境の要因な水平展開
- ・ AWSによるさまざまなデータベースや解析ツールの利用コストの低減
- ・ セキュリティを担保したヒトゲノム解析環境の構築



ゲノム医学センター内の数千人規模の全ゲノム情報について、オンプレミスや既設スーパーコンピュータにAWSを加えた3拠点を統合したハイブリッドクラウドシステムの運用開始に目途がたちました。また、国際共同学位のための場としての実装ができました。さらに、セキュリティに関して配慮しつつ、オンプレミスや既設スーパーコンピュータの解析パイプラインをAWS上においてもほぼシームレスに実行できる設計が実現できました。今後、ハイブリッドクラウドシステムの各長所を最大限に活かし、AWSをクラウド拠点として活用していきます。

長崎 正朗氏 国立大学法人 京都大学 大学院研究科附属ゲノム医学センター 特定教授
山田 亮氏 国立大学法人 京都大学 大学院研究科附属ゲノム医学センター 教授
松田文彦氏 国立大学法人 京都大学 大学院研究科附属ゲノム医学センター 教授・センター長

© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

2020年4月30日作成



国立研究開発法人 理化学研究所
生命医科学研究センター

業種: 学術・開発研究機関
従業員数: 650名
(2020年1月1日現在)

新たな医学への貢献を目指し、ゲノム機能や生体がストレスへ応答するシステムに着目して、ヒト疾患の発症機序や治療法に関する最先端の研究を行なっています。

<https://www.ims.riken.jp/>

ご利用中の主なAWSサービス

Amazon EC2	Amazon Parallel Cluster
Amazon S3	AWS Storage Gateway
Amazon S3 Glacier	AWS Direct Connect
Amazon FSx for Lustre	
Amazon EFS	



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

国立大学法人 京都大学
大学院研究科医学附属ゲノム医学センター

業種: 学校法人
従業員数: 5477名
(2019年5月1日時点)

ヒトゲノム情報などのライフサイエンス分野における超大規模ヘテロデータに対し、情報科学・数理統計学の知識を基にスーパーコンピュータを活用して解析を行い、新たな知識を発見するための研究を行っています。特に、多因子型遺伝病や癌を解析対象とすることで、次世代の疾患解析モデルの構築を目指した研究を進めています。

<https://www.genome.med.kyoto-u.ac.jp/index.html>

ご利用中の主なAWSサービス

Amazon EC2	Amazon Parallel Cluster
Amazon S3	AWS Direct Connect
Amazon S3 Glacier	
Amazon FSx for Lustre	
Amazon Workspaces	



aws アマゾン ウェブ サービス 学術機関導入事例

学校法人熊本学園 熊本学園大学

教務システム等において、需要変動に応じたサーバリソースの増減を可能とし、コスト削減と安定運用の両立を実現。学内からAWSに対してSINET5経由でのセキュアなアクセスを実現。

ビジネス要件

- 高負荷となる履修登録時期においても安定したサービス提供が可能な環境の整備
- オンプレミス環境の場合に発生する過剰リソース調達からの脱却
- 学内からSINET5経由でアクセス可能な環境の整備
- 法定停電対応やUPS維持などの運用コストの削減

AWSを選択した理由

- 大規模私立大学での運用実績
- AWSにおける運用保守性、セキュリティコンプライアンス、可用性、性能拡張性
- Direct ConnectによるSINET5との直接接続環境を提供
- 豊富な技術情報、ホワイトペーパー等と、開発や運用のノウハウの得やすさ

AWS導入後の効果と今後の展開

- 高負荷となる履修登録時期においてもインスタンスタイプの変更により安定稼働を実現
- 需要に応じた柔軟なリソース配置によりコストを最適化
- メトリクスをトリガーにアクションを自動化
- 今後は、更なるマネージドサービスの利用やAWSでの認証系の冗長化を検討



教学事務システム、ポータルシステム及び大学ホームページなどアクセスの増減が激しいシステムをクラウド環境へ移行することにより、履修登録や合格発表、災害発生時の案内などアクセス負荷が増大する時期においても安定した運用が可能な環境を実装することができました。

森山 寛氏 学校法人熊本学園 熊本学園大学 ICT統括室 室長
 田中 優貴氏 学校法人熊本学園 熊本学園大学 ICT統括室 係長
 山田 真大氏 学校法人熊本学園 熊本学園大学 ICT統括室



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.



学校法人 熊本学園

業種: 学校教育

従業員数: 5,201名
 (2020年5月1日現在)

1942年に東洋医学専門学校としてスタートし、2022年に創立80周年を迎える。5学部、5研究科において、経済、商業、経営、外国語、社会福祉に関する専門学術の理論を深く教授研究し、多様な地域社会の発展への人材養成に貢献する文系総合大学

<https://www.kumagaku.ac.jp/>

ご利用中の主なAWSサービス

Amazon EC2 Elastic Load Balancing
 Amazon S3 AWS Backup
 Amazon CloudWatch AWS Direct Connect



コロナ渦において、急にLMSの仕組みを強化しなくてはならないときにもAWSをお役立ていただいております。また学校へ出勤できなくなってしまった事務職員様向けの環境も短期間で構築いただいております。

学校法人 札幌学院大学

Moodle利用急増対策、職員のテレワーク環境の迅速な構築に AWS を採用
 短期間で急増したニーズに対し柔軟に環境の整備を実現

ビジネス要件

- 全学に対しMoodleの安定的な提供
- オンプレのデータを扱う事務職員のテレワーク環境のニーズ
- 社会状況に応じたリソースの増減に対応

AWSを選択した理由

- 構築の迅速さ、変動するリクエストへの追従、セキュリティ
- 豊富な技術情報や公開されているノウハウの多さ
- 既存AWS環境で得た構築知識

AWS導入後の効果と今後の展開

- Moodleの利用急増下でも安定したサービスの提供が可能
- 仮想デスクトップ基盤を利用し職員のテレワーク環境を構築
- 新キャンパス開設後の複数キャンパス間の連携における活用



学校法人 札幌学院大学

業種: 学校教育

学生数: 2,959名
 (2020年5月1日現在)

1946年(昭和21年)に創立された札幌文科大学専門学院を前身とする大学。1984年に札幌学院大学と改称された。現在は、経営学部・経済学部・文学部・法学部・心理学部の5学部8学科からなる文系の大学。

<https://www.sgu.ac.jp/>

ご利用中の主なAWSサービス

Amazon EC2 Amazon RDS
 Amazon ElastiCache Amazon EFS
 Elastic Load Balancing Amazon WorkSpaces
 AWS Direct Connect AWS Directory Service



北海道胆振東部地震による大規模ブラックアウトの経験を踏まえ、本学では、公式WebサイトをオンプレミスからAWSに移行し、災害時にも安定して情報提供できる環境を整えました。新型コロナウイルス感染症対策のように状況が急激に変化する中でも、AWSは、遠隔授業を支えるMoodleの安定的なサービス提供や、Direct Connectによりインターネットに接続されたAmazon WorkSpacesを利用して職員がテレワークを行う環境などを短期間で構築することができ、本学の教育環境を支えています。

河西 邦人氏 札幌学院大学学長
 原田 寛之氏 学校法人札幌学院大学 情報処理課



© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

ご紹介した以外にも国内の教育・研究機関でも幅広いご利用が進んでいます。

基幹・基盤システム

公開事例

AWS summit Tokyo
登壇：広島大学
登壇：京都大学

事例スライド
熊本学園大学
札幌学院大学

AWS Cloud roadshow
登壇：近畿大学

財務、経理、人事・給与等の事務システムをAWS上へ移行。高可用性を重視。AWS上でERPパッケージを稼働。利用にあわせてリソースの増減。季節での利用の増減やバッチ実行時だけリソース増など効率的な使い方。

研究

公開事例

AWS summit Tokyo
登壇：京都大学
登壇：中央大学

事例スライド
理化学研究所

HPCの基盤としての利用やGPUを利用して高速計算を行う環境を必要な時だけ潤沢に用意し研究を加速。また大規模データの蓄積や分析、データ共有にもAWSを活用。国際共同研究等でのデータ、フレームワークのAWS上での共有。セキュリティの観点からヒトゲノム解析基盤としてのAWS活用等。様々なCPUアーキテクチャ、量子コンピュータ等先端的な利用も視野に。

ライブ配信

公開事例

AWS Blackbelt
紹介：電気通信大学

卒業式・入学式の際のライブストリーミング配信。想定外の大量アクセスにも対応可能。使用する期間だけサービスを立ち上げ、コスト削減。

教育・LMS e-Learning

公開事例

AWS summit Tokyo
登壇：早稲田大学
登壇：信州大学

AWS Cloud roadshow
登壇：九州大学

Webサイト、全学ポータルサイト、e-Learning、LMSサービス等をAWS上へ移行。季節変動に応じた性能要件の変更が柔軟に可能。事業継続性を重視し、複数AZの利用。次世代の教育用計算環境(演習室環境)の整備としてAWS上にVDI環境を展開。

リモートワーク

公開事例

Cloud Week 2020
紹介：東京大学松橋研究室

事例スライド
札幌学院大学

マネージドサービスとして提供されるVDI環境やVPN環境を利用したリモートワークの実施。需要に応じて。柔軟にリソースの増減が可能。学内への立ち入り制限時にもAWS上で自宅等から研究を継続。利用した分だけの支払いのオンライン会議サービスの利用。

災害対策 Backup

公開事例

AWS Cloud roadshow
登壇：近畿大学

複数のAZを常時利用した可用性向上。オンプレミスのストレージのバックアップ先としてコスト効率が高く、耐久性の高いAmazon S3の利用。海外リージョンを利用したバックアップ例も。

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は、2006年に商用クラウドサービスの提供を開始しました。以後、AWSはお客様の声をもとに常に新たな機能の追加を行っています。現在サービス数は165を越え、全世界で数百万のお客様にご利用いただくサービスに成長を続けています。日本国内にある東京リージョンは複数のアベイラビリティゾーン(AZ)で構成、それぞれのAZは地理的・電源的・ネットワーク的に分離された1つ以上の物理的なデータセンターによって構成され高い耐障害性があります。アカデミック向けには、AWS Educate、AWS Academy、Global Data Egress Waiver等の各プログラムが提供されています。また、SINET5とAWS間は専用線にて接続をしており、2014年にSINET4と接続してから、既に60を超える機関/プロジェクトで利用されています。またSINET5とAWSは複数箇所のインターネットエクスチェンジ(IX)にてピアリングしていますので、通常SINETをお使いの機関であればそのままでもインターネットに抜けることなくAWSを利用頂くことが可能です。大学や研究機関内のネットワークとAWS内のVPC(Virtual Private Cloud)等を閉じた環境で接続することが可能であり、基幹系システム、セキュアにデータを取扱う必要のある解析実行環境や研究者間の共同利用で活用されています。物理回線は既に接続済みのため、申請いただいてから利用開始までの時間を短くすることが可能です。

問い合わせ先

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 パブリックセクター
<https://aws.amazon.com/jp/government-education/>
email: aws-jpps-er@amazon.com



8. クラウドプロバイダ紹介

すべては日本のインターネットと、 新しいビジネスに挑むお客様のために

どこより低価格で、
どこよりも高品質なサービスを実現したい

日本にインターネットが本格的に普及し始めた1996年から、私たちさくらインターネットは、このシンプルな理念のもとでデータセンターサービスを提供して来ました。その間、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。これまで日本経済を支えてきた製造業はより厳しい国際競争にさらされる中で、インターネットビジネスをはじめとするITサービスの分野では日本から世界へ事業を広げようとする企業がいくつも生まれています。

この先の日本経済を支える産業はITサービスやソフトウェアになっていくと考えています。まさに産業構造の転換期にある日本において、これから世界とたたかおうとする日本企業を、ベストサービス・ベストプロダクトで応援していく。それが私たちのミッションです。

そして、私たちの生活する社会にとっても、インターネットは不可欠な存在となりました。日本を代表するデータセンター事業者として、インターネット社会を支え、さらなる発展に貢献していくことが、私たちに課せられたもう一つの使命です。それらを実現するのが、高品質を実現する技術力と低価格を実現する事業スケールです。

「すべては日本のインターネットのために」

私たちはこれからも、スケールメリットと柔軟性を兼ね備えたコスト競争力の高いITインフラで、海外のインフラ事業者とも肩を並べるサービスを、開発・提供していきます。



代表取締役社長
田中 邦裕

日本のインターネットの発展に貢献します これまでも、これからも

業績推移

(単位：百万円)



会社概要

商 号	さくらインターネット株式会社
本 社 所 在 地	大阪府北区大深町4番20号
創 業 年 月 日	1996年12月23日 (会社設立は1999年8月17日)
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (マザーズ) 2015年11月27日 (東証一部へ市場変更)
資 本 金	22億5,692万円
従 業 員 数	652名 (連結)

(※2019年3月末日現在)

さくらインターネット株式会社のTOPIC

IoT

注カポイント

引き続き顧客の
活用支援・促進に注カ

直近の取り組み

- 当社参画のIoT活用の取り組みが、総務省「ICT地域活性化大賞2019」の「大賞/総務大臣賞」を受賞

石狩振興局と民間企業の合同の、IoT活用で灯油配送を効率化する取り組みについて受賞。当社はLTEネットワークに「sakura.io」を提供

取り組み概要イメージ図



AI・高火力

注カポイント

当社グループ間の連携で
公共、テックベンチャー案件を獲得

直近の取り組み

- 高火力コンピューティングサービスの大型案件受注

国立研究開発法人情報通信研究機構より期間総額約25億円（期間：2019年2月～2021年3月）で、ディープラーニング翻訳高度化のための高火力コンピューティングサービスの提供案件を受注（2月）

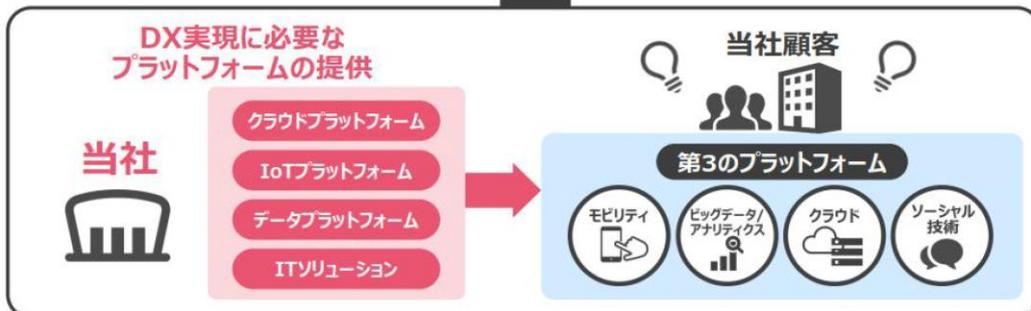
- その他、公共分野・大企業向けの高火力コンピューティング案件を複数受注

さくらインターネット株式会社の目指すもの

当社はDX（デジタルトランスフォーメーション）を支える
プラットフォームになる



デジタルトランスフォーメーション



■ コーポレートビジョン corporate vision

情報の価値化と知の協創をデザインする

■ 企業理念 corporate philosophy

人間の創造性発揮のための環境づくりを通じて、より豊かな人間社会実現のために貢献し、企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

経営方針

「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の実現にむけて

当社グループは、1910年(明治43年)に創業、2020年に110周年を迎えます。

その歴史の中で、民間・公共の多様なお客様とお取引関係を培ってまいりました。また、売上の構成比率はおよそ60%となるICT関連ビジネスを基盤としつつ、その他40%を環境構築関連ビジネスが占めるユニークな事業構成をもちます。

この多様なお客様とのお取引関係とユニークな事業構成をリソースとしまして、2020年以降に想定される社会・産業構造変化のSociety5.0実現に向けて、お客様の新たな課題を解決すべく「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の事業創造に取り組んでまいります。

働き方変革

— 知的生産性向上 —

1989年より「知的生産性研究所」にて、オフィスワーカーの知的生産性向上に関する調査・研究に取り組み、大手企業や官公庁・自治体のお客様向けに、生産性が向上するオフィスづくりや、それを支援するITシステム構築に取り組んでいます。



学び変革

— 主体的学び —

1998年より「内田洋行 教育総合研究所」にて、省庁から学校現場まで幅広く協同で教育研究を進め、小中高大を中心にアクティブ・ラーニングを実現するこれからの新しい教育環境づくりに取り組んでいます。

場と街づくり変革

— 地方創生・都市活性化 —

地域の企業、自治体・大学・図書館等の公共施設による、人が集まる場の空間の設計・デザイン、そして、それをバックエンドで支えるICT環境を整備し、地域活性化を支援していきます。



学び方変革の実現に向けて

～内田洋行グループ教育ICTビジネスのご紹介～

大学 ICT

大学・専門学校向けに、進化した学びの場をつくる

- アクティブ・ラーニング環境、学内ネットワーク・PC教室・CALL教室等の情報インフラ構築と運用管理業務支援サービスの提供。
- 学生サービス向上に寄与する証明書発行システム「PAPYRUSMATE（パピルスメイト）」、ソフトウェアライセンス「U365」の学割提供。



教育 ICT（小学校～高等学校）

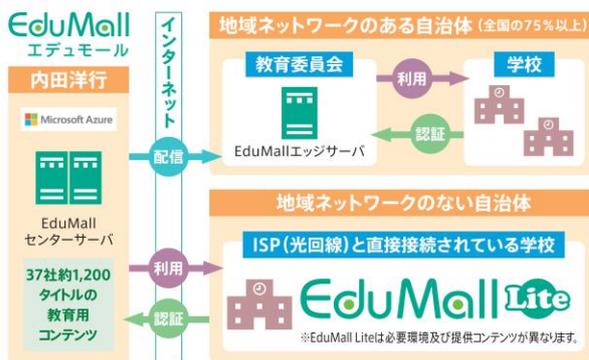
アクティブ・ラーニング環境の構築、ICT授業支援、校務支援システムの提供

- 電子黒板や1人1台タブレットPC等のICTを活用するための学習環境構築。
- クラウド型の教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」。
- 先生の働き方改革につながる統合型校務支援システムの提供。
- 学校ヘルプデスクの運用、保守サービス、ICT支援員の派遣や授業設計。
- 高等学校を中心とした語学支援システム。



教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」

- デジタル教科書や動画、ドリル・アニメーション、プリント教材等、コンテンツメーカー各社が提供する豊富なコンテンツを年間契約で利用できるクラウド型配信サービス。
- 導入実績：約333自治体5,400校（2019年8月現在）



大学コンサルティング

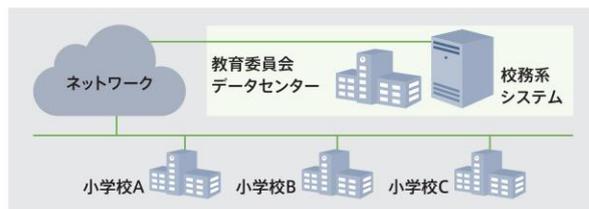


大学の施設や学部学科設置の申請支援

- 大学の学部設置・改組転換の認可申請における支援と情報提供。
- 最適な学修空間を構築するために校具備品教具、ICT関連品のトータルプランニングと提供。

教育委員会ネットワーク・サーバ構築

- 統合型校務支援システムの構築。
- 教育系イントラネットの設計・構築。
- 校務系と教育系のデータ連携。



公共クラウドサービス

学校・自治体・地域をシームレスにつなぐクラウドサービス

- 教育、自治体のIT業務を高いセキュリティで運用するクラウドマネージドサービス。
- お客様のニーズに合ったクラウド基盤（Amazon Web Services, Microsoft Azure, NIFCLOUD, LGWAN）サービスを提供。
- 深い業務知識と先進技術を持ったウチダのシステムエンジニアが、企画・設計・導入から保守までワンストップでサービス提供。



ICTシステムを活用した図書館ソリューション



図書館システムと読書通帳機で利用者の充実を図る

- 全国の公共・大学図書館に、ICタグを活用した自動貸出機や蔵書点検等のICTソリューション「ULiUS（ユリウス）」を提供。
- 図書館システムと連携して読書履歴データを通帳に印字する「読書通帳機」の導入。

企業別索引（五十音順）

〈A〉

Amazon Web Services Inc.

Amazon WorkSpaces	14
Amazon Chime	16
AWS IoT Core	24
AWS RoboMaker	26
Amazon SageMaker	28
アマゾン ウェブ サービス(AWS)	78
Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)	80
Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)	82
Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)	84
Amazon Redshift	86
Amazon EMR	88
Amazon Elasticsearch Service	90
AWS Lambda	92
Amazon DynamoDB	94
Amazon Kinesis	96
Amazon Route 53	98
[事例]アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例	147

〈F〉

Fortinet Inc.

FortiCloud	100
MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ	102
Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ	104
FortiCWP、FortiCASB	106

〈ウ〉

内田洋行

証明書学外発行サービス	36
codemari クラウドサービス	38
RoomSense クラウドサービス	40
IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE	124
ソフトウェア配布提供システム Download Station	126
Microsoft Office 学割特別プラン U365	128
[プロバイダ紹介]	154

〈サ〉

さくらインターネット株式会社

さくらのセキュアモバイルコネクト	30
さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス	32
SINET 接続サービス	108
さくらの VPS	110
さくらのクラウド	112

さくらの専用サーバ 114

[プロバイダ紹介] 152

〈ニ〉

日本電気株式会社

NEC 神奈川DC-SINET接続サービス 66

〈ネ〉

ネットアップ合同会社

NetApp Cloud Insights	116
NetApp Cloud ONTAP	118
NetApp SaaS Backup for Microsoft365	120

〈ヒ〉

株式会社日立製作所

TWX-21 MRO 集中購買サービス	60
エンタープライズクラウドサービス	68
フェデレーテッドクラウド	70
出前クラウドサービス	72

〈フ〉

富士通株式会社

FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス	20
iLiswave-J 図書館クラウド	42

〈リ〉

株式会社リコー

RICOH カンタンストレージ活用	48
RICOH CHATBOT SERVICE	50
キャンパス手帳	52
RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone	54
RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん	56
RICOH カンタンバーコード活用	58
図書館情報システム LIMEDIO	60
RICOH カンタン文書申請	62

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

主 査 吉田浩 (国立情報学研究所)
 副主査 梶田将司 (京都大学)
 副主査 渡邊英伸 (広島大学)
 副主査 滝島繁則 (さくらインターネット)
 副主査 須藤憲一 (さくらインターネット)

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■ 大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ1」 「大学向けクラウドソリューションカタログ2」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（1）」 「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布
2020年度年次大会	「大学における働き方・教え方改革とクラウド活用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2020発行・配布

■分科会会合の開催

回数	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER（アエル）	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウイंकあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会
第27回会合	2020年6月9日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第28回会合	2020年9月10日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2020
第26回会合	2020年12月7日	大阪大学(オンライン開催)	AXIES2020年度年次大会

以上

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探することができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

主 査 吉田浩（国立情報学研究所）

副主査 梶田将司（京都大学）

副主査 渡邊英伸（広島大学）

副主査 滝島繁則（さくらインターネット）

副主査 須藤憲一（さくらインターネット）

ご連絡先： sig-cloud-core@axies.jp